



2012年度 事業報告書 決算報告書

1月通常総会資料

事業年度 自 2012年 1月 4日
至 2012年 12月 31日

公益社団法人 長井青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise ;
That government should be of laws
rether than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humannity is the best
work of life

[邦訳]

我々はかく信じる

人生に意味と目的を与えてくれるのが信仰です

人類の同胞愛は、国家の主権すら超えたものであります

経済の正しい発展は、自由経済社会によって、最もよく成し遂げられます

政府の運営は、人によって左右されず、法によってなされるべきであります

この世の本当の宝は、人間の個性であります

人生最善の仕事とは、人類への奉仕であります

わたしたちは、以上の事を信じます

JC宣言

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り開き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと調和する確かな時代を築くために

率先して行動する事を宣言する

綱 領

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうするもの 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

社団法人長井青年会議所は1966年、長井の未来を拓く青年経済人が集い、県内4番目の青年会議所として創立されました。以来45年にわたり先輩諸兄から脈々と受け継がれた地域を愛する精神と、若さあふれる発想を持って地域社会の発展のためまちづくり運動を展開してまいりました。今年度、ひとつの節目を迎えるにあたり今まで以上に地域社会から必要とされる存在であり続けるために、活動の道しるべとなる今後5年間の運動指針を提言します。

社団法人長井青年会議所 運動指針 2010年～2014年

確かな地域連携社会の実現へ
～共に手を取り合うところ豊かな地域の創造～

【まちづくり】

人と人との交流の輪を広げることが、地域全体を巻き込んだ活性化とまちづくりに対する意識の向上に繋がります。我々青年会議所が主導的に地域の抱える問題をしっかりと認識し課題解決に取り組み、その地域が持つ様々な資源を最大限に引き出し活用することで、その地に暮らす人たちの愛郷心を育み、更なるまちづくりに対する参画を促し、ところ豊かに暮らせるまちの醸成に努めます。

【ひとづくり】

多種多様な個のちからを集積、融合することは様々な問題に挑戦できる「つよさ」となります。輝く地域の未来を創造する経験と学びの中から個のちからも高まり、混沌とした現状を打開出来る勇気が生まれます。地域社会の問題を解決する手法を見出し、地域資源の保全と価値を提供できる人材の育成を行います。

【こころづくり】

地域の未来を担う子供たちがこころ豊かに成長するために、地域社会と家庭、学校が三位一体となり、それぞれが常に問題意識をもって、学びの機会を創出していく事が大切であると考えます。地域社会の豊富な教育資源を効果的に結びつけ活用するコーディネート機能を担いながら地域教育を更に実践して参ります。

2012年度スローガン

<2012年度 公益社団法人 日本青年会議所 スローガン>

呼び覚ませ 日本プリンシプル！

<2012年度 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会 スローガン>

立ち上がろう！東北

～新東北の再建は我々青年の仕事である～

<2012年度 公益社団法人 日本青年会議所 東北地区山形ブロック協議会 スローガン>

「結」の精神を胸に 凜然と歩もう

誇りある故郷「やまがた」の創造に向けて

<2012年度 社団法人 長井青年会議所 スローガン>

切り拓こう 新たな黎明期

～信念と自覚を以って さらなる飛躍へ～

所感・会議報告書



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第47代理事長 吉田重成

多くの学びを得ることができた2012年、今振り返ればあっという間の一年でした。私が2007年に青年会議所に入会してから、自分が理事長という職を担うことはあるまいと思っていましたが、メンバーの皆さんに支えられ、一年間の理事長職を無事にやり遂げることができました。改めて感謝申し上げます。一年間を振り返ると様々なことが思い出されます。委員会、理事会、例会、事業、それぞれの中で、期待・緊張・不安と様々な思いが錯綜する中、多くの学びを得ることができたのではないかと思います。

ひとづくり委員会では、継続事業となるJC杯中学野球大会やフラワーボランティア、葉山探検隊など多岐にわたる事業を行って参りました。開催に至るまで紆余曲折あった葉山探検隊においては、昭和堰を巡る道のように、途中で様々なことを学び、遠回りをしながらも最後まであきらめず、山頂というゴールにたどり着くことができました。事前下見の登山では雨にたたられ「子供たちを連れてくるにはまだ準備不足だ」と山の神様に言われているようでしたが、当日は天候もよく、山頂からは祝瓶山を眺めることができ、全員が怪我や途中でリタイアをすることなく無事に下山できたことは、山の神様、そして昭和堰を造った先人たちに見守られていると感じた事業でした。

まちづくり委員会では、継続事業である「夢灯」をより磨き上げ、こどもたちの目線に立ったイベント、そして小学校でのOMOIYARI音楽会の開催など学校との連携を深めることができました。スポーツ例会で培った他団体との交流を夢灯での協力へと繋げ、連携・協働しながら夢灯を開催できたことは私たちの活動において大きな意味を持つと思います。11月に開催された地域防災セミナーにおいても、地域住民、行政と関わりを深めながら内容の濃いセミナーを行う事ができました。

事務局では、例年以上に担当する役割が多く、息つく暇がない一年でした。4LOM合同例会、ブロック会長公式訪問など長井を会場に行う機会も多く、また山形ブロック会員大会における17魂祭への参加依頼など、内部に限らず外部との調整が大変だったと思います。当たり前のことを当たり前にごこなしてこそその事務局と思われがちですが、2012年度体制の要として肅々とそして時に大胆に、尽力頂いたことは、感謝の念に堪えません。

2012年度、基本理念に掲げさせて頂いた「自灯明」。他人に頼るのではなく、自らの道を自らの目で見据え、まず自分たちの自立からお互いに支えあえる地域社会の実現をしていく。今年、私たちが自分たちで考え、決断実行してきたことは、その事業自体がうまくいった、いかなかったといろいろあるかと思いますが、少なからずこの地域の方々の心に灯をともし事ができたのではないかと思います。私たちは事業を行う事が目的ではなく、地域の方々の意識を変えていく「意識変革団体」である。2012年度、井川会頭のこの言葉が私は強く印象に残っています。私たち長井青年会議所は、地域の方々から必要とされる団体です。しかし「イベントをやってくれる団体」だけでは駄目だと思います。この長井・西置賜を明るい豊かな地域にしていくために、JC活動を通して、まず自分たちの意識を変え、そこから地域の方々を巻き込み、地域住民が自分たちの地域や子供たちに関心を持つように意識を変えていかなければなりません。

私自身はもともとリーダーに求められるような決断力や行動力を強く持ち合わせた人間ではありません。1位で目立つよりも2位で目立たなくいた方が好きな人間です。そして地域のことについてもあまり関心がありませんでした。そのような人間でも、自分が生まれ育ったこの地域のために何ができるのか、自分ができるとは何かと考えながら、理事長として今年一年間活動して参りました。その中からたくさんの方の事を学ばせて頂き、地域の事や子供たちの事、今まであまり関心の無かった事に意識が向くようになり、自分自身の意識が変わったと感じています。今後は自分が経験したことを、この地域や長井青年会議所のために役立てて参ります。

最後になりますが、今、改めて一年間を振り返り、理事長をやった本当に良かったと思うと共に、支えて頂いたすべてのメンバーに感謝申し上げます。私の所感といたします。一年間本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 鈴木 喜典

2012年度まちづくり委員会を副理事長として担当させていただきました鈴木喜典です。3月のスポーツ交流事業では当初、JCメンバーだけによる交流会を計画しておりましたが梅津委員長の発案により地域他団体との交流会を実施しました。結果、事業の内容はさておき、地域青年団体が集まり、様々な交流ができたことは夢灯りや今後のまちづくりに於いて大きな成果をもたらすことができたのではないのでしょうか。そして4回目を迎えた「みんなで灯そう～夢灯り～2012絆」予定者段階よりJC内部だけでは実施できないと考え、地域全体の交流人口増加事業と位置付け立案しました。明確な目的、地域の現状を把握した背景を委員会内においてみんなで考え、それに対する事業内容をみんなで考えました。委員会開催時に私がメンバーへ提案したブレイクストーミングとKJ法でした。人の意見に批判しない、質より量を求める、できるだけ多くのアイデアを出す。それを分類して大系を作り、分析しながら立案に至る。これは長井市まちづくり未来塾において学んだ手法です。こういった会議の進め方をしていくとおのずと立案の速度が上がり、能率化に繋がります。そしてその手法を使い委員会運営をした結果、予想以上のアイデアが出現し、それらを精査した結果例年以上に規模の大きい事業となりました。企業寄付金もメンバー全員の協力により予想を上回る金額を集めることができました。準備を万端にしてこそその成功です。当日は準備してきたことをボランティアと共に交流をしながら実施することにより最大限の目的を達し、素晴らしい成果を出すことができました。11月に開催された防災セミナーでは内容の検討段階でも紆余曲折しましたが事業を実施して改めて防災に対する課題点が見えてきました。長井駅周辺整備事業、ホームページ運営、クリスマスパーティーなど一年を通してたくさんの事業を実施してきましたが梅津委員長、井上理事、那須副委員長、影山幹事と委員会メンバーがそれぞれの能力を遺憾なく発揮し立案、実行できました。事業実施後私が重視したのは検証をすばやく実行することでした。それが今後の事業に役立って欲しいと思います。

副理事長として委員会を完全統括すること、委員会運営を率先して進行すること、そして委員長だけではなく委員会メンバーみんなが主観的に考えること、それらを今年度私は重要視してきました。各個人が責任を持つことで事業に対して積極的になり、JC活動に対してポジティブに捉えることができます。様々な成長と地域の発展、それがJCの永遠の命題であり、使命であります。私のJC活動はまだまだ続きますが、関わったすべての方に有難う御座いますと伝えたいと思います。

所 感

副理事長 遠藤 浩樹

小関委員長、樋口担当理事、始めひとつづくり委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。この事に尽きると思います。一つづつ振り返って見ますと、4月SNSセミナー、5月JC杯野球大会、6月フラワーボランティア、8月納涼パーティ、10月葉山探検隊、JC杯1年生大会、12月あゆみの発行と次々と事業が続いて、準備など大変だったと思います。思い出に残る事はメイン事業でもある。葉山探検隊であります。当初7月に行われる筈でありましたが、参加者が少ないことなどの理由で、10月に変更しております。また、理事メンバーには貴重な時間を使わせていただきました。予定者から数えますと、ほぼ1年間の間ですが理事会でたくさんの時間とご意見をありがとうございます。また、臨時理事会も何度となく開いていただきました。当日の参加者こそは少なかったですが、天候にも恵まれ、怪我する方もいなくて本当に良かったと思います。参加された方は、どの人も満足して帰られたのではないかと思います。子供たちは葉山登山を通して「挑戦する心」「発見する心」「感動する心」を見つけ出し「生きる力」を育めたのではないのでしょうか。

この場を借りて、副理事長の役割を全う出来たかどうかはわかりませんが、自分なりに遂行出来たのではないかと思います。しかし、反省すべき点多々あります。それらを糧として今度の活動に生かせればと思います。最後にすべての方々に御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

所 感

まちづくり委員会 担当理事 井 上 典 嗣

今年度、担当理事として活動させていただいたわけですが、多くの気づきを得ることができ大変充実した一年間となりました。

私が担当させていただいたまちづくり委員会では、年間を通して様々な事業を行って参りましたが、特にメイン事業の「みんなで灯そう 夢灯」では多くの方々に支えられ、盛大に開催することができました。4年目を迎え、更なる進化を求められたわけですが、企画段階から他団体の方々や行政の方々との交流を図りながら準備を進め、当日には多くのボランティアスタッフと共に開催できたことは、非常に意義深いものであったと思います。メンバー数の減少もあり、大規模な事業の運営が厳しいという雰囲気が漂うなか、他団体との連携を図り、このように大々的に「みんなで灯そう 夢灯」を開催することができ、とても嬉しく感動してしまいました。また、改めて長井青年会議所メンバーの行動力の素晴らしさを実感する機会となりました。

最後になりますが、今年一年間でJC活動を共にした全ての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

所 感

担当理事 樋 口 和 哉

今年度、ひとづくり委員会の担当理事として一年間を活動させていただきました。

私自身この青少年系の委員会に携わるのは3年目でしたので、自分自身の今までの経験を当委員会に伝えていければという気持ちで活動させていただきました。4月のSNSセミナーを始めに継続事業であるフラワーボランティア事業、JC杯中学野球大会、JC杯一年生の部、そして青少年育成メイン事業の葉山を舞台にしての葉山探検隊は小関委員長をはじめ委員会が非常に苦勞をした事業でした。当初の開催日が思うように対象者が集まらなかったために時期を遅らせての開催となりましたが、参加された子どもたち、その親たちには葉山の歴史、自然を満喫しながら事業が開催されたこと、何よりも事故ケガなく終えられたことに安堵しております。

最後に、各事業に対しましてご協力いただきました関係者の皆様、委員会メンバー、長井青年会議所メンバーに感謝申し上げ所感といたします。ありがとうございました。

所 感

専務理事 板 垣 洋 一

この一年と数か月間を振り返って、短いようでも中身がギュッと詰まった本当に貴重な経験をさせていただきました。苦しくも充実した時間を共有してきた事務局長の佐藤真光君、事務局長の下にそれぞれに努力してくれた大竹貴之君、風間正志君、梅津敦君。まずはLOMのスムーズな運営を支えてくれた、彼ら事務局のメンバー皆に心から感謝致しております。そして多用の中、率先して私達に手を差し伸べ、一緒になって汗を流していただいた理事長をはじめ、会員の皆様に心から感謝致しております。ありがとうございました。

本当に多くの出来事があった十数か月間でありました。無事にこなし、参加した方々に満足していただけた事業もたくさんありました。率先して事に当たり、苦勞しながらも一つ一つ築き上げていった事務局のメンバーの成果であります。それらの成功の陰に隠れて、課題を残した事業もございました。ひとえに統括する立場にある、私の不徳によるものでございます。会員の皆様にも少なからずご迷惑をお掛けしました。申し訳ありませんでした。

この十数か月間のJC活動の中には本当に多くの気づきと学び、自身の成長に繋がる事がたくさんありました。大きな充実感と共に多くの課題も見つけました。他人の見習うべきところ、自分の直すべきところ、いろいろな物が見えた十数か月間だったと思っております。それらの一つ一つを自身のこれからの人生の糧とし、自分自身の成長に繋げていくこと、その事が真のJC運動であり、だからこそ多大な自らの時間と労力を投資してまでも行う価値のある活動であるのだと信じております。2012年度のこれらの経験を自分自身の成長に繋げ、今よりもさらに魅力と活力に満ちた経済人となり、社会貢献を通して「明るく豊かな社会」の実現に向けた努力を続けていきたいと思うところであります。

吉田理事長をはじめ、事務局の皆様、そして長井JCメンバーの皆様、2012年度JC活動、本当にお疲れさまでした。心からありがとうございました。

【2012年度 常任理事会・理事会 出席状況】

No	役職名	氏名	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		
			三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事	理事	三役理事
1	理事	吉田重成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	直前理事	横山敬生	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	監事	兄玉大輔	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
4	監事	飯鉢文義	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副理事	遠藤浩樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	副理事	鈴木喜典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	担当理事	樋口和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	担当理事	井上典嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	専務理事	板垣洋一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ひとづくり委員長	小関幸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	まちづくり委員長	梅津壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	事務局長	佐藤真光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	事務局補佐	大竹貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	事務局補佐	梅津敦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	事務局補佐	風間正志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	ひとづくり委員長	椎名恭平	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	まちづくり委員長	那須丈雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【理事・役員会報告】

会 議 名	期日と場所	議 題	出席数
第1回 理事予定者会議	2011.9.27 JC ルーム	討議事項 1. 三役会名称変更について 2. 理事長所信（案）について 協議事項 1. 2012年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について 2. 2012年度 職務分掌（案）について 3. 2012年度 組織図（案）並びに役員名簿（案）について 4. 2012年度 基本運営（案）について	13
第2回 理事予定者会議	2011.10.11 JC ルーム	協議事項 1. 2012年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について 2. 2012年度 職務分掌（案）について 3. 2012年度 組織図（案）並びに役員名簿（案）について 4. 2012年度 基本運営（案）について 5. 2012年度 基本計画書（案）について ・ひとづくり委員会 ・まちづくり委員会 ・事務局 6. 2012年度 公式スケジュール（案） 審議事項 1. 2012年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について 2. 2012年度 職務分掌（案）について 3. 2012年度 組織図、理事役員名簿（案）について 4. 2012年度 基本運営（案）について	12
第3回 理事予定者会議	2011.11.4 JC ルーム	協議事項 1. 2012年度 基本計画書（案）について ・ひとづくり委員会 ・まちづくり委員会 ・事務局 2. 2012年度 当初予算（案）について 3. 新春賀詞交歓会について 4. ホームページ運営について 5. 1月通常総会について 6. 記録の管理について 7. 2012年度 公式スケジュール（案） 8. 2012年度 LOMスローガン（案）について	14
第4回 理事予定者会議	2011.11.21 JC ルーム	協議事項 1. 2012年度基本計画書（案）について ・ひとづくり委員会 ・まちづくり委員会 ・事務局 2. 2012年度 当初予算（案）について 3. 新春賀詞交歓会について 4. ホームページ運営について 5. 1月通常総会について 6. 記録の管理について 7. 2012年度 公式スケジュール（案）について 8. 2012年度 LOMスローガン（案）について 審議事項 1. 2012年度基本計画書（案）について ・ひとづくり委員会 ・まちづくり委員会 ・事務局 2. 2012年度 当初予算（案）について 3. 新春賀詞交歓会について 4. ホームページ運営について 5. 1月通常総会について 6. 記録の管理について 7. 2012年度 公式スケジュール（案）について 8. 2012年度 LOMスローガン（案）について	13

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第1回 理事会	2011. 1. 16 JCルーム	<p>討議事項</p> <p>1. 新春賀詞交歓会について（事務局）</p> <p>協議事項</p> <p>1. スポーツ例会について（まちづくり委員会）</p> <p>2. 地域活性化事業 夢灯について（まちづくり委員会）</p> <p>3. 山形ブロック会長公式訪問について（事務局）</p> <p>4. 2012年度社団法人長井青年会議所事業報告並びに決算報告について（事務局）</p> <p>審議事項</p> <p>1. スポーツ例会について（まちづくり委員会）</p> <p>2. 地域活性化事業 夢灯 まちづくり申請書について（まちづくり委員会）</p> <p>3. 齋藤憲幸君入会（仮会員）承認について（事務局）</p> <p>4. 2012年度社団法人長井青年会議所事業報告並びに決算報告について（事務局）</p>	13
第2回 理事会	2011.2.2 JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. SNS活用セミナーについて（ひとづくり委員会）</p> <p>2. スポーツ例会について（まちづくり委員会）</p> <p>3. 地域活性化事業 夢灯 について（まちづくり委員会）</p> <p>4. 山形ブロック会長公式訪問について（事務局）</p> <p>審議事項</p> <p>1. 山形ブロック会長公式訪問について（事務局）</p>	12
第3回 理事会	2011.3.1 JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. SNS活用セミナーについて（ひとづくり委員会）</p> <p>2. 親子ワクワク登山について（ひとづくり委員会）</p> <p>3. 第21回JC杯中学生野球大会について（ひとづくり委員会）</p> <p>4. スポーツ例会について（まちづくり委員会）</p> <p>5. 地域活性化事業 夢灯 について（まちづくり委員会）</p> <p>6. 新春賀詞交歓会 補正予算について（事務局）</p> <p>審議事項</p> <p>1. SNS活用セミナーについて（ひとづくり委員会）</p> <p>2. スポーツ例会について（ひとづくり委員会）</p> <p>3. 地域活性化事業 夢灯 について（まちづくり委員会）</p> <p>4. 新春賀詞交歓会 補正予算について（事務局）</p> <p>5. 新春賀詞交歓会 事業報告並びに決算報告について（事務局）</p>	12
第4回 理事会	2011.4.5 JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. SNS活用セミナーについて（ひとづくり委員会）</p> <p>2. 第21回JC杯中学生野球大会について（ひとづくり委員会）</p> <p>3. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会）</p> <p>4. 親子ワクワク登山について（ひとづくり委員会）</p> <p>5. 長井駅整備事業について（まちづくり委員会）</p> <p>6. 地域活性化事業 夢灯 について（まちづくり委員会）</p> <p>審議事項</p> <p>1. SNS活用セミナーについて（ひとづくり委員会）</p> <p>2. 第21回JC杯中学生野球大会について（ひとづくり委員会）</p> <p>3. 地域活性化事業 夢灯（実施日時）について（まちづくり委員会）</p> <p>4. 山形ブロック会長公式訪問 事業報告について（事務局）</p> <p>5. 齋藤憲幸君入会（正会員）承認について（事務局）</p> <p>6. フラワーボランティア教室（案内文）について（ひとづくり委員会）</p>	11
第5回 理事会	2011.5.7 JC ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会）</p> <p>2. サマーアドベンチャー2012IN長井葉山について（ひとづくり委員会）</p> <p>3. 長井駅整備事業について（まちづくり委員会）</p> <p>4. 地域活性化事業 夢灯（実施日時）について（まちづくり委員会）</p> <p>5. スポーツ例会 変更事業計画（案）及び補正事業予算（案）について（まちづくり委員会）</p> <p>審議事項</p> <p>1. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会）</p> <p>2. 長井駅整備事業について（まちづくり委員会）</p> <p>3. 地域活性化事業 夢灯（ポスター・チラシ）について（まちづくり委員会）</p> <p>4. スポーツ例会 変更事業計画（案）及び補正事業予算（案）について（まちづくり委員会）</p> <p>5. スポーツ例会 事業決算報告について（まちづくり委員会）</p>	13

会議名	期日と場所	議 題	出席数
臨時理事会	2011.5.16 JC ルーム	協議事項 1. サマーアドベンチャー2012IN長井葉山について (ひとづくり委員会) 2. 地域活性化事業 夢灯について(まちづくり委員会) 3. 山形ブロック協議会 やまがた協働運動推進事業への参加協力について(事務局) 審議事項 1. サマーアドベンチャー2012IN長井葉山(日時・場所・こころまちづくり基金申請資料)について(ひとづくり委員会) 2. 山形ブロック協議会 やまがた協働運動推進事業への参加協力について(事務局)	13
第6回理事会	2011.6.7 JC ルーム	協議事項 1. SNS活用セミナー 変更事業計画(案)及び補正事業予算書(案)について(ひとづくり委員会) 2. サマーアドベンチャーin葉山について(ひとづくり委員会) 3. 納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 4. 地域活性化事業 夢灯について(まちづくり委員会) 5. ブロック会員大会17魂祭への参加協力について(事務局) 審議事項 1. SNS活用セミナー 変更事業計画(案)及び補正事業予算書(案)について(ひとづくり委員会) 2. サマーアドベンチャーin葉山(ポスター・チラシ・記念品)部分審議について(ひとづくり委員会) 3. 地域活性化事業 夢灯について(まちづくり委員会) 4. 菅原純一君入会(仮会員)承認について(事務局)	14
第7回理事会	2010.7.5 JC ルーム	協議事項 1. サマーアドベンチャーin葉山について(ひとづくり委員会) 2. 納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 3. 地域活性化たからいちへの参加協力について(事務局) 4. 8月通常総会について(事務局) 5. 次年度理事長候補者所信発表例会について(事務局) 6. 置賜4LOM合同例会について(事務局) 7. 山形ブロック協議会2014年度会員大会主管立候補届出書について(事務局) 8. 定款・規定の改正指針並びに準会員の制定検討委員会の設置について(事務局) 審議事項 1. 納涼パーティー(OB向け案内文)について(ひとづくり委員会) 2. 8月通常総会について(事務局) 3. 定款・規定の改正指針並びに準会員の制定検討委員会の設置について(事務局) 4. 新井武志君退会承認について(事務局) 5. サマーアドベンチャーin葉山の延期について(ひとづくり委員会)	12
臨時理事会	2010.7.19 JC ルーム	協議事項 1. 7月例会について(事務局) 2. 山形ブロック協議会2014年度会員大会主管立候補届出書について(事務局) 審議事項 1. 7月例会について(事務局) 2. 山形ブロック協議会2014年度会員大会主管立候補届出書について(事務局)	17
第8回理事会	2010.8.2 JC ルーム	討議事項 1. 8月通常総会について(事務局) 協議事項 1. 納涼パーティーについて(ひとづくり委員会) 2. 葉山トレッキングについて(ひとづくり委員会) 3. 地域防災セミナーについて(まちづくり委員会) 4. 次年度理事長候補者所信発表例会について(事務局) 5. 置賜4LOM合同例会について(事務局) 6. 補正予算(案)について(事務局) 7. ブロック会員大会地域活性化たからいちへの参加協力について(事務局) 8. 日本JCアワードへのエントリーについて(事務局) ・ 2011生きる力を育むための講演会 ・ 2012地域活性化事業	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第8回 理事会	2010.8.2 JC ルーム	9. 2012年度理事長候補者の選出について（選考委員会） 10. 2012年度理事候補者の選出について（選考委員会） 審議事項 1. 納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 2. 補正予算（案）について（事務局） 3. ブロック会員大会地域活性化たからいちへの参加協力について（事務局） 4. 日本JCアワードへのエントリーについて（事務局） ・2011生きる力を育むための講演会 ・2012地域活性化事業 5. 山形ブロック協議会 やまがた協働運動推進事業への参加協力 決算報告書について（事務局） 6. 2012年度理事長候補者の選出について（選考委員会） 7. 2012年度理事候補者の選出について（選考委員会）	11
第9回 理事会	2010.9.6 JC ルーム	協議事項 1. ひとづくり委員会事業予算変更について（ひとづくり委員会） 2. わくわく葉山探検隊について（ひとづくり委員会） 3. 2012年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 2. 第21回JC杯中学野球大会一年生の部について（青少年共有委員会） 5. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 6. 次年度理事長候補者所信発表例会について（事務局） 7. 置賜4LOM合同例会について（事務局） 審議事項 1. ひとづくり委員会事業予算変更について（ひとづくり委員会） 2. 2012年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 3. 第21回JC杯中学野球大会一年生の部について（青少年共有委員会） 4. 次年度理事長候補者所信発表例会について（事務局） 5. 置賜4LOM合同例会について（事務局） 6. 菅原純一君入会（正会員）承認について（事務局） 9. 平成25年度公益社団法人長井青年会議所監事児玉大輔君監事職 辞任について（事務局）	14
臨時理事会	2010.9.13 JC ルーム	協議事項 1. 挑戦！発見！！感動！！葉山探検隊について（ひとづくり委員会） 審議事項 1. 挑戦！発見！！感動！！葉山探検隊について（ひとづくり委員会）	9
第10回 理事会	2010.10.4 JC ルーム	協議事項 1. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 2. 地域活性化事業「夢灯」変更事業計画及び予算書について（まちづくり委員会） 3. 置賜4LOM合同例会変更事業計画について（事務局） 4. 2012年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 5. 補正予算（案）について（事務局） 審議事項 1. SNS活用セミナー事業決算報告について（ひとづくり委員会） 2. 地域防災セミナー（日時、場所、チラシ、案内文、市報掲載文章）について（まちづくり委員会） 3. 地域活性化事業「夢灯」変更事業計画及び予算書について（まちづくり委員会） 4. 地域活性化事業「夢灯」事業報告決算書について（まちづくり委員会） 5. 置賜4LOM合同例会変更事業計画について（事務局） 6. 2012年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 7. 井上真君入会（仮会員）承認について（事務局） 8. 補正予算（案）について（事務局）	13
第11回 理事会	2010.11.1 JC ルーム	協議事項 1. 第21回JC杯中学野球大会変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 2. 第21回JC杯中学野球大会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 3. フラワーボランティア教室変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 4. フラワーボランティア教室事業報告決算書について（ひとづくり委員会）	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第11回 理事会	2010.11.1 JC ルーム	5. 納涼パーティー事業報告について（ひとづくり委員会） 6. 挑戦！発見！！感動！！！！葉山探険隊変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 7. 挑戦！発見！！感動！！！！葉山探険隊事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 8. 第21回J C杯中学野球大会1年生の部変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 9. 第21回J C杯中学野球大会1年生の部事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 10. 広報活動について（ひとづくり委員会） 11. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 12. クリスマスパーティーについて（まちづくり委員会） 13. 事務局内事業費変更について（事務局） 14. 次年度事業計画発表例会について（事務局） 15. LOM褒賞について（事務局） 16. ブロック会員大会地域活性化たからいちへの参加協力 事業報告について（事務局） 17. 次年度理事長候補者所信発表例会 事業報告について（事務局） 審議事項 1. 第21回J C杯中学野球大会変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 2. フラワーボランティア教室変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 3. フラワーボランティア教室事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 4. 納涼パーティー事業報告について（ひとづくり委員会） 5. 挑戦！発見！！感動！！！！葉山探険隊変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 6. 第21回J C杯中学野球大会1年生の部変更事業計画及び予算書について（ひとづくり委員会） 7. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 8. クリスマスパーティー（実施日時・実施会場）について（まちづくり委員会） 9. 事務局内事業費変更について（事務局） 10. 次年度理事長候補者所信発表例会 事業報告について（事務局） 11. ブロック会員大会地域活性化たからいちへの参加協力 事業報告について（事務局） 12. 多田健太郎君退会承認について（事務局） 13. ベルガミニシヤマ由紀美君退会承認について（事務局） 14. 渡部雄市君退会承認について（事務局）	12
第12回 理事会	2010.12.11 JC ルーム	協議事項 1. 第21回J C杯中学野球大会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 2. 第21回J C杯中学野球大会1年生の部事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 3. 挑戦！発見！！感動！！！！葉山探険隊事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 4. 広報活動について（ひとづくり委員会） 5. 長井駅周辺整備事業 変更事業計画及び予算書について（まちづくり委員会） 6. 長井駅周辺整備事業 事業報告決算書について（まちづくり委員会） 7. 地域防災セミナー 変更事業計画及び予算書について（まちづくり委員会） 8. 地域防災セミナー 事業報告決算書について（まちづくり委員会） 9. クリスマスパーティーについて（まちづくり委員会） 10. 次年度事業計画発表例会について（事務局） 11. LOM褒賞について（事務局） 12. 置賜4LOM合同例会補正予算について（事務局） 13. 置賜4LOM合同例会事業決算報告について（事務局） 14. 2012年度補正予算（案）について 15. 2013年度 基本資料について（2013年度事務局） 16. 2013年度 事業計画について（2013年度事務局） 17. 2013年度 当初予算（案）について（2013年度事務局） 18. 新春賀詞交歓会について（2013年度事務局） 19. ホームページ運営について（2013年度事務局） 20. 2012年度公式スケジュール（案）について（2013年度事務局） 21. 2012年度 スローガン（案）について（2013年度事務局）	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第12回 理事会	2010.12.11 JC ルーム	審議事項 1. 第21回JC杯中学野球大会事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 2. 第21回JC杯中学野球大会1年生の部事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 3. 挑戦! 発見!! 感動!!! 葉山探険隊事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 4. 広報活動について (ひとづくり委員会) 5. 長井駅周辺整備事業 変更事業計画及び予算書について (まちづくり委員会) 6. 長井駅周辺整備事業 事業報告決算書について (まちづくり委員会) 7. 地域防災セミナー 変更事業計画及び予算書について (まちづくり委員会) 8. クリスマスパティーについて (まちづくり委員会) 9. 次年度事業計画発表例会について (事務局) 10. LOM褒賞について (事務局) 11. 置賜4LOM合同例会補正予算について (事務局) 12. 置賜4LOM合同例会事業決算報告について (事務局) 13. 2013年度 基本資料について (2013年度事務局) 14. 2013年度 事業計画について (2013年度事務局) 15. 2013年度 当初予算(案)について (2013年度事務局) 16. 新春賀詞交歓会について (2013年度事務局) 17. ホームページ運営について (2013年度事務局) 18. 2012年度公式スケジュール(案)について (2013年度事務局) 19. 2012年度 スローガン(案)について (2013年度事務局)	12
2013年 第1回 理事会	2013.1.11 JC ルーム	協議事項 1. 広報活動 事業報告について (ひとづくり委員会) 2. 地域防災セミナー 事業報告について (まちづくり委員会) 3. クリスマスパティー 事業報告について (まちづくり委員会) 4. ホームページ運営 事業報告について (まちづくり委員会) 5. 7月例会 事業報告について (事務局) 6. 次年度事業計画発表例会 事業報告について (事務局) 7. LOM褒賞 事業報告について (事務局) 8. 記録の管理 事業報告について (事務局) 9. 定款改定(案)について (事務局) 10. 役員選任規程改定(案)について (事務局) 11. 井上真君入会(正会員)承認について (事務局) 12. 2012年度補正予算(案)について (事務局) 13. 2012年度決算(案)について (事務局) 14. 1月通常総会について (2013年度事務局) 15. まちづくり基金助成交付申請書について(2013年度事務局) 審議事項 1. 広報活動 事業報告について (ひとづくり委員会) 2. 地域防災セミナー 事業報告について (まちづくり委員会) 3. クリスマスパティー 事業報告について (まちづくり委員会) 4. ホームページ運営 事業報告について (まちづくり委員会) 5. 7月例会 事業報告について (事務局) 6. 次年度事業計画発表例会 事業報告について (事務局) 7. LOM褒賞 事業報告について (事務局) 8. 記録の管理 事業報告について (事務局) 9. 定款改定(案)について (事務局) 10. 役員選任規程改定(案)について (事務局) 11. 井上真君入会(正会員)承認について (事務局) 12. 2012年度補正予算(案)について (事務局) 13. 2012年度決算(案)について (事務局) 14. 1月通常総会について (2013年度事務局) 15. まちづくり基金助成交付申請書について (2013年度事務局)	15

【会 議 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
京都会議	1月20日(金)～ 1月22日(日)	京 都	吉田重成、横山敬生、板垣洋一
ASPAC	6月7日(木)～ 6月10日(日)	香 港	
サマーコンファレンス	7月21日(土)～ 7月22日(日)	横 浜	吉田重成、横山敬生、板垣洋一
J C I 世界会議	11月18日(日)～ 11月23日(金)	台 北	

【会 員 動 向】

卒業者 2名	嵐田良一 情野正人
入会者 2名	齋藤憲幸 菅原純一
休会者 0名	
退会者 4名	新井武志 多田健太郎 ベルガミニシヤマ由紀美 渡部雄市

【総 会 報 告】

総 会 種 類	日 時	場 所	議 案
1月通常総会	1月31日(火) 19:00～	タスパーク ホテル アゼリア	第1号議案 2011年度補正予算(案)承認の件 第2号議案 2011事業報告(案)承認の件 第3号議案 2011年決算(案)承認の件 第4号議案 2012年度社団法人長井青年会議所 (1/1～1/3)事業報告(案)承認の件 第5号議案 2012年度社団法人長井青年会議所 (1/1～1/3)決算報告(案)承認の件
8月通常総会	8月16日(木) 17:30～	グランパリス パーティ リゾート	第1号議案 2013年度理事予定者(案)承認の件 第2号議案 2013年度理事長候補者(案)承認の件

【会 員 大 会 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
ブロック会員大会	7月8日(日)	新庄	吉田 重成、横山 敬生、鈴木 喜典、遠藤 浩樹 井上 典嗣、樋口 和哉、板垣 洋一、梅津壮一郎 影山 孝史、齋藤 繁喜、佐藤 真光、大竹 貴之 風間 正志
東北青年フォーラム	9月1日(金)～ 9月2日(日)	五所川原	吉田 重成、横山 敬生、板垣 洋一、大竹 貴之
全国会員大会	10月12日(金)～ 10月14日(日)	北九州	吉田 重成、横山 敬生、鈴木 喜典

【祝 事】

周 年 事 業 名	期 日	会 場	登 録 者
寒河江 J C 4 5 周年	5月27日(日)	グランデール 寒河江	吉田 重成、横山 敬生、鈴木 喜典、板垣 洋一
庄内中央 J C 3 0 周年	9月16日(日)	庄内町 文化創造館 響ホール	吉田 重成、板垣 洋一

【例 会 報 告】

会議名	期 日	会 場	主 管	内 容
1月例会	1月31日(火)	タスパークホテル アゼリア	事務局	通常総会 第1号議案 2011年度補正予算(案)承認の件 第2号議案 2011事業報告(案)承認の件 第3号議案 2011年決算(案)承認の件 第4号議案 2012年度社団法人長井青年会議所 (1/1～1/3) 事業報告(案)承認の件 第5号議案 2012年度社団法人長井青年会議所 (1/1～1/3)決算報告(案)承認の件
2月例会	2月16日(月)	タスパークホテル	事務局	山形ブロック協議会会長 第4エリア 公式訪問
3月例会	3月17日(木)	勤労センター	まちづくり委員会	スポーツ例会 (ソフトバレーボール)
4月例会	4月19日(木)	農家レストラン エルベ	ひとづくり委員会	SNS活用セミナー
5月例会	5月4日(金)	飯豊町民球場 長井南中グラウンド	ひとづくり委員会	第21回JC杯中学野球大会
6月例会	6月24日(日)	あやめ公園	まちづくり委員会	地域活性化事業 みんなで灯そう 夢灯
7月例会	7月31日(火)	大竹電気工事(株) 会議室	事務局	会員拡大ミーティング
8月例会	8月16日(木)	グランパリス パーティリゾート	事務局	通常総会 第1号議案 2013年度理事予定者(案)承認の件 第2号議案 2013年度理事長候補者(案)承認の件
9月例会	9月20日(木)	摂取院	事務局	仏教体験会 次年度理事長予定者所信発表会
10月例会	10月18日(木)	長井観光はぎ苑	事務局	置賜4LOM合同例会 地域再生セミナー
11月例会	11月15日(木)	長井市置賜 生涯学習プラザ 大研修室	まちづくり委員会	地域防災セミナー
12月例会	12月15日(土)	グランパリス パーティリゾート	事務局	次年度事業計画発表会

【事業報告】

総会種類	日時	場所	議案
新春賀詞交歓会	1月19日(木)	はぎ苑	事務局
ながい雪灯り回廊まつり 2012	2月4日(土)	最上川堤防沿い	ひとづくり委員会
長井駅周辺環境整備	5月15日(火) 10月17日(水)	長井駅周辺	まちづくり委員会
公益社団法人格取得祝賀会	5月17日(木)	はぎ苑	事務局
黒獅子まつり 売店運営	5月20日(日)	つつじ公園	事務局
フラワーボランティア教室	6月7日(日)	最上川河川緑地公園	ひとづくり委員会
17LOM 協働運動ふるさと OMOIYARI プロジェクト	6月3日(日)	最上川河川緑地公園	事務局
水まつり 売店運営	8月4日(土)	最上川河川緑地公園	事務局
納涼パーティー	8月16日(木)	グランパリス パーティリゾート	ひとづくり委員会
挑戦！発見！！感動！！ 葉山探検隊	10月6日(土)	長井葉山	ひとづくり委員会
第21回 JC 杯 中学野球大会1年生の部	10月7日(日)	飯豊球場 白鷹町営野球場	ひとづくり委員会
フラワー長井線まつり	10月21日(日)	長井駅	まちづくり委員会
クリスマスパーティー	12月15日(日)	グランパリス パーティリゾート	まちづくり委員会
広報誌「あゆみ」の発行	12月21日(土)	西置賜管内	ひとづくり委員会

【2012 例会出席状況】

No	役 職 名	理事	氏 名	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会	例会出 席回数	例 会 出席率
1	理 事 長	◆	吉田 重成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
2	直 前 理 事 長	◆	横山 敬生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
3	監 事		児玉 大輔	○	○				○			○	○	○		6	50%
4	監 事		飯鉢 文義	○	○	○			○		○	○	○	○		8	67%
5	副 理 事 長	◆	遠藤 浩樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
6	副 理 事 長	◆	鈴木 喜典	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11	92%
7	担 当 理 事	◆	樋口 和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
8	担 当 理 事	◆	井上 典嗣	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11	92%
9	専 務 理 事	◆	板垣 洋一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
10	ひとづくり委員会 委員長	◆	小関 幸一	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		10	83%
11			椎名 恭一	○	○	○	○		○		○		○	○		8	67%
12			渡部 清隆			○	○				○					3	25%
13			多田健太郎											/	/	0	0%
14			小笠原 恒						○				○			2	17%
15			情野 正人													0	0%
16			ベルガモニア								○	○		/	/	2	17%
17			新井 武志	○	○					/	/	/	/	/	/	2	17%
18			齋藤 憲幸	○	○	■	○			○	○	○	○	○	○	9	75%
19			井上 真	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	○	3	25%
20	青少年地域教育委員会 委員長	◆	梅津壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
21			那須 丈雄			○	○		○		○			○		5	42%
22			影山 孝史	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11	92%
23			齋藤 繁喜								○	○				2	17%
24			渡部 雄市				○					○		/	/	2	17%
25			嵐田 良一													0	0%
26			石田 和義													0	0%
27			菅原 純一	/	/	/	/	/	■	○	○		○		○	4	33%
28	事 務 局 長	◆	佐藤 真光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
29	事 務 局 補 佐		大竹 貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
30	事 務 局 補 佐		梅津 敦	○	○				○	○	○	○	○			7	58%
31	事 務 局 補 佐		風間 正志	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	11	92%
出 席 数				19	19	17	18	8	19	16	22	20	21	19	15		
出 席 率				66%	66%	59%	62%	28%	66%	55%	76%	69%	70%	70%	56%		

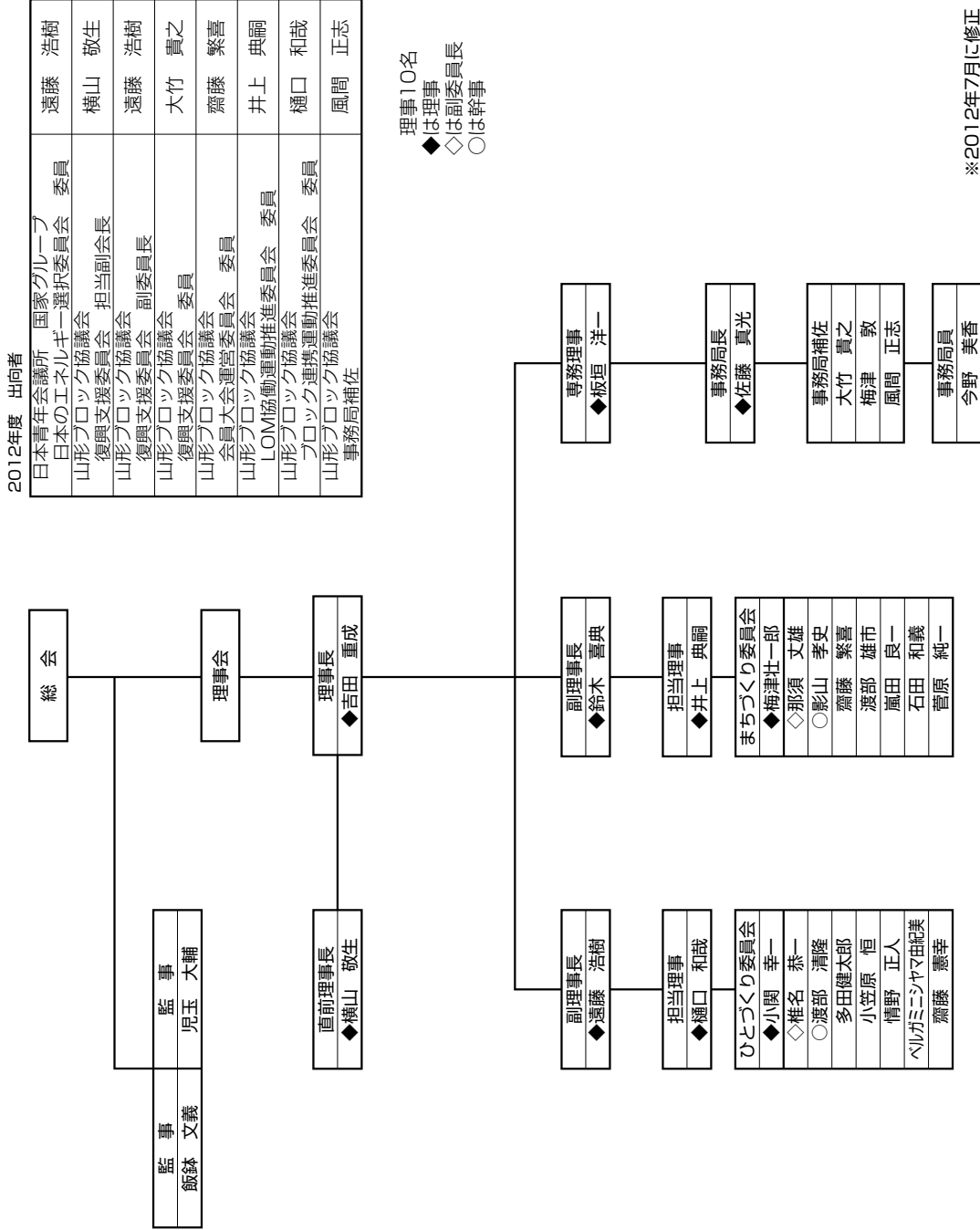
■ ※仮会員期間

【2012 行事・諸会合報告】

期 日	内 容	会 場	代理出席者
1月4日	法務局にて登記	山形市	
1月4日	長井市新春祝賀会	タスパークホテル	
1月10日	小国町、長井市、飯豊町の首長さんへ新春のご挨拶	小国町、長井市、飯豊町	
1月12日	白鷹町町長様にご挨拶	白鷹町	
1月14日	ボランティア体験作文表彰式と発表会	長井市社会福祉協議会	
1月14日	勤労青少年ホーム新春の集い	中央地区公民館	
1月17日	公益社団法人山形青年会議所 新春賀詞交歓会	山形市、ホテルメトロポリタン山形	
1月20日～22日	公益社団法人日本青年会議所 京都会議	京都市	
1月28日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所会議	天童市、滝の湯	
2月22日	公益社団法人日本青年会議所 会頭公式訪問	天童市、滝の湯	
2月24日	山形ブロック協議会復興支援委員会 公開委員会	上市市、上市市商工会館	
3月2日	長井おどり大パレード打ち合わせ会	保健センター	
3月6日	長井ロータリークラブ例会 ゲスト卓話	タスパークホテル	
3月7日	置賜4LOM理事長会	米沢市、招湯苑	
3月12日	高島J C、南陽J C合同例会	高島町、旅館エビスヤ	
3月16日	平成23年度ボランティア連絡協議会	長井市社会福祉協議会	
3月24日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	山形市、山形県中央公民館	
3月28日	長井市青年団体連絡協議会 平成23年度第4回運営委員会	パラディース	
3月29日	第1回長井市振興審議会	タスパークホテル	
4月20日	やまがた元気プロジェクト キックオフイベント	山形市、山形テルサ	
4月28日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	鶴岡市、グランドエルサン	
5月9日	長井市青年団体連絡協議会平成24年度役員会	平田海産物店	
5月11日	フラワー長井線利用拡大協議会 幹事会	タスパークホテル	
5月12日	長井ロータリークラブ 50周年式典	タスパークホテル	
5月15日	長井市観光協会総会	はぎ苑	
5月16日	1000人芋煮会 芋の苗植え		鈴木喜典
5月21日	フラワー長井線利用拡大協議会総会	タスパークホテル	
5月23日	置賜青少年教育推進会議	置賜総合支庁西庁舎	
5月26日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	長井市置賜生涯学習プラザ	
5月27日	社団法人寒河江青年会議所創立45周年記念式典祝賀会	寒河江市、グランデール寒河江	
6月1日	平成24年度第1回長井市心のまちづくり審議会	長井市役所	
6月14日	明るい選挙推進協議会常任理事会	長井市役所	
6月22日	明るい選挙推進協議会総会	中央地区公民館	
6月22日	長井市防犯協会総会	長井市民文化会館	
6月23日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	山辺市、山辺町中央公民館	
6月26日	勤労青少年ホーム親和会総会	酒楽	
6月27日	タスパークホテル周年祭	タスパークホテル	
6月27日	長井市まちづくり青少年育成市民会議総会	中央地区公民館	板垣洋一
6月28日	第2回長井市振興審議会	長井市民文化会館	
7月2日	第62回”社会を明るくする運動”長井大会	長井市置賜生涯学習プラザ	
7月7日	山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議	新庄市、大地会館	
7月8日	山形ブロック協議会 第45回山形ブロック会員大会新庄大会	新庄市	

期 日	内 容	会 場	代理出席者
7月20日～ 22日	公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス	横浜市、パシフィコ横浜	
8月18日	長井JCOB会 ゴルフコンペ	山形南カントリークラブ	
8月22日	山形ブロック協議会 組織進化ミーティング理事長座談会Part1	東根市、東根市職業訓練センター	
8月24日	平成24年度第2回長井市心のまちづくり審議会	長井市役所	
8月28日	長井市振興審議会分科会	長井市教育委員会	
8月31日～ 9月2日	東北地区協議会 東北青年フォーラムin奥津軽五所川原	青森県五所川原市	
9月3日	フットパスウォーク実行委員会	勤労青少年ホーム	
9月5日	山形ブロック協議会復興支援委員会 公開委員会 (福島視察)	福島県伊達市、郡山市	
9月11日	JCI ASPAC山形大会開催権獲得のご報告並びに御礼会	山形市、パレスグランデール	
9月16日	社団法人庄内中央青年会議所 創立30周年記念式典祝賀会	庄内町、響ホール	
9月22日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	村山市、村山市民会館	
9月25日	ながい市民未来塾全体会	タスパークホテル	
9月29日	山形ブロック協議会LOM協働推進委員会 新法人格移行後の維持・継続のための公開セミナー	山形市、山形J C ルーム	
10月3日	置賜4LOM理事長会	はぎ苑	
10月4日	フットパスウォーク実行委員会	中央地区公民館	
10月12日～ 14日	公益社団法人日本青年会議所 全国会員大会北九州大会	福岡県北九州市	
10月17日	長井市振興審議会分科会	長井市役所	
10月24日	長井市青年団体連絡協議会 平成24年度第2回運営委員会	長井市教育委員会	
10月27日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議	山形市、ウェルサンピア山形	遠藤浩樹
10月31日	「長井市宅地開発事業」計画検討委員会	長井市保健センター	板垣洋一
11月1日	フットパスウォーク実行委員会	中央地区公民館	
11月6日	第46回山形ブロック大会 寒河江大会（仮称）顔合わせ会	寒河江市、グランデール寒河江	
11月19日	長井市観光協会理事会	はぎ苑	
11月25日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議	天童市、滝の湯	
11月29日	東北地区協議会 2013年度事業説明会	秋田県秋田市	
11月30日	東北地区協議会 2012年度第2回会員会議所会議	秋田県秋田市	
12月2日	山形ブロック協議会 衆議院議員選挙山形選挙区 公開討論会	置賜生涯学習プラザ	

【2012年度 社団法人長井青年会議所 組織図】



※2012年7月に修正

事業報告書

ひとつくり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 遠藤 浩樹
- 担当理事 樋口 和哉
- 委員長 小関 幸一
- 副委員長 椎名 恭一
- 幹事 渡部 清隆
- 委員 多田健太郎
- 委員 小笠原 恒
- 委員 情野 正人
- 委員 ベルガミニシヤマ由紀美
- 委員 新井 武志
- 委員 齋藤 憲幸
- 委員 井上 真

議長所感

2012年度、ひとつくり委員長職を務めさせて頂き、吉田理事長、理事役員メンバー、フォロアメンバーの皆さま、そして、遠藤副理事長、樋口担当理事、ひとつくり委員会メンバーには特に一年中何度も委員会にて顔を出して頂き、アドバイスやご意見を沢山頂戴し、全ての方に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。理事会や委員会、貴重な時間をかけて、私自身になれたいではない優しさ、せめこころのない厳しさで支えて頂き、改めてメンバー皆様のお力がなければ、成すことができない2012年度のJC活動でありました。振り返り内容の濃い多数の事業を実施させて頂くことができ、よりよい、この西置賜地域の魅力あるまちづくり、ひとつくり、ひとつくりで微力ながら今年度JC活動を通して貢献が出来たのではないかと考えております。IT活用から縄文時代の火起こし体験に葉山探険隊の登山を実施させて頂くにあたり、私たちの活動に賛同して頂き、快く引き受けて頂いた講師、地域の有識者、幼稚園・学校の先生、役員関係者の皆さま、そして、各事業に参加頂いた地域の幼稚園や小・中・高の生徒の皆さん、保護者、地域住民の皆さまに支えて頂いたこと本当にありがとうございます。この皆さんとの関わりを忘れず、このご縁を大切にさせて頂き、一年間、教えて頂きました経験、今後の様々な活動に努めて参ります。

年間事業報告

SNS活用セミナー

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(3) 指導力啓発の知識及び教養の習得と向上、並びに能力の開発を促進する事業
- 3 事業実施に至る背景
私達は、日々様々な出会いがあります。しかし、一度だけお会いすることもあれば、二度、三度とお会いする中で人と人の繋がりができ、親近感が増していきます。友人、知人でも住む地域や環境が違えば疎遠になっていくこともあります。
我々青年会議所は、リーダーとして活動していくためには、今一度、自らの価値観だけにとらわれず、様々な形で人と人の繋がりを再構築し展開していく必要があると考えます。
- 4 事業目的
現実の世界だけでなく、ネット上でどのようなことが起こっているのかを知り、個人・企業・地域で活用出来る知識を身につけ、会員一人ひとりが、メリットやデメリットを学び、SNSツールを活用し、地域活動の発展に繋げることを目的とします。
- 5 事業の検証方法とその手段
当日、セミナー終了後にプリントにてアンケート記入をして頂き、アンケート集計をもって検証としました。
- 6 事業概要
講師に、夢見るチカラ大学〈山形で朝活・勉強会・交流会〉代表の鈴木史信氏をお招きし、Facebook活用についてのセミナーを行いました。世界最大の实名SNS Facebookは、原則実名でやり取りします。そればかりか、出身地や現在住んでいる地域、出身校、勤め先などの情報を登録し、公開する方も多く見かけます。実名や情報を公開することで、自分を見つけてもらいやすくなる(人とつながる機会を創出する)ことを目指しているサービスです。また、個人・企業・官公庁で幅広く活用されている成功事例等を学び、理解することで、今後の企業・地

域活動に繋がると考えました。

講師からは、基本的な使い方や個人・企業・地域での活用事例、楽しいfacebookの使い方をプロジェクターを使用し、セミナー受講される方は必要であれば、パソコン・タブレット等の端末を見ながら、解説やお話しを交えながらわかりやすく、楽しく教えて頂きました。

駐車場に関しては、現役メンバーは近隣施設の駐車場を確保しており、受講される方は、エルベさんの駐車場、隣のスーパーを使わせて頂けるようにお願いしました。駐車場係としてメンバーの方のご協力をお願いしました。

交流会では、現役メンバーと参加者が互いにfacebookの活用方法を紹介し合いました。

- 7 実施日時：4月19日(木) 午後6時30分～午後8時30分
- 8 実施場所・会場：農家レストラン エルベ

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー、新入会員候補者、青年団体連絡協議会加盟団体、にぎわいプロジェクト(飯豊町)

10 参加者募集方法

ホームページでの告知。

チラシを作成し参加者を募りました。

新入会員候補者へは、事前にリストを作成し、委員会単位で割り振りを行い手配りでご案内頂きました。(計150枚)

青年団体連絡協議会加盟団体へは、団体代表の方を通じて配布(105枚を割り振り)頂き、ご参加頂けるようお願いしました。(商工会議所青年部会 30枚、長井農研 15枚、山形工科大学 15枚、経和会 25枚、青少年育成推進委員会 10枚、勤労青少年ホーム利用者会 10枚 計105枚)

長井商工会議所に20枚設置。白鷹町商工会青年部に10枚。飯豊町商工会青年部に10枚。小国町商工会青年部に10枚。(計50枚)

チラシ配布総数300枚となりました。

11 決算総額：¥48,333

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 10名	【実施】 5名
その他メンバー	【計画】 20名	【実施】 13名

◆外部

新入会員候補者	【計画】 10名	【実施】 8名
青年団体連絡協議会加盟団体	【計画】 10名	【実施】 1名
その他	【計画】 0名	【実施】 21名
合計	【計画】 50名	【実施】 48名

16 実施プログラム

予定時刻	実施時刻
18:30~18:45	18:30~18:40
PV・開会・理事長挨拶	
18:45~18:50	18:40~18:45
趣旨説明・講師紹介	
18:50~20:00	18:45~20:00
セミナー(80分)	
20:00~20:10	20:05~20:15
質疑応答(2名)	
20:10~20:15	20:15~18:17
副理事長(遠藤浩樹)謝辞 ※記念品贈呈	
20:15~20:20	20:17~20:25
アンケート記入	
20:20~20:30	20:25~20:35

休憩（会場セッティング・トイレ休憩）
20:30～22:00 20:35～22:00
懇親会

17 対外配付資料
資料名内容 1. 参加申込チラシ 2. レジュメ
3. アンケート

18 人員配置・役割分担表 別紙参照：役割分担表

19 引用著作物の有無 鈴木史信氏写真

20 事業目的達成の検証

①今回のセミナーを知ったきっかけは何でしたか？について、知人・友人が全体の34%、JCメンバーが32%、facebookで知ったが13%、チラシを見てが8%、長井JCのHPが4%、その他が9%となり、人脈での集客が非常に効果が高いことが分かりました。

②facebookに登録はしていますか？について、既に登録しているが全体の79%、今回を機に登録するが18%、その他スマートフォンにしてからが3%となり、ほぼ全員が登録の意思があることが分かりました。

③今回のセミナーに参加した目的・理由は何ですか？について、facebookの楽しみ方（活用）を知りたいが、全体の40%、使い方が分からないが8%、将来どうなるのかを知りたいと始めるきっかけにしたいが、それぞれ4%、その他の目的・理由が44%でした。

④あなたは今回のセミナーで、どんな気づきが得られましたか？について、人と人をつなぐツールとコミュニケーションが大事が全体のそれぞれ8%、ビジネスを変えようと人対人を大切にすることが、それぞれ4%、その他の気づきが76%となりました。

⑤個人・企業・地域で、今後、どのようなアクションを取ろうと思いますか？について、個人では、情報を発信したいが全体の13%、人脈を増やすと活用していきたいがそれぞれ8%、人とのコミュニケーションが4%、その他のアクションが67%となりました。企業では、会社の情報を発信したいが、全体の6%、その他のアクションが94%となりました。地域では、地域の情報を発信したいが、全体の13%、その他のアクションが87%となりました。個人・企業・地域が共通して、一番多かったのは情報発信を行っていききたいということ結果になりました。

⑥今回参加されてのご感想をお聞かせください。について、楽しかったが全体の10%、勉強になったとやってみたくなかったが、それぞれ6%、その他の20件の感想を頂きました。

⑦長井青年会議所への期待、ご要望があればぜひお聞かせください。について、これからも頑張ってください、全体の13%、またこのようなセミナー・企画をお願いしたいが12%、設営面でWiFiが弱かったが4%、その他9件の期待・要望を頂きました。

アンケート結果を拝見すると、参加されたほぼ全ての方が、facebookに登録意思をもっており、更に企業・地域、個人の、どの分野でも「情報発信」を行うことが大事であるという考えの方がそれぞれ一番多くおりました。参加者が中心となり、周りの方も巻き込んでSNSツールの一つであるfacebookを活用し、今後の街づくりに繋がる機会となったと確信し、本セミナーは目的を達成できたと考えております。最後に、この輪を更に広げ今後のJC活動の糧となるよう情報発信をし活用して参ります。

21 実施上の問題点

- 【運営面】・wifiが弱かった
- 【予算面】・特に問題はございませんでした。
- 【その他】・メンバーの方の参加が少なかった。

22 引継ぎ事項

会場の選定に関して協議頂く際に、写真などほとんど何もないなかで、審議ギリギリでの理事の方へ会場の詳細情報の提示となってしまった。理事会で協議する際に、早めの詳細情報の提示と、分かりやすい議案書の作成が必要でした。

24 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

今回のSNSセミナーに沢山の方にご協力、ご参加頂き誠にありがとうございます。特に飯豊町で開催ということで、飯豊町出身のメンバーの方には、地元飯豊の方に沢山お声掛け頂き、多数のご参加を頂きました。また遠方よりも沢山ご参加頂き、facebookの繋がりが周知については計り知れないと感じ

ました。今回の事業をきっかけに、講師の鈴木さんのお話しの成功事例や活用法などをお聞きすることで、参加された方が中心となり、個人・企業・地域で幅広く活用されることと思います。特に若い方が多く見かけられたのが今までにないセミナーだったなと思います、うれしく感じました。改めて、今回の事業は、今後の地域発展に繋がる内容として大成功だと感じました。皆様のご協力ありがとうございました。

担当理事：樋 口 和 哉

現代の社会に於いてSNSは必要不可欠と言っても過言ではないほど様々なサイトが存在するなか、今年度、当委員会最初の担当例会ということでfacebookを用いてのSNSセミナーを開催させていただきました。先見性を持った小関委員長とは反対にアナログ人間な私自身は初心者同然でしたが、実際に鈴木先生のお話を聞いてみてSNSというのは、新たな人間関係を構築する場でもあり、人と人とのコミュニケーションを飛躍的に広げてくれるものだと感じました。活用セミナーではありましたが、今の時代・世相を学ぶセミナーでもあったと感じました。また、この度は市外での活動が少ない当LOMにとって今回の開催地である飯豊町で開催出来たことも参加された皆様に長井JCの活動を知っていただく良い機会であったと思います。お忙しい中、参加協力いただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

SNSセミナーということで、例会扱いして勉強したのは、2001年の当時の大山先輩のITセミナー以来ではないかと記憶しています。その当時から比べて、携帯電話でインターネットにつながられ、人と人のコミュニケーションの採り方も大きく変わってきています。そんな中で、実施した例会でありました。

講師の鈴木さんから、一方的に話すだけではなく、グループや隣の人とも話しをして、「こんな目的で今日は来ました」や「フェイスブックについての質問」など隣の方とも交流や意見交換もできて良い講演だったと思います。時間があつというまだったという嬉しいご意見も聞くことができて開催して良かったと思います。また、次に日に飛躍的にフェイスブックで友達申請がきたこと、私やメンバーの記事にたくさんコメントがいただけ良かったと思います。

他の地域からたくさんの方々がかられて良かったと思います。しかし、長井青年会議所メンバーが少なく、担当副理事長として声がけPRの不足であったことが痛感させられました。参加された皆様のご協力ありがとうございました。

第21回JC杯野球大会

1 事業の区分：公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1）講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

歴史を振り返ると、平成3年に始まったJC杯中学野球大会は、先輩諸兄の熱意のもとに脈々と受け継がれてきた事業であり、今年で第21回目を迎えるこのJC杯は、青少年育成事業としてすっかり地域に根差した大会と言っても過言ではないくらいの実績と規模を拡大してまいりました。今年度も前年までの開催内容と検証結果を元に今以上に効果的な青少年育成事業を行う必要があると考えます。また昨年度は震災の影響で、他の公式戦が中止となりJC杯も同様に開催が危ぶまれましたが、何とか無事に開催することが出来ました。今年度もこの大会を通して、野球が出来ることに感謝しながら子どもたちのハツラツとしたプレーで地域に元気と勇気を発信していくことが必要です。

4 事業目的

野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を自ら考える機会とし、この大会を通じて子供たちの人として、一選手としての精神的成長を図る。また、青少年育成事業の場に携わる事で更なる青少年育成の認識向上を図る。

5 事業の検証方法とその手段

アンケートを各中学校へ配り、目標、課題作りに活かされたか、この事業で何を体感したかを確認することで検証とする。また、今後も継続事業として、今年度のアンケート結果を含め検証にし

ます。

6 事業概要

5月3日は雨天により中止でした
5月4日は、参加予定であった、高島の4つの中学校が不参加のため、8チームが2会場にわかれトーナメント戦を行いました。

7 実施日時：5月3日(木) 雨天の為中止 4日(金)のみの開催

8 実施場所・会場：飯豊町民球場、長井南中グラウンド

9 事業対象者

西置賜地域及び近隣の地域の野球部に所属する中学生

10 参加者募集方法

西置賜地域のすべての中学校6校に案内を送付。また中学校より推薦があった西置賜以外の中学校へも案内を送付。

11 決算総額：¥76,950

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 10名 【実施】 2名
その他メンバー 【計画】 20名 【実施】 6名

◆外部

中学生 【計画】 240名 【実施】 240名
審判員 【計画】 16名 【実施】 2名
合計 【計画】 286名 【実施】 250名

15 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕長井青年会議所
〔主管〕西置賜地区中学校体育連盟野球専門部
〔協力〕長井市野球連盟、西置賜地区中体連、東置賜地区中体連
〔協賛〕イタガキスポーツ

16 実施プログラム

1日目

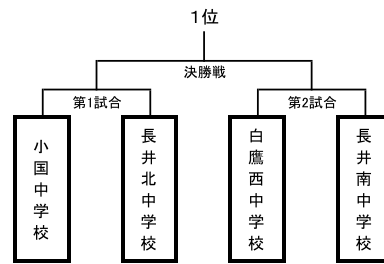
雨天で中止でした
天候判断を6時にして雨天中止の判断をして各中学校に連絡しています。

2日目

7:00 委員会メンバー集合
7:30 メンバー集合
7:40 グラウンド補修
9:40 監督会議
10:00 試合開始 (グラウンド整備の為、開始時間が遅れた)
10:00 第1試合
12:00 第2試合
14:00 第3試合
16:30 表彰式

初日が雨天で中止となり、また参加予定だった高島の中学校が参加できなくなったためトーナメント戦を行いました

長井南中学校トーナメント
長井南中グラウンド



飯豊町民球場トーナメント

第1試合 10:00~12:04	
試合校	合計
飯豊 2 0 0 0 0 0 0 0	2
宮内 0 0 0 0 0 0 3	3

第2試合 12:26~14:26	
試合校	合計
白鷹東 0 0 0 0 0 1 0	1
沖郷 1 0 0 0 0 2 ×	3

第3試合 14:46~16:26	
試合校	合計
宮内 0 0 1 0 1 0 2 2	6
沖郷 0 0 0 0 1 2 1 3	7

1位 宮内中学校
2位 沖郷中学校

長井南中学校トーナメント

第1試合 10:00~12:04	
試合校	合計
小国 3 0 0 0 0 0 1	4
長井北 0 0 0 0 0 0 0	0

第2試合 12:26~14:26	
試合校	合計
白鷹西 0 0 3 0 0 1 0	4
長井南 0 2 0 0 0 0 ×	2

第3試合 14:46~16:26	
試合校	合計
小国 0 0 1 0 0 1 0	3
白鷹西 1 0 0 1 0 4 ×	7

1位 白鷹西中学校
2位 小国中学校

15:40 決勝戦終了あと片付け後、移動

例会セレモニー

場所 長井南中学校 グラウンド脇にて

理事長挨拶

担当副理事長挨拶

報告事項

閉会

17 対外配付資料

資料名内容 1.パンフレット
2.第21回長井JC杯中学野球大会実施要項

18 人員配置・役割分担表

飯豊町民球場リーグ
吉田 重成 樋口 和哉 梅津 壮一郎 佐藤 真光
長井南中学校リーグ
横山 敬生 遠藤 浩樹 板垣 洋一 大竹 貴之

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証

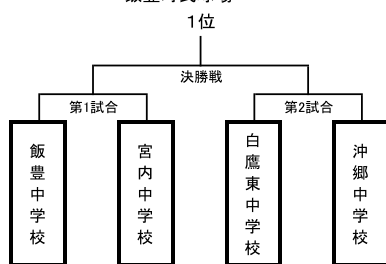
問1 今大会で思った事、感じた事を自由に書いてください
の質問では

- ・最終回で逆転負けをしてしまったので、気をぬかないです。ベンチでも最終回は気をぬいてしまい声がでていなかった。ベンチでも最終回は気をぬいてしまい声がでていなかった。
- ・今大会で、やはり「声」は大事だと思った。たとえ、リードされていたとしても、ベンチからの声やまわりの声が大事です
- ・最初の日になぜ試合をやらなかったのか
- ・大会を中体連のあとにすれば、予備日もとれると思います。
- ・他のチームも全力でやってよかったし、1つのエラーでながれが変わるということがわかりました。
- ・いろいろなチームと交流ができて、楽しかったです。どのチームも「きびきび」した行動をしていました。
- ・今大会で自分たちのこれから中体連までのおすべき課題がわかったのでよかった。
- ・他のチームはここぞというときにベンチも守備も盛り上がり、良いプレーがでていたので見習っていきなさいと思った。
- ・あまり試合には出れなかったけど、みんなの応援が、僕も楽しめたのでよかったです。
- ・次の試合やこれからも頑張っていきたいです。

問2 今大会を通して次の課題を見つけることができましたか
はい 116名 (80, 4%) いいえ 6人 (4%)

飯豊町民球場トーナメント

飯豊町民球場



- ・もっとチームに声をかけることです。
 - ・Q1でも答えたようにベンチでも気をぬかないで声を出す
 - ・チームのふんいきのつくりかたをみつけることができた。
 - ・チャンスの場面でフライが上がるといことが、けっこうあったので、常にたたくバッティングを意識して強いゴロを打つことを課題として日々の練習を頑張りたい。
 - ・今大会では、チームのふんいきのつくりかたをみつけることができたと思います。このふんいきづくりを毎試合つくれるようにすることです。
 - ・けんせいピンチやチャンスのプレッシャーのかかる時のプレー
 - ・サーフティーバントをしっかりとサードにころがす。さいこまれているので、ポイントを前にする。
 - ・声かけや、積極的なプレーを大事にしていきたいです。あと、試合に出て、経験を多くできるようにがんばりたいです。
 - ・自分は、精神的にもっときたえたいです。練習を本番のように意識したい。
 - ・初心に戻り、積極的にプレーしたり、勝負強さをもっとつけていかなければいけないと思った。
- 次の目標は、レギュラーを確定させ県制覇する。
- ・ピンチの時も冷静にいつも通りのプレーができるようにしたい。
 - ・バッティング・ピッチャーでの配球・野球以外のことをしっかりと全力で・最後まで気持ちをぬかない
 - ・バッティングでフライを上げない。

問3 今までJ C杯に出場した事がある

春の大会	参加した事がある	66人 (45, 9%)
	参加した事がない	73人 (50, 6%)
1年生大会	参加した事がある	82人 (56, 9%)
	参加した事がない	50人 (34, 7%)

問4 J C杯野球大会はあなたにとってどんな大会でしたか？

- ・チームのことを考えられる大会
- ・負けたけれども大事な事がわかった大会だった。
- ・次への課題をみつけるための大会
- ・中体連前に自分たちのチームの課題を見つかるいい大会だと思う。
- ・チームを勢いづけさせ、次の課題を見つかる大会。
- ・自分達の課題を見つけ、チームのいしき、技術を伸ばせる大会。
- ・数が少ない公式戦のたいせつな一つの大会だと思います。
- ・中体連前に自分たちの状態を知る事ができる大会。
- ・良いプレーが自分のチームにもでたが、課題点がたくさんだった。他のチームの試合をみていて、とても勉強になった。
- ・J C杯で勝って、先生に自分ではできるんだと見せつけて、たよりになれる選手にだどりつけることです。
- ・そして、県制覇にだどりつけるように一人一人一つになってチームプレーで勝っていききたいです。
- ・本番の中体連までへの課題を見つかる。試合で体の動きなどを確かめる。
- ・中体連前の数少ない大会での力試しの場でもあり、あらためて課題を確認する大会。
- ・課題がたくさん見つかる大会。
- ・数少ない貴重な公式大会。
- ・さまざまな課題がみつかった大会。
- ・中体連前の大切な大会の一つ。
- ・とても楽しい大会でした。
- ・毎回、今現在の課題を見つけられる、いい大会。ここで見つけた課題を克服し、更に良いチームにしていきたい。

まとめますと、問1では、初日雨が降って試合が中止になったことや試合について書いています。

問2では80%のかたよりいろいろな課題を見つけれられたようです。バッティングや積極的なプレーをしっかりと書いています。

問3では、春の大会と1年生大会の参加ですがほぼ半分半分のようです。

問4では、J C杯野球大会はあなたにとってどんな大会でしたか？についてですが、優勝したチームは勝って良かったなどがあります。中体連の課題が見つかった試合。公式戦は少ないので貴重な体験でした。西置賜以外のチームと試合できて、いい経験になったなど。来年も開催して欲しいとの意見がありました。アンケートを集計してみまして、どの中学生も成長できた、中体連への課題が見えたなど前向きな意見が多数、書かれています。また来年度もこの中学生野球大会を開催して欲しいとの声もありました。よってこの事業は成功したものと思われれます。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

- ・メンバーについて
委員会の事前の呼びかけが足りず、結果としてメンバーの集まりが悪かった。
- ・参加チームについて
今回の参加チームに2日間参加できないチームがありました。
- ・天候判断について
1日目、雨が降り中止になりましたが、6時に天候判断をするべきでしたが、判断に遅れて時間がかかり。逆に学校側より、要項に記載ある大会責任者に電話が集中して、電話がつかないアンケートにもありました。
- ・謝礼について
本来、球場責任者としてついた野球連盟の方に渡すべき謝礼を主審をしていただいた父兄の方にお渡ししてしまいました。
- 【予算面】
- ・フェンスについて
今回、南中は前日に練習試合があり、フェンスを使わせていただきました。
- 【その他】 無し

2.2 公益目的事業の種類 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント (1) 《公益事業の場合のみ記載》

1.5. 競技会

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
西置賜管内の中学校へ広く周知させることで、多くの中学生たちが参加できる環境にあり公益性があると考えられる。
- ②公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。
(例：親睦会のような活動にとどまっていないか)
開会式、閉会式等のセレモニーも行い、表彰も行う。試合では主審に公式審判員を起用し、競技会として成立しており、公益性が認められると考えられる。
- ③出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

出場者の選定については、対象地域の野球部のある中学校にはすべて案内を送付。

また競技規則等の大会要綱を事前に送付するので、公益性が認められると考えられる。

た競技規則等の大会要綱を事前に送付するので、公益性が認められると考えられる。

2.6 引継ぎ事項

- ・メンバーについて
メンバーの集まりが悪いので、早めに案内、電話してお願いする必要があります。
各中学校と年明け、早めに日程調整が必要だと思います。
- ・参加について
どちらか一日しか参加出来ない学校が出ると、試合内容が変わってしまうので申し込み案内を送付する前に2日間参加出来る学校を担当の先生と連絡調整しながら選定した方がよい。
- ・フェンスについて
今回、南中会場はたまたま前の週に練習試合があり借りておりました。父兄の皆様のご厚意でお借りできました。来年も使用できるとは限りません。
飯豊球場、市営球場はフェンスが必要ありません。しかし、その他の中学校で試合をする場合確認をお願いします。
- ・謝礼について
今年度限りのことではありますが審判の数が揃いませんでした。今回は主審と父兄の方にいただきました。長井市野球連盟の方は監修という形でもお願いしていただきました。
そのため謝礼を渡す方ですが、主審ではなくて、長井市野球連盟の方に渡すべきでした。誠にすみませんがその年ごとに十分に確認が必要です。
- ・雨天時の連絡について

天候判断やグランドコンディションの判断を迷うときは、時間になる前に、青年会議所側より、連絡網を使い電話をお願いします。

・優勝カップのペナント

今年度は、1日目の予選リーグ2日目の決勝リーグをすべて試合をしての優勝校がないのでペナントには書いておりません。

28 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

私は、私用のため参加が出来ず大変申し訳なく思っております。一日目は雨のため中止となり、二日目は天候に恵まれ一日間だけの開催ではありましたが、開催できたことにうれしく思います。今回は第21回を数える大会となり、毎年恒例の大会として地域から認知されており、私は運営委員長として、責任の重大さを感じながら、大会が近くなるにつれ、身が引き締まる思いで、準備をさせて頂きました。今回の事業は、特に樋口担当理事に頼ることが多くあり、色々と勉強させて頂き貴重な経験をさせて頂きました。陰ながら、学校の先生と関わらせて頂き、また本番では、生徒の一生懸命なプレーを見て、今大会への期待度の高さがつくづく感じられ、うれしくなりました。この機会に地域の方と青年会議所メンバーがふれあい話し、生徒と野球や学校の話をしたりと、充実した時間を過ごさせて頂いたと思います。参加頂いたメンバー、生徒、監督、保護者、審判の方、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

担当理事：樋 口 和 哉

昨年に引き続き初日が雨天のためリーグ戦が中止となり、また、2日目に参加出来ない中学校も出た為、開催内容も例年とは違った内容となりましたが、各中学校関係者の皆様、生徒の皆様のご理解、そして長井JCメンバー皆様のご協力のお陰で開催することが出来ましたこと心より感謝申し上げます。しかしながら、今回もメンバーの参加が少なかったことは残念な部分でした。地域、学校から非常に求められていて長井JCが誇れる公益事業のひとつでございますので、今大会の反省点を踏まえて来年度に活かして欲しいと思います。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

今年は、雨の影響で1日開催となりました。2日目は参加する学校が減り、会場も二つの会場で開催でした。参加された中学生はのびのびとプレーをしていて、私たちも見ていて嬉しかったです。

しかし、参加するJCメンバーが少ないようです。連休中ではありますが少しの時間でも参加していただければと思います。また、委員会の声がけも徹底していれば参加者はもっと増えたと思います。

アンケートを見ますと、中学生たちは、いい試合でした。また試合の場を作って下さい。と意見がありました。改善点としては、今回、1日目が雨の為、延期となりましたが、天候判断を迷ったため、ご迷惑をかけたようです。こちらから時間を見てかけ直すなど対応する必要があります。

中学生の数が少ない公式戦で貴重な場ですので、今年度の改善すべき点を直し、来年に繋がればと思います。最後にJC杯野球大会に参加された方お疲れ様でした。

フラワーボランティア教室

1 事業の区分：公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

(1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

花壇という環境の中で、花の小さな命は水を注ぐのを怠れば次第に枯れ果て、雑草を駆除しなければ太陽の光を浴びる事もできず枯れ果ててしまいます。限られた環境の中で花や生き物は、愛情を持って手をかけなければ生きていけません。様々な環境の中でそれぞれはお互いに関係を持ち、バランスを保ちながら命を育てています。私たちの社会においても、個々が自分勝手に生きていく事はできず、他人や周りの環境と関わりをもちながら生きていく事が必要です。

今年度も継続事業として、子供たちにはこれから生きていくために必要な、優しさや思いやりの大切さ、命の大切さを教えてい

かなくてはならないと思います。

4 事業目的

子どもたちが花を育てることで、優しさ、思いやりのある心、命の大切さを理解する場を提供する。

5 事業の検証方法とその手段

この事業に携わる親、先生へアンケートをとる事で検証としました。

6 事業概要

長井青年会議所と長井市が継続して実施してきたフラワーボランティア事業に、長井市内の幼稚園、保育園、児童センターの子供たちが里親として事業に参加していただきました。

一般の里親とは別に長井青年会議所がサポートし、花苗の植栽の時に「フラワーボランティア教室」と称し、体験授業形式で花の名前や正しい植え方を園児ひとりひとりに学んでもらいました。その上で子供たちが実際に自分の手で花を植え、水やりを行いました。

7 実施日時：6月7日(木) 8：30～12：00

8日(金) 10：00～11：00

期間 6月～10月

8 実施場所・会場：最上川河川緑地公園

9 事業対象者 長井市内幼稚園、保育園の園児

10 参加者募集方法

幼稚園(2団体)、保育園(3団体)、児童センター(5団体)へ直接訪問しご案内を行いました。

11 決算総額：¥59,760

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 10名 【実施】 6名

その他メンバー 【計画】 19名 【実施】 13名

◆外部

幼稚園児 【計画】 270名 【実施】 213名

先生 【計画】 20名 【実施】 25名

保護者 【計画】 20名 【実施】 31名

合 計 【計画】 339名 【実施】 288名

15 外部協力団体及び協力種別

〔共催〕長井市

〔協力〕長井花卉生産組合長井花卉生産組合、平野児童センター、豊田児童センター、致芳児童センター、西根児童センター、伊佐沢児童センター、めぐみ幼稚園、小桜幼稚園、白山保育園、白ゆり保育園、はなぞの保育園

16 実施プログラム

前日6日 夕方17時～18時

黒ビニールの穴あけと防草シート貼り作業

8：30～9：30

準備(穴あけの残り含む)・事前確認(委員会メンバーのみ)

9：30メンバー集合

10：00～

フラワーボランティア教室開始

10：00～10：40

Aグループ園児集合(4団体)

小桜幼稚園 園児40名 先生2名 保護者16名

担当 片倉千恵先生

白ゆり幼稚園 園児21名 先生2名 保護者0名

担当 鈴木亮子先生

はなぞの保育園 園児17名 先生4名 保護者0名

担当 竹田恵美子先生

致芳児童センター 児童12名 先生3名 保護者3名

担当 小松敦子先生

花の説明(委員会メンバーの斎藤君)、花植え、水遣り(ご案内内時では、空のペットボトルとなっていたが、花植えのサポート等に集中させて頂くため事前に水をくんで持参してもらうように幼稚園に再度お願いしとしました。)水遣りの際のペットボトル用のじょうろキャップは園児につけて頂きました。

記念撮影、ジュース配布

10:40 Aグループ解散

10:50~11:40

Bグループ園児集合(5団体)、同スケジュールで進行

長井めぐみ幼稚園 園児27名 先生2名 保護者5名
担当 諸本祥子先生
白山保育園 園児30名 先生2名 保護者0名
担当 鈴木良昭副園長先生
平野児童センター 園児21名 先生2名 保護者0名
担当 梅津紀子先生
西根児童センター 園児14名 先生3名 保護者0名
担当 佐藤京子先生
伊佐沢児童センター 園児5名 先生2名 保護者4名
担当 安部郁子先生

花の説明(委員会メンバーの斎藤君)、花植え、水遣り(ご案内時では、空のペットボトルとなっていたが、花植えのサポート等に集中させて頂くため事前に水をくんで持参してもらうように幼稚園に再度お願いしとしました。)水遣りの際のペットボトル用のじょうろキャップは園児につけて頂きました。

記念撮影、ジュース配布

11:40 Bグループ解散

11:40~11:55 後片付け

12:00 メンバー解散

8日参加団体 1団体 10:00~11:00

豊田児童センター 園児26名 先生3名 保護者3名
担当 橋本芳子先生

花の説明(委員会メンバーの斎藤君)、花植え、水遣り(ご案内時では、空のペットボトルとなっていたが、花植えのサポート等に集中させて頂くため事前に水をくんで持参してもらうように幼稚園に再度お願いしとしました。)水遣りの際のペットボトル用のじょうろキャップは園児につけて頂きました。

記念撮影、ジュース配布

後日、1週間~10日程度の期間で、委員会メンバーから御礼も含めて、額に入れた写真を参加団体に配布させて頂いた。

17 対外配付資料

資料名内容 1. 保育園向け依頼文 2. 保護者向け依頼文
3. アンケート(幼稚園用)
4. アンケート(保護者用)
5. 事業終了後に幼稚園・保育園・児童センター
にお届けした写真

18 人員配置・役割分担表

別紙資料: フラワーボランティア教室作業誘導見取り図

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証

フラワーボランティアアンケート集計

【幼稚園・保育園・児童センター用】

設問1 フラワーボランティアに参加して子供たちの様子はどうでしたか?

- ・慣れないながらもそれぞれ一生懸命取り組んでいたと思う
- ・楽しそうに植えていました。園でもさつまいもやじゃがいもを植えたのですが、また違った感じだったようです。翌日いただいたペットボトルの蛇口で水をあげていました。
- ・園外に出かける喜びもあり、楽しく参加させて頂きました。マリーゴールドなど植えた花の名前も覚えることができました。
- ・花の名前を覚えていただいたのを覚えたり落ち着いて作業していました。花植えのお手伝いをしたと満足な様子でした。

設問2 作業全体を通しての感想をお聞かせ下さい。

- ・他の園の年長さんの集まりということで、年長の自覚を促す上でも良かったと思う点が多くあり、働く喜びにつながったのではないかと思います。花植えを通して自然や命の大切さを学んでくれたら嬉しいです。
- ・青年会議所の方がたくさん参加し手厚くしていただけたので、とてもスムーズだったと思います。
- ・22名とはいえ、植える場所が多くて大変でした。もう少し植え方とかも教えていただくとよかったです。待ち時間もあり、スムーズに作業に入れるといいなと思います。
- ・スムーズに作業できるような配慮していただけてありがたいです。

設問3 フラワーボランティアに限らず、私たち青年会議所にどのような事を期待しますか?

- ・とても意義のあるボランティアだと思う。小中高生用の何か参

加できるボランティアがあるといいのではないかと。

- ・青年会議所の方はどういうもので、どのような事をしているのかわからないのももっともっとアピールしてほしい。若い力を発揮していただきたい。

- ・今でも十分、いろいろなことをして下さっていると思います。

設問4 フラワーボランティア等でのご要望についてお聞かせ下さい。

- ・労働のあとの頂いたジュースは子供達にとって、格別だったと思いますが250mlは幼児には少し量が多いように思えました。

- ・とても良い活動だと思います。続けてほしいです。

- ・予備日をもう少し増やしてほしい。1日でほぼ全施設は厳しいです。一般家庭対象でフラワーボランティアをしてもよいのではないのでしょうか。

【保護者向け】

設問1 子供達と一緒に花植えに参加した率直な感想をお聞かせください。

- ・家庭では中々出来ない事を子供と出来た事はとても良かった。また年長組が仲良くみんなで協力しながら参加しているのも見れてとても良かった。
- ・園での行事とまた違って、外に出るの行事ということで、また違った一面を見ることができて良かった。
- ・ペットボトルや軍手等を用意して参加したが、ほとんど子ども達を見守るくらいで終わり少し残念だった。親子で一緒に花植えをしたり水をやりたりできればよかった。休みをとって参加した親もいたので、かなり手持ち無沙汰で何のための出欠か疑問ももった。

- ・こういう機会が、なかなかないので参加できて良かった。

設問2 普段子供たちと一緒に土や植物など、自然にふれあう機会がありますか?

よくある 0人 ある 2人

あまりない 1人ほとんどない 1人

設問3 設問2で「よくある」「ある」を選んだ方にお聞きします。フラワーボランティア以外で親と子が自然にふれあえる事業に参加してみたいと思いますか? また具体的にアイデアがあればご記入ください。

- ・畑体験、田植え体験、あやめ公園でのイベント
- ・長井は自然が沢山あるので、いろいろなイベントがあればぜひ参加してみたいです。
- ・畑に野菜の苗を植え、子ども達と一緒に収穫を楽しむ。

設問4 設問2で「あまりない」「ほとんどない」を選んだ方にお聞きします。子供たちにとって今回のような経験はよかったですか? またそれはどのような所ですか?

- ・祖父母とは、畑で土を使い野菜を植えています。子供達も楽しくやっています。色々な物が、成長して行く事を実際自分たちの手で経験できた事は良かったです。
- ・良かったと思う。土を触ったり、植物を植えることで命の大切さを学べる点が良い。時々、水をあげたり、成長を観察したりしていきたい。

【まとめ】

返答いただいたアンケートから、子どもたちが一生懸命とりこんでいた、楽しく植えていたとの感想をいただいた。今回の事業で、子どもたちが自ら花を植え、水をあげ、育てることで、優しさ、思いやりのある心、命の大切さを理解する場の提供ができた。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・花を植える穴が多かった。目安として、園児の人数×3くらい。

(今回は4個だった。)

- ・花植えの方法を子どもたちに分かるように丁寧に教える必要があった。

- ・バスの到着時間に若干のずれがり、早くこられたところと、少し遅れたところの時間差で、待ち時間が長くなってしまった。

- ・園児にJ.Cメンバーの担当割がされていたが、保護者に対しての担当割がされてなく、保護者の方への説明、誘導が不十分だった。

- ・ペットボトルによっては、じょうろキャップが合わないことがあった。

- ・市役所にて花卉組合さんに花苗の手配して頂いたが、花苗が朝までに届かず、至急、市役所担当者より花卉組合さんに連絡して頂き急いで届けて頂いた。花苗到着まで、斎藤君のトークで時間をかせいだ。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

2 3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気付きを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

2 4 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

2 5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井市内幼稚園（2団体）、保育園（3団体）、児童センター（5団体）にご案内を出し、多くの子供たちが参加できる環境にあり公益性があると考えられる。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）

子供たちが自ら花苗を植えるプログラムになっており、内容が目的から逸脱しておらず、公益性があると考えられる。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

花苗の準備や花壇の下準備に長井市花卉生産組合が協力しており、公益性があると考えられる。

2 6 引継ぎ事項

・時間をつくって、準備を整えて参加頂く保護者の方に、趣旨をきちんと説明し、一緒に花植えや花苗の渡し方をしてもらおう声掛けや配慮が必要だった。

・花を植える穴の数は、園児の人数×3くらいを目安にする。（今回は4個）

・園児が持参したペットボトルの口が合わないのを想定し、空のペットボトルをメンバー1人1本程度準備しておく。

・待ち時間が少なくなるように、集合完了した園からその都度、あいさつ、説明出来るように体制をつくる等、待ち時間が短くなるよう工夫してはどうか。

・花苗の植え方を子どもたちに分かりやすく教えることが重要です。わからないことがあれば質問なども受け付けてはどうか。

・花苗がメンバー集合時間になっても届いていない場合は、市役所担当者のできれば携帯電話等にすぐに連絡を取るようにする。

・幼児に250mlのジュースは多いので購入の際に検討が必要。

・小・中・高校生が参加できることはないかを検討する。

・青年会議所とは、どのようなことをしている団体なのかをもっとアピールしてはどうか。

・防草シート（保管者/齋藤憲幸君）の効果が大きかったので、次年度も今年度程度の予算確保の検討をお願いしたい。"

2 8 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

今回のフラワーボランティア教室では、市役所、保育園、園児、保護者の方と沢山の方と関わらせて頂きました。まず、この機会を頂いたことに感謝申し上げます。メンバーの方には2日間に渡り沢山の方にご参加頂きありがとうございました。準備段階でも委員会メンバーや理事メンバー、フォロアメンバーに時間を作って頂き、本番前日まで防草シートの貼る作業や、花苗用の穴あけ作業をお願いしました。想像よりも大変な作業でしたが、協力のとも、本番まで無事終わり、当日は、天候にも恵まれて沢山の園児の笑顔が見れて、本当にやってよかったなと思いました。ただ、有給休暇や準備をしっかりして、参加頂いた保護者の方には、せっかく参加して頂いたのですが、こちらから積極的に作業に参加頂けるような配慮がなく、次回に反省点としてしっかりと引き継がなければならないなと思います。今後も求められる長井青年会議所として活動に参画して参りたいと思います。大変お世話様でございました。

担当理事：樋 口 和 哉

例年行っている公益事業のひとつであり、今年度も園児、児童、保護者、先生の皆様に花壇を美しく彩っていただきましたが、この事業の事業目的の一文に記載してある「思いやりの心」、「命の大切さ」を理解する場を提供する。と事業目的にあります。事業実施後に果たして何人の親子が草むしりや水遣りに訪れたのでしょうか。例年の事業を振り返ると実施日以降、何も管理をしない方々が大半なのではないでしょうか。言い方は悪いですが実施日だけではただの花植えにしかならないと思いますし、実施後のその先の花壇の定期的な管理をしてこそ子どもたちに「思いや

りの心」「命の大切さ」を育むことが出来ると思いますので、先生方や保護者の方にもっと伝えていかなければならない部分だと思っています。私たちからも、もっと積極的に花壇の管理の声掛けも必要であったなと思いました。平日のお忙しい中、参加していただきましたメンバーの皆様ありがとうございました。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

4月にSNSセミナー 5月にJ C杯 7月メイン事業（延期になりましたが）と事業の続く中の準備と開催となります。準備の面では、もっとつめられる事、落ち着いて考える時間が必要だったと思います。3月中には、J C杯とフラワーボランティアを同時にしないとイケませんが早めに動くことが重要であると思います。

当日は、参加された園児や保護者の方々には喜んで頂きました。同時に、花植えする幼稚園が重なるとメンバーを割り振らなくてはいけないので、平日開催ではありますが、メンバーの参加者が少ないと事業を実施するのは困難となります。

例年の事になりますが、花植えしたあとの管理です。園児と保護者の関わり方です。なんとか、10月まで関わるような手法が必要だと思います。雑草の問題では防草シートの脇から雑草は生えますので、定期的に草むしりは必要です。しかしながら昨年より、雑草の心配が軽減されています。

アンケートを見ますと、参加して良かった、家庭でも花に興味を持てるようになったなどあげられます。反省点としては、毎年上げられています。雑草の問題です。今年から防草シートを試みました。

参加頂いたメンバー、子供達、保護者も方々、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

納涼パーティー

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

J C活動の多くの素晴らしさを知る数多くの先輩方と懇親を深める1年に2度の貴重な親睦の場です。J Cの皆様との対話の中から、先輩方の経験や知識をお聞きし、J Cの魅力や楽しさを改めて認識することが今後のまちづくりに大いに活かすことができると考えます。また先輩方の人脈による会員拡大にもつながるよう取り組みます。

4 事業目的

メンバー・先輩方の交流、親睦を深め、一体感を育むことを目的とします。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーに対して、アンケートを実施し検証としました。

6 事業概要

J C活動の多くの素晴らしさを知る先輩方と懇親を深めることで、J Cの魅力や楽しさを改めて認識し、今後のまちづくりの活力となるふれあいの機会としました。また、参加者全員が楽しめるアトラクションとしてパターゴルフ大会を行いました。

7 実施日時：8月23日(木) 午後7時～9時

8 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

9 事業対象者 メンバー及び長井J C O B

10 参加者募集方法 封書、郵便はがき及びメール

11 決算総額：0円

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】11名 【実施】8名

その他メンバー 【計画】18名 【実施】14名

◆外部

長井 JCOB 【計画】 20名 【実施】 16名
合 計 【計画】 49名 【実施】 38名

16 実施プログラム

(予定) (実施時刻)
19時00分 19時00分：開会
19時02分 19時02分：理事長挨拶 吉田理事長
19時07分 19時07分：長井JC OB代表挨拶 飯田先輩
19時10分 19時10分：次年度役員紹介 次年度専務理事
候補者 井上典嗣君
19時15分 19時25分：乾杯 横山直前理事長
19時30分 19時40分：新入会員紹介 板垣専務理事
19時45分 20時00分：アトラクション
ひとづくり委員会(委員会メンバー全員)
20時45分 20時50分：若い我ら 小関委員長
20時55分 20時55分：中締め 長谷部先輩
21時00分 21時00分：閉会

17 対外配付資料 資料名内容

1 2 3

18 人員配置・役割分担表

総括 小関
カメラ 渡部(清)・小関
受付 樋口・椎名・由紀美
総合司会 斎藤
次年度役員候補者紹介 井上次年度専務
新入会員紹介 板垣専務
アトラクション司会 渡部(清)・樋口
アトラクション担当 ひとづくり委員会メンバー全員

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証 アンケート回答者 8名

1-1. OBの方との懇親は深めることができましたか？
懇親を深めることができた 7名 87.5%
どちらともいえない 1名 12.5%
1-2. 「納涼パーティー」は楽しかったですか？
楽しかった 8名 100%
1-3. 会場の設営・雰囲気はいかがでしたか？
よかった 8名 100%
1-4. 料理はいかがでしたか？
よかった 5名 62.5%
どちらともいえない(普通) 3名 37.5%
1-5. アトラクションはいかがでしたか？
よかった 8名 100%
2. OBの先輩方から頂戴したアドバイスやご意見をお書きください。
・現役メンバーの人数が少ない。会員拡大をしているか？
・体調に気をつけて頑張れ！
・ゴルフに参加しなさい。
・パターゴルフ良かった。
・次年度と今年度もどちらもあるけど頑張ってほしい。
・ほとんど世間話であった。
3. 来年の納涼パーティーにご意見・ご要望等があれば、お書きください。
・楽しいアトラクションで盛り上がって良かった。
・来年は現役メンバー全員でお迎えしましょう。
・パターゴルフが盛り上がり良かった。来年も楽しいアトラクションを楽しみにしています。
・OBが少なかった。昨年の参加者へ案内状を手持ちするなど検討が必要。
・パターゴルフを継続してはどうか。
・外でやってはどうか。
・景品が重そうだったので、配慮が必要であった。
・はじめる前に、納涼パーティーの目的や、アンケートの件について説明してもいいかなと思う。
・お招きする側が駐車場のいいところに駐車するのは、どうかなと思う。
以上の内容を見ますと、とても有意義な時間を共有させ頂くことができました。メンバー・先輩方の交流や親睦をより深め、一体感を育むことができ、目的を達成できたと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】

お招きする側が駐車場の近い場所に駐車してしまったため、少

しても招待者の事を考えると現役JCメンバーは、遠い駐車場に駐車して頂く配慮が必要であった。

アトラクションの景品が重かったため、現役メンバーが次の日に届けるなどの配慮が必要だった。

OBの方で、納涼パーティー前のゴルフコンペに参加される方の出欠を忘れず確認する必要があった。ギリギリで確認となり、確認しなければ漏れていた可能性があります。

【予算面】 特にごありませんでした。

【その他】 特にごありませんでした。

22 引継ぎ事項

・駐車場の止める場所をメンバーがなるべく遠くの場所に止める配慮が必要であった。
・始める前に、納涼パーティーの目的や、あとでアンケートを取ると言うことを説明してはどうかという意見がありました。
・アトラクションの景品が、持って帰るには、重いものだったので、現役メンバーが次の日に届けるなどの配慮が必要だったと思います。
・若い我らを、委員長の小関が担当しましたが、練習が直前となり、練習不足で勢いがなく、OBの方には、少し不安に感じの方と思います。

24 各担当者所見

委員長：小関 幸一

まず、メンバーに沢山の方がご参加頂けたことがうれしく思いました。ありがとうございます。そして、OB会の事務局佐藤OBには、打合せやOB会の方との連絡で、多大なご協力頂き誠にありがとうございます。OBの方には、現役メンバーのために、わざわざ足を運んで頂き、ありがとうございます。このような機会が年に2回ありますが、その中でも、納涼パーティーは、よりOBと現役メンバーが交流を深める絶好の機会であります。このような機会にアトラクションを通して、一つのチームとして協力しながらゲームを楽しませていただいたり、お酒を酌み交わさせていただいたりすることの大切さを再認識することができました。納涼パーティー開催の意義を深く考え、感じることができました。例年恒例ではありますが、今回は、さらに内容を更に工夫しながら、楽しく交流できる場を設けたいと思います。ありがとうございます。

担当理事：樋口 和哉

当日の出席数はOBがやや少ない状況でしたので、担当委員会としてもっと声掛けが必要でした。内容的にはアトラクションの部分で大いに盛り上がる事ができ、皆さん楽しんでいたのが印象的でした。お忙しいところ出席いただきましたOBの皆様、メンバーの皆様に感謝申し上げます。

担当副理事長：遠藤 浩樹

当日は、OBが少なかったように思われます。案内状を手持ちするなど。近いOBや昨年参加されに方に案内状をお持ちするなど、検討していただければと思います。

アトラクションでは、参加された方々に良かったと言われたので、成功ではないかと思えます。これを気にゴルフへの参加意欲が湧いていただければと思います。

私の役割としてOB会の佐藤正幸先輩と話を進めてきました。大筋では昨年どおりで少し改良を加えていただきたいと、昨年の反省点として現役メンバーの参加が少ないことがあげられていました。委員会で声がけをして解消されたと思います。

来年度は今年度の良い点、悪い点が上げられますので、OBと意見交流する貴重な場ですので、さらに誰でも参加したくなる納涼パーティを作り上げて行っていただきたいです。

挑戦！発見！！感動！！葉山探険隊

1 事業の区分：公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

現代社会において、インターネット、SNSといったツールは日々私たちの生活を便利にし、必要不可欠になりつつあります。このような急速に変化していく社会環境の中、今も昔も子どもは

「親の背中」を見て成長し、子どもの成長に親子関係はとても大きな影響を与えます。しかし、小学校高学年から中学生にかけての成長期には、親に対する意識の変化や、周囲からの自分の見られ方も敏感に感じる時期となり、将来、親から離れ、自立していく黎明期ともいえます。子どもは学校・地域・家庭といった様々な環境の中で、新しい友達や地域の大人との交流の中から、多くのことを学び、大きく成長していきます。そして近い将来、子どもたちは夢や希望に向けて、自ら考え行動、決断しなければならぬ時期が必ずくるはずですから、少年から青年へと成長していくこの時期に、同じ世代の仲間や地域の大人と共に、様々な発見と感動を心と体で体感し、社会や周りの環境が変わっても、様々な状況の中、新たな物事や困難に立ち向かい、人生を切り開いていく「生きる力」を育む必要であると考えます。

4 事業目的

子どもたちの「挑戦する心」「発見する心」「感動する心」を見だし、「生きる力」を育成する。

5 事業の検証方法とその手段

下山後、参加者より今回の事業に参加して「挑戦・発見・感動したこと、感想」等をアンケートに記入して頂き、分析し検証しました。

6 事業概要

葉山の山頂到達を目標に、参加者同士で励ましあいながら、チャレンジ精神を胸に、葉山の山頂を目指しました。参加者をグループに分け、できるだけ学年や学校がバラバラになるような編成とし、登山という普段とは異なる環境の中で集団行動を行い、その過程の中から新しい出会い、気づきを得られるような内容としました。J Cメンバーはサポートとしてそれぞれのグループに付き添い、子どもたちと共に頂上を目指しました。子どもたちにとっては、普段あまり接点がない他の学校や、異なる学年の生徒、地域の大人と交流を図り、将来、親から離れ自立していくための一助としました。

まちなかに暮らしている普段ではなかなか気がつかない、豊かな自然の持つ様々な表情に触れることで、自然への気づきや、新たな発見から、子どもたちの感受性を少しずつ高めていきました。登山の際に持参するガイドブックの中には、葉山の見所や、自然の中で見つけられる物のチェック項目を設け、周りの自然環境に関心を持ちながら登山を行い、一緒に登る仲間と同じ話題を持つ事で仲間との交流を深めるきっかけとなりました。山頂の葉山神社に到着後は、各班ごとにいも煮を作り昼食とし、その際、マッチやライターを使用しない火起こしを体験し、日常の便利な生活ではなかなか気がつかない火のありがたさを感じる体験をしました。また一緒に登頂を達成した仲間と共に、非日常的な場所でもいも煮を頂くことで、新たな気づきや絆をより一層深める事ができたと思います。

また今回の登山のルートで見ることができた、おけさ堀や昭和堰は、麓の水田により多くの水を引き、人々の暮らしをより豊かにするために、行った大掛かりな土木工事でした。機械の無い時代に先人たちが成し遂げた偉業を子供たちに伝え、困難のなかでもやり遂げる信念、ふるさとを豊かにしたいという情熱を感じる機会となりました。

昼食後、登頂の記念として参加者全員がひとつになって記念写真を撮り、安全第一で、けがに注意しながらグループでまとまりながら下山をしました。下山後、参加者より今回の事業に参加して「挑戦・発見・感動したこと、感想」等をアンケートに記入して頂きました。閉会式では、グループの代表の方に感想を述べてもらい解散としました。

7 実施日時：10月6日(土) 午前5時30分～午後5時00分

8 実施場所・会場：長井葉山(上り)／おけさ堀～昭和堰ルート～山頂、下り／山頂～おけさ堀ルート
集合・解散 古代の丘資料館付近

9 事業対象者

長井・西置賜管内を中心とした小学4年生～中学3年生

10 参加者募集方法

ホームページ、facebookで告知した。

各小・中学校に事業の案内文を作成し、印刷したチラシを小学4年生以上に配布して頂くようお願いを行った。

青年団体連絡協議会にご案内を出し、告知して頂いた。

11 決算総額：¥203,070

12 特別の利害関係を有する理事 井上典嗣、小関幸一
以上2名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事10名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事2名=8名

議決の成立する理事数=8名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】11名 【実施】4名
その他メンバー 【計画】18名 【実施】11名

◆外部

小学生(3年生)4年生～中学3年生
【計画】20名 【実施】9名
葉っぱ塾 【計画】3名 【実施】3名
保護者・一般参加者 【計画】10名 【実施】14名
合計 【計画】62名 【実施】41名

15 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕葉っぱ塾

16 実施プログラム

集合場所 受付：古代の丘資料館前駐車場
(駐車場は縄文そばの館東側臨時駐車場)

開会式 土偶広場前駐車場付近

4:45 委員会メンバー集合(古代の丘資料館前)

5:00 メンバー集合(古代の丘資料館前)

5:30 一般参加者集合

受付開始(長井J Cのテーブル2台持参)

受付担当：まちづくり委員会

5:45 開会式

開会のあいさつ(遠藤副理事長)

理事長挨拶(吉田理事長)

趣旨説明(小関委員長)

葉っぱ塾の3名の紹介

葉っぱ塾八木さんより注意点

1班(赤色リボン) 葉っぱ塾ガイド 八木文明さん

参加者7名、長井J C 3名

2班(水色リボン) 葉っぱ塾ガイド 鈴木辰郎さん

参加者9名、長井J C 2名

3班(黄色リボン) 葉っぱ塾ガイド 小松賢一さん

参加者7名、長井J C 3名

先発隊いも煮を作り、到着後に振舞う長井J C 5名

班編成・役割分担

【往路(上り)】所要時間 約5時間35分

班毎に3班編成で移動。ペース配分等を考慮して班ごとに順番を変動させながら登りました。

6:10 古代の丘資料館を班毎に出発

6:50 大石大明神発(410m)

8:32 おけさ堀発(790m)

9:52 追分(勸進代分岐)発(1050m)

10:40 昭和堰「食堂」発(1100m) トイレ休憩有

11:50 奥の院着、祝瓶山をバック記念撮影

12:10 御田代湿原到着

12:25 葉山山荘着、葉山神社(1230m)

いも煮・昼食

縄文時代の火起こしの道具を使用しての火起こし体験を行いました。

葉山神社前にて全員で記念撮影

【復路(下り)】所要時間 約時間分

おけさ堀ルート 班毎(3班)※登りと一緒の班

13:30 葉山山荘・葉山神社発(1230m)

14:04 昭和堰入り口発(1100m)

14:30 勸進代分岐(1050m)

15:10 おけさ堀発(790m)

16:12 大石大明神着(410m)

16:40 古代の丘到着 アンケート記入・トイレ休憩

16:45 ストレッチ体操

閉会式 古代の丘資料館前駐車場

16:50 閉会式(司会 椎名副委員長)

各班の代表者に感想を発表(3名)

理事長挨拶
葉っぱ塾八木さんへ謝辞（遠藤副理事長）
全員で謝辞（小関委員長）
閉会式の挨拶（樋口担当理事）

17:00 解散
1週間～10日後

参加者全員に御礼に伺い、記念写真と写真のデータが入ったCD-ROMを届けました。

17 対外配付資料 資料名内容

1 学校向け依頼文、2 チラシ3 アンケート、4 ガイドブック、5 緊急連絡先プリント、6 葉山地形図、7 参加者の皆様へ、8 集合写真・CD-R（写真データ）

18 人員配置・役割分担表

以下のメンバー表の通りの班分けでメンバー役割分担を行いました。

メンバー役割分担

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証

まず、アンケートの回答率ですが、23人参加のうち18名よりアンケートの回答を頂きました。回答率は78%です。

次に設問に対する回答です。

今回の参加者の年代別の割合です。

10代未満が1名で5%、10代が6名で34%、20代が4名で23%、30代が3名で16%、40代が1名で5%、50代が1名で5%、無回答が2名でした。今回の対象者の参加者の割合は39%。

①この葉山探検隊を何で知りましたか？について、知人・友人から誘われてが8名で46%、学校から配られたチラシが4名で23%、facebookが2名で12%、その他で長井JCメンバー、スポ少、チラシ、葉っぱ塾ブログなどで2名で12%、長井青年会議所HPが1名で5%となりました。

②長井葉山に登ったことがありますか？について、今回が初めてが15名で83%、既に4回あるが2名で12%、既に1回が1名で5%となりました。

③葉山探検隊に参加しようと思った理由に関しては、長井JCメンバーや知人・友人に誘われてが多くいらっしゃいました。また、次いで多いのは、葉山に登ったことがなかったから登りたかったということでした。また、その他に自然が好きや山の空気吸いたい、体力をつけたい、幻の道 昭和堰に行くに魅かれてなどの回答を頂きました。

④葉山探検隊でどんな発見があったかについて、思ったより体力的に大変でつらかったが、自然のすばらしさ、長井の誇れる場所、先人の知恵とすごい力、自分の体力や子どもの元気、植物や森・山の美しさ、登山の楽しさなどの回答を頂きました。無回答が4名で23%でした。

⑤今後も長井葉山に登りたいかについて、ぜひ登りたいが11名で60%、どちらでもないが4名で23%、登りたくないが3名で17%となりました。

⑥登りたいと⑤で答えた方の理由として、登るのは大変だったが登ったあとの景色のよさや、達成感が楽しく面白かったとの多数の回答を頂きました。登りたくないと答えた方の理由として、体力的にハードであったとの回答でした。

⑦の参加してつらかったことや苦しかったことは何か、また乗り越えることができたかについて、体力面がつかなく、苦しいが多数の回答を頂き、ほぼ全ての方でつらさや苦しさを乗り越えることができたとの回答を頂きました。

⑧今回参加しての感想については、多かった回答として、友達と協力して登れて楽しかったまたはうれしかった、達成感があった、自然の美しさやすごさ楽しさ、いも煮がおいしかった、こういった事業を継続して行って頂きたいなどの回答を頂きました。

最後に、アンケートの結果を見させて頂くと、小学生の対象者がに関しては、初めて長井葉山に登った方がほとんどでありました。自然のすごさや力強さ、動植物の魅力、先人の知恵や力を肌身で感じ、発見することができたと感じます。また、体力的にハードであったなかにも達成感や友人と協力して登り、互いに助け合い励ましあって挑戦する心を常に持つことができました。また、友達と登ったことで、楽しい時間を友達と共有できうれしかったことや、普段感じることでできない体験への感動の心の声が多くありました。それぞれつらかったこと、苦しかったことを全ての生徒が乗り越えることが出来ました。また参加したいかの問いに対して、参加したい生徒がほぼ全員でありました。よって子どもたちの「挑戦する心」「発見する心」「感動する心」を

見だし、「生きる力」を育成することができたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・閉会式での参加者の整列など、JCメンバーが仕切らなければならない部分でメンバーの動きが悪かった。
- ・昭和堰ルートの部分の下見をしなかったため、時間の読みが甘く、予定より大幅に遅れてしまった。
- ・チェックリストがあまり活用できていなかった。
- ・葉っぱ塾さんとの打合せが不十分（途中で班の順番を変える、登る前後での運動など、委員会で把握していたか）
- ・スタッフ用の名札を参加者に渡してしまった。
- ・子供（事業対象者）の参加が少なかった。
- ・先発隊の荷物の量が多く人手が1～2は必要だった。
- ・いも煮の量をもう少し多くしても、食べれたかなという声があった
- ・学校からの申込が少なかったため、学校に出向いてPRの時間を撮って頂くようにすれば良かった。

【予算面】

- ・チラシ、ポスター等を見ての参加者は少なく、広報費の費用対効果が悪かった。

【その他】

- ・当初の予定だと、参加者がいも煮を作る予定だったが、別働隊が製作することに変更した。
- ・心のまちづくり基金でも、事業費において広報費の閉める割合が多いとの指摘を受け、結果的に不採択になってしまった。
- ・シラカブから予定より余った。
- ・葉山に対しての勉強不足で葉っぱ塾さんに任せきりになったしまった。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気づきを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井・西置賜管内に周知させることで、多くの親と子供たちが参加できる環境にあり公益性があると考えられる。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）

子供たちが自らチャレンジ精神をもって取り組むプログラムになっており、内容が目的から逸脱しておらず、公益性があると考えられる。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

登山のコース選定や登山方法については、プロのガイドである葉っぱ塾の八木さんが協力しており、公益性があると考えられる。

26 引継ぎ事項

- ・参加記念費に関しては、慎重に数量と商品を選らぶ必要がある。発注のタイミングなども考慮する必要がある。
- ・メンバーに参加費をお願いするような努力が必要だった。
- ・集客面で費用をかければ良いということではなく、ピンポイントでPRし一人ひとりの声掛けが大切である事業であった。特に登山に関しては他団体も新規で集めるのは難儀しているようである。
- ・葉っぱ塾さんをお願いすることと、長井青年会議所ですることの役割分担を詰めて話す必要があった。葉っぱ塾さんと一緒に現地調査する必要があった。金額面でも割安にして頂いた。現地調査も含むと金額が1万円程度アップするようであった。
- ・先発隊の負担が大きく、大量の食材を運搬するにはあと2名程度必要であった。
- ・もっと小学校等を回り、PRの時間を作って頂くようお願いする費用があった。

- ・ルートは事前に間際の調査が必要であった。
- ・少し日が短くなり、気温も下がる季節なので遅くても9月までの開催がベストだと思います。
- ・今回の広報の方法に関して、広報費をかけて周知すれば、集客が容易ということではなくピンポイントで、登山の経験者や、知人・友人などに声掛けしチラシを配布することが、とても効果的であった。また、学校に印刷して配布をお願いする際は、直接、学校に何って説明し、配布のお願いすれば、更に協力的に配布・周知して頂けるようであった。"

28 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

今回、このような事業を実施させて頂いたことに、理事役員メンバーはじめ、フォロアメンバーの皆様、ご協力頂いた岳人長井さん、葉っぱ塾さん、参加者の方、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。昨年の予定者段階より、約1年間に渡り事業に携わらせて頂きました。この一年は、何度も悩んで、悩んで、途中、正直、事が思うように進まず心が折れそうになる時が多々ありました。しかし、理事長、専務理事、理事メンバーの皆様より、当委員会のために時間を使って、心あたいたかい叱咤激励を何度も頂きました。非常にありがたく思います。担当して頂いた遠藤副理事長、樋口担当理事には、私以上に考えて頂いて一緒に活動して頂きました。このことを忘れずに、今後も様々な活動に励んで参ります。参加頂いた子ども達のアンケートを見せて頂いて率直に「やって良かった」と思いました。私たちが思っている以上に子どもたちは、自ら楽しんで学習し、普段感じることのできない長井山での三つの心をちゃんと習得してくれたと思っています。子どもたちが近い将来、自ら夢や希望に向けて、考え行動し決断しなければならぬ時期に、今回の事業を糧に人生を切り開いて頂ければ幸いです。皆様、長い間、本当にありがとうございました。

担当理事：樋 口 和 哉

当委員会担当のメイン事業ということで予定者段階から非常に悩みましたが、無事に開催出来ましたこと小関委員長を筆頭に委員会をはじめ全メンバーの皆様にご多大なるご協力を賜わり誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。私自身、当日は先発隊として登り、参加された子どもたちとは共にすることが出来ませんでした。自分も小学生時代を思い出しながら登山させていただきました。葉山の自然を通じて子どもたちの三つの心が育むことが出来たのであれば担当委員会として非常に嬉しく思いますし、子どもたちの今後の人生の糧にさせていただきたいと思えます。当初の開催予定から変更しての実施となりましたが、事故、ケガもなく無事に終えられて本当に良かったと思えます。ありがとうございました。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

葉山登山を通して、「挑戦する心」「発見する心」「感動する心」を育成する機会をつくり、生きる力を育むために考えておりました。当初、7月に予定していましたが、参加者が集まらず10月に延期の開催となりました。結果としては、岳人長井さんから、葉っぱ塾さんに監修、当日の案内などをお願いしております。本当に頼んで良かったと思えます。

当日の参加者については、募集に苦戦しましたが、メンバーの皆様よりご協力を得て沢山の参加者に来て頂きました。本当によかったと思います。登山を楽しみながら、五感で自然を感じる事ができ、普段まちなかに暮らしていると普段ではなかなか気がつかない、豊かな自然の持つ様々な表情に触れることで、自然への気づきや、新たな発見から、子どもたちの感受性を少しずつ高まったものだと思います。山頂に到達後は山形の秋の風物詩「いも煮」を味わいます。最後の奥の院に通じる道の苦労もあり、更に美味しく感じたと思えます。

参加頂いたメンバー、子供達、保護者も方々、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第21回J C杯中学野球大会1年生の部

1 事業の区分：公2、青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

私たち長井青年会議所では地域の青少年が野球というスポーツを通して礼節を学び、豊かな人間性を養うことによる青少年の健全な育成を目的として事業を行ってまいりました。

長井J C杯中学野球大会は20年間長期継続している事業であり、多くの青少年に学びの機会を与えてまいりました。今後も引き続き青少年の健全育成のために、この事業を継続していく事が重要と考えます。秋に行われます1年生大会。新人戦では主に2年生が主体となって活躍しております。1年生にも実践の経験を積んで欲しいと思えます。

4 事業目的

子供たちが野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を自ら考える機会を提供することを目的とします。

5 事業の検証方法とその手段

アンケートを各中学校へ配り、目標、課題作りに活かされたか、この事業で何を体感したかを確認することで検証とする。また、今後も継続事業として、今年度のアンケート結果を含め検証にしました。

6 事業概要

例年実践経験の少ない一年生が主体となりトーナメント戦による公式戦を行なっておりますが、年々一年生だけで実戦に臨める中学校が少なくなり、今年度に関しては半数の学校が一年生だけでチーム編成が出来ないという状況を考えて、一年生だけで編成出来る学校のリーグ戦と二年生を含めた学校のリーグ戦をそれぞれ2会場で行いました。今年度もそれぞれの会場で実戦での緊張感を感じてもらい、目標、課題を見つけると共にチームワークの必要性を考えてもらう機会としました。

7 実施日時：10月7日(日) 午前9時30分～午後4時30分

8 実施場所・会場：飯豊町民球場、白鷹町菅野球場

9 事業対象者

西置賜管内の野球部に所属する中学生

10 参加者募集方法

西置賜管内のすべての中学校6校に案内を送付しました。

11 決算総額：¥20,470

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	10名	【実施】	3名
その他メンバー	【計画】	19名	【実施】	5名

◆外部

中学生	【計画】	120名	【実施】	94名
監督及び関係者	【計画】	12名	【実施】	11名
審判員	【計画】	5名	【実施】	4名
合 計	【計画】	166名	【実施】	117名

15 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕長井青年会議所、長井市野球連盟
〔主管〕西置賜地区中学校体育連盟野球専門部
〔協力〕西置賜地区中体連

16 実施プログラム

7：30	委員会メンバー集合
7：50	メンバー集合
8：00	監督会議
9：30	各リーグ第一試合開始 (会場変更のため遅れて開始)
11：20	第二試合開始
11：47～	Aブロック
11：20～	Bブロック
13：00	第三試合開始
14：00～	Aブロック
13：00～	Bブロック
14：20	表彰式
15：20～	Aブロック
14：20～	Bブロック

Aブロックリーグ
飯豊町営球場

試合校	飯豊	長井南	白鷹東
飯豊		●1-7 第一試合	○8-7 第三試合
長井南	○7-1 第一試合		○6-5 第二試合
白鷹東	●7-8 第三試合	●5-6 第二試合	

Bブロックリーグ
白鷹町民球場

試合校	長井北	白鷹西	小国
長井北		○5-4 第一試合	●0-1 第二試合
白鷹西	●4-5 第一試合		●0-4 第三試合
小国	○1-0 第二試合	○4-0 第三試合	

Aブロックリーグ 飯豊町営球場

第1試合	9:30~11:30	第2試合	11:47~13:35																
試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計	試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
長井南	0	0	2	0	0	0	5		7	白鷹東	1	0	3	1	0	0	0		5
飯豊	0	0	0	1	0	0	0		1	長井南	1	0	0	1	0	2	2x		6

第3試合 14:00~

試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計	1位	2位
白鷹東									7	長井南中学校	飯豊中学校
飯豊									8		

※記録に不備があり、途中経過分かっておりません。

Bブロックリーグ 白鷹町民球場

第1試合	9:30~11:00	第2試合	11:20~12:30																
試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計	試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計
白鷹西	0	0	3	1	0				4	長井北	0	0	0	0	0				0
長井北	0	2	0	0	3				5	小国	1	0	0	0	x				1

第3試合 13:00~

試合校	1	2	3	4	5	6	7	8	合計	1位	2位
白鷹西	0	0	0	0	0				0	小国中学校	長井北中学校
小国	0	2	2	0	x				4		

16:00 決勝戦終了あと片付け後、移動

例会セレモニー

場所 飯豊町営球場 グランド脇にて

理事長挨拶

担当副理事長挨拶

報告事項

閉会

17 対外配付資料 資料名内容

1 学校向けご案内、2 実施要項、3 参加申込書、4 パンフレット、5 アンケート（生徒用・学校用）

18 人員配置・役割分担表

Aブロック 【飯豊町民球場】

審判員2名 吉田・大竹・小関

Bブロック 【白鷹町営野球場】

審判員2名 横山敬生・鈴木喜典・樋口和哉
椎名恭一・佐藤真光

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証

Q1 今大会で思った事、感じた事を自由に書いてください。の設問では、楽しかった、良かったという内容のものが、17% 課

題や問題が見つかったという内容のものが、83%という結果でした。

Q2 今大会を通じて次の課題目標を見つける事ができましたか？

の設問では、課題が見つかったと答えた生徒が84人で100%でした。多かったのが、バッティング面、声掛け、守備面でした。

設問1と2のアンケート結果から、多くの生徒が自分に足りない部分やこれからの課題、チームとしての課題に気づけたと言えます。設問1で声掛けが足りなかった等、チームワークに繋がる部分の課題を見つけたと答えた生徒も多く。良かった点を挙げた生徒でもチームワークがよかったと答えた生徒も多くおりました。以上のアンケート結果から事業目的である、子供たちが野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を自ら考える機会を提供することを達成したと言えると思います。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

・北中学校のグラウンドが水はけが極端に悪く少量の雨でもグラウンドの状態が試合に適さないため、次回以降試合会場の選定対象から北中学校は除いた方が良いと思います。

・閉会式のシナリオの準備が不足していたためスムーズな進行ができなかった。

【予算面】

・5月の大会が1日開催になりましたので、5月の大会で使用出来なかった試合球、石灰、ロウジンバック等を有効に活用させていただきましので、予算を抑えることができましたと思います。

【その他】 特になし

2.2 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

1.5. 競技会

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

① 当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

西置賜管内の中学校へ広く周知させることで、多くの中学生たちが参加できる環境にあり公益性があると考えられる。

② 公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。（例：親睦会のような活動にとどまっていらないか）

試合では主審に公式審判員を起用し、競技会として成立しており、公益性が認められると考えられる。

③ 出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

出場者の選定については、対象地域の野球部のある中学校にはすべて案内を送付。

また競技規則等の大会要綱を事前に送付するので、公益性が認められると考えられる。

2.6 引継ぎ事項

・北中学校のグラウンドが水はけが極端に悪いため次回、会場選定時には注意が必要。

・雨天時、連絡先ごとに担当の委員会メンバーを決めて先生に連絡をする。

・アンケート用紙を送ってもらえない学校には、催促を何度もする必要があるので注意しておくこと。

・決勝戦の時間は、各球場の勝利中学校の監督さんを変えて決めたほうがスムーズな進行が出来る。

・J.Cメンバーの人数が少ないと運営に支障が出るので、人数確保をしておく。

・中学校の先生より賞状を2位まで出せない要望があった。

・一年生の部という名称になっているが、Aブロックは1年生の部、Bブロックは1年生以外の生徒も参加していたのでオープン部の部という形式で次回分けてはと中学校の先生より提案があった。

・例年優勝校のみの賞状しか授与していませんが、準優勝校にも賞状の要望がありましたので検討してください。

28 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

今回、一年生大会ということで一年生にとっては、中学校に入ってから公式な試合ということで活気に満ちておりました。中学二年、三年生がサポート役となり、声の張った大きな応援や、設営に関してもテキパキした行動、一年生が試合をする絶好の機会を周りから先輩生徒、監督、保護者、審判員の方に与えて頂きました。このような大会が継続的に、年に二回J C杯という名前で開催されるのは、とても素晴らしいことだと思います。生徒は、一日の経験ですが、これから一年生が三年生に上がるまでの練習や勉強、様々な学校生活などで、この大会が大きな励みになると思います。試合は、天候にも恵まれ、生徒たちはプレーしやすかったと思います。見ていても、とても気持ちの充実した一日でありました。この度、関わって頂いて全ての方に感謝申し上げます。大変有難うございました。

担当理事：樋 口 和 哉

当初の予定では、11月開催で計画を立てておりましたが、その時期に開催される各学校の行事等の把握不足で11月開催が厳しい状況となり、慌てて例年の10月に開催という経緯に至り担当された先生との事前の連絡調整を怠ってしまい、担当委員会として全くの段取不足でした。開催内容としては、今年度も一年生だけでチーム編成が出来ない学校がいたため内容を変えてのリーグ戦を行いました。当日は前日の雨の影響で北中会場は試合開始まで大幅な時間を費やしたということで、急遽会場を変更しての開催とさせていただきます。前々からのことですが今後の大会を考えますと少子化に伴い一年生だけでチーム編成が難しい現状ですので、実施内容を今一度考えるのが必要かもしれません。メイン事業後の翌日の開催ということでお疲れのところ参加協力いただきましたメンバーの皆様、大変ありがとうございます。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

1年生大会に試験のため参加が出来ず大変申し訳なく思っております。

前日は、葉山探検隊があり、疲労が蓄積した中で1年生大会ではありました。しかし、参加された中学生ははつらつとしたプレーであったとお聞きしています。また、この大会を楽しみにしている中学生、親御さんなどいらっしゃいますので、来年度も続けていきたいと思っております。

参加頂いたメンバー、生徒、監督、保護者、審判の方、皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました

広 報 活 動

1 事業の区分：他2. 広報事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

インターネットの普及により情報収集・発信が容易になりましたが、まだまだ子どもやお年寄りの方への情報伝達のツールとしては情報が届かない部分があり、紙媒体での新聞折り込みの広報紙とすることで、より多くの皆様へ情報を発信することができる。

4 事業目的

長井青年会議所はどのような活動をしているのかを地域の皆さんに理解して頂くことで、よりよい「まちづくり」の実現を目指す。また、J C運動の魅力幅広く発信し、地域との連携を深める。

5 事業の検証方法とその手段

市内、児童センター・保育園・幼稚園、小学校、中学校にお伺いし拜見して頂き、ご意見・ご感想等をもって検証としました。

6 事業概要

広報誌「あゆみ」を発行し、長井青年会議所活動への地域の皆さんの理解を深め、共感を得ることができるような内容に編集しました。また、J C運動の目的や事業内容を分かりやすく、見やすく紙面を作成し、情報発信を行いました。

7 実施日時：12月21日(金) 朝刊新聞折込

8 実施場所・会場：西置賜管内全紙(朝日新聞は一部エリア) 18,500枚+配布用200枚+(印刷予備50枚)

9 事業対象者

西置賜管内にお住まいの方。
折込枚数の明細書

10 参加者募集方法 特になし

11 決算総額：¥200,000

12 特別の利害関係を有する理事 小関幸一 以上1名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事10名(総理事)-特別の利害関係を有する理事1名=9名

決議の成立する理事数=9名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

内部

担当委員会	【計画】10名	【実施】10名
その他メンバー	【計画】19名	【実施】19名
合計	【計画】29名	【実施】29名

16 実施プログラム

10月19日：初校確認(レイアウト案作成)
10月20日：委員会にて検討
10月23日：再校確認
10月25日：常任理事会
10月26日：原稿依頼(理事長、各事業担当委員長)
10月30日：三校確認
11月1日：理事会議
11月6日：四校確認
12月6日：常任理事会
12月8日：五校確認
12月11日：理事会議
12月13日：六校確認
12月17日：最終校正確認
12月18日：製版・印刷作業開始
12月19日：印刷完了
12月19日：新聞折込業者引き取り
12月21日：朝刊新聞折込日

17 対外配付資料 資料名内容

1. 2012年度広報誌「あゆみ」

18 人員配置・役割分担表

原稿の入稿に関しては、理事長・委員長・事務局長に依頼し、広報誌の内容に関して、委員会メンバー全員で、文字校正(誤字・脱字のチェック)を行いミスの防止に対応致しました。

最終確認は、理事役員メンバーにPDFデータをメールにて確認依頼し、その後、フォローメンバーにも依頼し確認を行いました。

19 引用著作物の有無 藤田恵美さんの写真

20 事業目的達成の検証

地域にお住まいの多くの方よりも、長井青年会議所の活動をみて頂いていることとお聞きし、J C活動に対する興味や期待が高いことを実感致しました。特にメイン事業の夢灯は実際に関わって頂いた方、来場して頂いた方が多いこともあり、好評であると感じました。

保育園・小学校に訪問させて頂き、実際に広報誌に目を通して頂き、以下の内容でご意見・ご感想を頂戴しました。

・長井南中学校…今後もJ C杯を続けて欲しい。全生徒対象に講演会も開催してほしい。

・長井北中学校…野球大会だけでなく他の競技も開催していただければなあ。

・白鷹西中学校…長井市外からももっと会員が増えれば西置賜を更に盛り上げることが出来るのでは?今後の御活躍を期待しております。

・豊田小学校…直接はランタン製作でしかご協力できませんが、あやめ公園は少し遠いため、作成したランタンを見に行く児童が少ないので写真に収めて欲しいと思います。

・平野小学校…あゆみを見てたくさん事業をしているのですね小学生対象の事業や講演会もお願いします。

・西根小学校…今後も若さを結集させてまちづくりや様々なことに頑張ってもらいたい。

・致芳小学校…子どもたちにとって普段の授業以外に興味をもてる何かを企画してほしいです。また講演会とかはしないのですか？

・伊佐沢小学校…特に伊佐沢小学校は藤田さんのコンサートや夢灯でお世話になりました。他にも沢山の事業をやっているのですね。すばらしいですね。

・豊田児童センター…フラワーボランティアではお世話になりました。今後も続けてください。

・はくさん保育園…今後も花植え続けてください。

・めぐみ幼稚園…花植えは大変すばらしい事業です。児童にも花の名前と触れ合うきっかけができるので今後も続けて欲しいです。

・致児童センター…様々な活動ご苦労様です。花植え毎年楽しみにしています。

・伊佐沢児童センター…フラワーボランティアに子どもたちが楽しく参加して様子が印象的でした。ありがとうございます。

関係した事業以外に様々な事業にも興味を持って頂いていること、今後も継続してご協力して頂けること、沢山の長井青年会議所に対する期待・要望があることが感じられ、特に子どもたち自信が楽しく参加して頂いていることが多く寄せられていること等、直接お聞きすることで確認が出来ました。

最後に、長井青年会議所の活動を知って頂ける情報発信ができ、地域の皆さんに理解して頂くことができました。また、JC運動の魅力を幅広く発信し、直接ご意見・ご感想をお聞きする等、更に地域との連携を深めることができましたと考えます。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

担当委員会として、原稿や写真入稿をお願いしている立場にも関わらず、入稿が後手後手になってしまい、後でバタバタとすることが反省すべき点であった。

【予算面】 特になし

【その他】

写真選定の際に、写真がぼやけていたり、撮影枚数が少なかったりと、もっと事業内容がわかりやすい写真の撮り方や記録の重要性を確認を行う必要があった。

2.2 引継ぎ事項

文字が多い中、目を引くことができる写真が特に重要と考え、担当委員会の記録係の方には、広報活動用に使用することが必要だと思います。

コンテンツに関して、新しい切り口からの企画（コーナー）を設けてはどうかと感じます。

2.4 各担当者所見

委員長：小 関 幸 一

今回の広報誌「あゆみ」作成にあたり、吉田理事長はじめ理事役員メンバー・フォロアメンバーメンバーのご協力頂きましたこと感謝申し上げます。ありがとうございます。委員会メンバーには、レイアウトや記事、写真の選定、誤字・脱字の確認等に何度も目を通して頂き、2012年度長井青年会議所の集大成としての今回の広報誌発行を、満足しております。地域の方に、我々の活動を知って頂くことが少ないなか、貴重な情報発信の機会となり、2012年度御世話になりました皆様よりも、貴重なご意見・ご感想を頂戴できましたことをうれしく思います。今後も、様々なツールを使わせて頂き、地域の皆さまに活動を知って頂き、地域の皆さまより親しまれ、更に多くの地域の方に事業に参加して頂けることを期待し、情報発信に努めて参ります。ありがとうございました。

担当理事：樋 口 和 哉

私たち長井青年会議所の年間の活動内容を新聞折込という広報媒体を用いて紹介する広報誌「あゆみ」ですが、地域の方々に直接私たちの活動内容を紹介する、知っていただくことが出来る情報発信の機会でもありますので、この度いただいた様々な貴重なご意見を力にし、今後もひとりでも多くの方に私たち青年会議所のことを知っていただけるように、私たちがより良いまちづくり、青少年育成を行うことでより質の高い広報誌としての役割を担っていくことが出来ると思います。この度ご協力いただきました皆様に感謝申し上げ私の所見とさせていただきます。

担当副理事長：遠 藤 浩 樹

今年度、最後の事業として、あゆみの発行をしております。吉田理事長始め、理事メンバーのご協力の賜物です。そして、2012年長井青年会議所として、数々の事業を行ってその集大成ともいえるものであります。年1回ではありますが、長井青年会議所を地域の皆様にPRできる貴重な場所でもあります。また、今年度は、お世話になった、小学校や幼稚園伺って、御意見もいただくことができました。そちらをまとめて2013年度の参考にしていただければ良いと思います。最後に、ご協力をいただいたすべての方々に御礼を申し上げます。ありがとうございました。

委員会活動報告				
期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
9月30日	遠藤電工	21:00~23:00	遠藤・樋口・小関	基本計画書(案)
10月8日	サンノー 企画印刷	15:00~17:00	遠藤・小関	基本計画書(案)
10月14日	J C ルーム	19:30~24:00	遠藤・樋口・椎名・ 小関・吉田	基本計画書(案)
10月27日	新ナガモク	17:00~18:30	樋口・小関	基本計画書(案)、年間事業計画予算書(案)
11月1日	J C ルーム	19:30~24:30	遠藤・樋口・小関・ 板垣・吉田	基本計画書(案)、年間事業計画予算書(案)
11月8日	遠藤電工	21:00~24:00	遠藤・樋口・小関	基本計画書(案)、年間事業計画予算書(案)
11月19日	遠藤電工	18:00~22:00	遠藤・樋口・小関	基本計画書(案)、年間事業計画予算書(案)
1月6日	有頂天	19:00~20:30	遠藤・樋口・小関	ミーティング、今後の予定の確認
1月21日	東京第一 ホテル米沢	19:00~21:30	樋口・椎名・渡部清隆・ 新井・小関	委員会メンバー顔合わせ、SNS活用セミナー
1月30日	サンノー 企画印刷	19:00~21:30	遠藤・樋口・小関	SNS活用セミナー
1月31日	エルベ	18:00~18:30	遠藤・樋口・小関・ 渡部清隆	現地調査(SNS活用セミナー)
2月8日	太田商事	10:00~11:30	遠藤・小関	岳人長井の太田弘さんに親子でワクワク登山に関して、アドバイスをお聞きしました
2月8日	J C ルーム	19:00~22:30	遠藤・樋口・齋藤・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会
2月15日	山形駅の スターバックス	7:00~8:30	椎名・小関	SNS活用セミナーに関して、講師の鈴木史信さんと打合せ
2月18日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・椎名・ 齋藤・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会
2月25日	エルベ	19:00~21:30	遠藤・樋口・小関	SNS活用セミナー(現地再調査含)、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会
3月6日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会
3月6日	長井市役所	10:00~10:30	樋口、小関	フラワーボランティア教室
3月13日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・椎名・ 渡部・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
3月16日	太田さん宅	10:00~11:30	遠藤・樋口・小関	親子でワクワク登山
3月23日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
4月3日	J C ルーム	19:00~24:00	樋口・椎名・齋藤・ 小関・(吉田・板垣)	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
4月10日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・椎名・小関	SNS活用セミナー、親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
4月17日	エルベ	19:00~21:00	遠藤・樋口・椎名・ 渡部・齋藤・小関	SNS活用セミナー、JC杯中学野球大会、
4月24日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口・小笠原・ 小関・(吉田)	親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
4月27日	J C ルーム	20:00~24:00	遠藤・樋口・ 小関(吉田・板垣)	親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
5月1日	八木さん宅	16:00~18:30	遠藤・小関	親子でワクワク登山について、葉っぱ塾の八木さんと面会
5月1日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口・小関・新井 (吉田・板垣)	親子でワクワク登山、JC杯中学野球大会、フラワーボランティア教室
5月9日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口	親子でワクワク登山
5月13日	葉山	7:00~16:00	遠藤・小関・(吉田)	サマーアドベンチャーin葉山(現地調査1回目)
5月14日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口・齋藤・ 小笠原・小関・(吉田)	サマーアドベンチャーin葉山

5月21日	サンノ一 企画印刷	19:00~23:00	遠藤・樋口・小関	サマーアドベンチャーin葉山、フラワーボランティア教室
5月25日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口・小関	サマーアドベンチャーin葉山
5月28日	八木さん宅	14:00~15:30	遠藤・小関	サマーアドベンチャーin葉山について八木さんと打合せ
5月29日	J C ルーム	20:00~23:30	樋口・齋藤・小関	SNS活用セミナー事業報告、フラワーボランティア、納涼パーティー、サマーアドベンチャーin葉山
6月1日	保険セ ンター	19:00~20:00	樋口・小関・ (吉田・板垣)	サマーアドベンチャーin葉山の心のまちづくり基金申請のプレゼン
6月5日	J C ルーム	19:00~23:30	樋口・椎名・齋藤・小関	フラワーボランティア教室、サマーアドベンチャーin葉山
6月13日	サンノ一 企画印刷	19:00~23:00	遠藤・小関	サマーアドベンチャーin葉山
6月17日	葉山(岳人 長井3名)	5:30~16:00	遠藤・小関・ (吉田・佐藤)	サマーアドベンチャーin葉山(現地調査2回目)
6月20日	J C ルーム	19:00~22:00	遠藤・樋口・齋藤・小関・ (吉田・鈴木・大竹)	サマーアドベンチャーin葉山
6月24日	あやめ公園	17:00	遠藤・椎名・小関	サマーアドベンチャーin葉山のPR
6月25日	伊佐沢小学校	14:00	小関	サマーアドベンチャーin葉山のPR(OMOIYAI演奏会前にて)
6月27日	古代の丘交 流センター	16:00~19:00	樋口・齋藤・小関・ (吉田)	サマーアドベンチャーin葉山のご飯試作
6月27日	高島4中学校	19:00~20:30	小関	自然あそび(ネイチャーゲーム)について
6月27日	J C ルーム	20:00~1:00	樋口・小関・(鈴木)	SNS活用セミナー事業報告、納涼パーティー、サマーアドベンチャーin葉山
6月30日	J C ルーム	19:00~24:00	樋口・小関・(鈴木)	サマーアドベンチャーin葉山
7月3日	八木さん宅	17:00~18:30	小関	サマーアドベンチャーin葉山のアドベンチャーブック
7月5日	J C ルーム	17:00~19:00	遠藤・樋口・小関・ (吉田)	サマーアドベンチャーin葉山について
7月12日	ふあらん (焼肉)	19:30~	遠藤・樋口・渡部・ 小関・(横山・鈴木)	メイン事業について
7月17日	J C ルーム	19:30~23:00	遠藤・樋口・小関	メイン事業について、納涼パーティー
7月19日	八木さん宅	18:00~19:00	小関	メイン事業について
7月24日	J C ルーム	19:30~24:00	遠藤・樋口・椎名・ 井上・小関・(吉田)	葉山トレッキングについて、納涼パーティー
7月31日	J C ルーム	19:30~22:00	樋口・小関	葉山トレッキングについて、納涼パーティー
8月1日	八木さん宅	18:00	小関	葉山トレッキングについて
8月11日	古代の丘交 流センター	11:00~12:30	樋口・小関	ボーイスカウトさんについて話を聞きました。
8月17日	グランパリス	19:00~21:00	遠藤・齋藤・井上・小関	納涼パーティーについて
8月20日	J C ルーム	20:30~24:00	樋口・齋藤・小笠原・小関・ (大竹・佐藤・風間・吉田)	葉山トレッキング、納涼パーティーについて
8月27日	J C ルーム	19:00~24:00	遠藤・樋口・椎名・小関・ (鈴木・梅津・板垣・吉田)	わくわく葉山探検隊について
8月24日	長井市役所	19:15~19:45	遠藤・小関	わくわく葉山探検隊の長井市心のまちづくり基金変更申請について
8月28日	八木さん宅	17:00~18:00	遠藤・樋口・小関	講師承諾書・わくわく葉山探検隊について
9月3日	J C ルーム	19:30~23:00	遠藤・小関・(吉田)	わくわく葉山探検隊について
9月7日	J C ルーム	20:00~24:00	遠藤・樋口・(吉田・板垣)	挑戦! 発見!!感動!!!葉山探検隊について
9月8日	J C ルーム	20:00~24:00	遠藤・樋口・(吉田・板垣・佐藤・風間)	挑戦! 発見!!感動!!!葉山探検隊について

9月9日	J C ルーム	13:00~22:30	遠藤・樋口・小関・ (吉田・板垣)	挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
9月10日	J C ルーム	19:30~22:00	樋口・小関・齋藤	挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
9月11日	J C ルーム	19:30~24:30	遠藤・樋口・ (吉田・板垣)	挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
9月12日	遠藤 電 工	12:30~14:00	遠藤・小関	挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
9月19日	サ ン ノ ー 企 画 印 刷	19:00~24:00	遠藤・樋口・小関	長井JC杯中学生野球大会一年生の部、挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
9月26日	J C ルーム	20:00~23:00	遠藤・樋口・小関	長井JC杯中学生野球大会一年生の部、挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
10月1日	サ ン ノ ー 企 画 印 刷	21:00~24:00	遠藤・樋口・小関	長井JC杯中学生野球大会一年生の部、挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊について
10月10日	J C ルーム	19:00~22:00	樋口・小関	事業報告書（長井JC杯野球大会・フラワーボランティア・納涼パーティー・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
10月17日	J C ルーム	19:00~23:00	樋口・齋藤・小関	事業報告書（長井JC杯野球大会・フラワーボランティア・納涼パーティー・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
10月22日	サ ン ノ ー 企 画 印 刷	19:00~24:00	遠藤・樋口・齋藤・小関	事業報告書（長井JC杯野球大会・フラワーボランティア・納涼パーティー・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
10月26日	最上川河川 緑地公園	16:00~17:30	樋口・齋藤・横山・大 竹・影山・吉田・小関	花壇撤去作業 1日目
10月29日	最上川河川 緑地公園	6:30~7:30	遠藤・大竹・吉田・小関	花壇撤去作業 2日目
10月30日	J C ルーム	19:00~2:00	遠藤・樋口・小関・ (鈴木・横山)	事業報告書（長井JC杯中学野球大会・フラワーボランティア・納涼パーティー・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
11月8日	J C ルーム	19:00~22:30	遠藤・樋口・齋藤・小関	事業報告書（長井JC杯中学野球大会・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
11月21日	サ ン ノ ー 企 画 印 刷	20:30~23:30	遠藤・樋口・齋藤・小関	事業報告書（長井JC杯中学野球大会・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について
11月27日	サ ン ノ ー 企 画 印 刷	19:00~	樋口・齋藤・小関	事業報告書（長井JC杯中学野球大会・葉山探険隊・長井JC杯中学野球大会一年生の部）・広報活動について

まちづくり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 鈴木 喜典
- 担当理事 井上 典嗣
- 委員長 梅津壮一郎
- 副委員長 那須 丈雄
- 幹事 影山 孝史
- 委員 嵐田 良一
- 委員 石田 和義
- 委員 齋藤 繁喜
- 委員 菅原 純一

議長所感

今年度を振り返ってみて一番感じる事は、本当に多くの方に支えられて、様々な事業を実施する事が出来たという事です。行政・学校・青团連・観光協会・長井市社協やその他様々な団体に何度も足を運び、色々な繋がりや学びを得る事も出来ました。今年のまちづくり委員会メンバーは、夢灯・防災事業の委員会経験者が少なかった為、苦勞する事もありました。しかし、まちづくりに対する熱き想いを抱いてるメンバーばかりで、その想いを各事業で表現出来たのではないかと考えております。

また、地域の方に各事業に参加してもらう事の難しさ、委員長としてリーダーシップを取る事の難しさ等も感じさせられた1年でした。

今年度委員長として得た経験を、次年度以降の活動に活かしていきたいと思っております。最後にメンバーの皆さま一年間ご協力いただき、本当にありがとうございました。

年間事業報告

スポーツ例会

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
「明るい豊かな社会」の実現を目指した様々な事業を計画・実践していくためには、メンバー一人ひとりの心身が充実してなければなりません。しかし、私達は青年時代の忙しい毎日を送る中で、目の前の事に追われてはいないでしょうか。心身ともにリフレッシュし、今後のJC活動の原動力となるような事業が必要と考えます。
また、まちづくり活動を行う際には、行政や他団体や多くの方々との日頃の繋がりが大切になってきます。JC内のみならず、他団体にも声掛けし参加を募り、まちづくりの輪がさらに広がるような団体交流事業にします。
天候不順の場合も考え、屋内で気軽に出来るスポーツという事でソフトバレー大会を実施します。ソフトバレーボールは真剣勝負の中にも楽しさがあり、団体間の親睦にも繋がると考えます。
- 事業目的
JCメンバーと他団体との交流を通して、団体間のつながりを深める。
- 事業の検証方法とその手段
事業参加者からの感想・意見をもって検証とする。
- 事業概要
長井、西置賜地域で活動している青年団体の交流事業『ソフトバレー交流会』を実施する。各団体毎のチームを作り、4人制ソフトバレーを行い、団体間の親睦を深める機会とする。団体間で人数に偏りがあった場合は、1団体を複数チームに分けるか、合同チームを作るなど調整する。試合で使用するボール・ネットは長井市中央公民館からお借りする。
試合は10ポイント先取の3セットマッチで勝敗を決める。なお、審判は試合をしていないチームが交代で行う。
優勝チームには、試合終了後に表彰式にて記念品を授与する。
- 実施日時：3月17日(土)

8 実施場所・会場：長井市勤労センター 体育館

9 事業対象者

長井市青年団体連絡協議会に所属する団体、長井市職員などメンバー全員

10 参加者募集方法

他団体：青年団体連絡協議会を通して、各団体にメールで案内。各団体長に直接参加依頼。

JCメンバー：メール配信、及び同報FAX

11 決算総額：¥15,733

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】10名 【実施】5名

その他メンバー 【計画】20名 【実施】12名

◆外部

長井市青年団体連絡協議会に所属する団体

【計画】20名 【実施】21名

その他団体(長井市職員等)

【計画】10名 【実施】16名

合計 【計画】60名 【実施】54名

15 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕長井市青年団体連絡協議会

16 実施プログラム

- 16:00 委員会メンバー集合、会場準備
- 16:30 メンバー集合、例会セレモニー
- 17:00 開会 【司会 那須副委員長】
- 17:05 理事長挨拶
- 17:10 ルール説明 【梅津委員長】
- 17:15 準備体操(ラジオ体操) 【鈴木副理事長】
- 17:20 各チーム練習
- 17:30 試合開始
- 19:15 試合終了
- 19:20 表彰式
- 19:25 監事講評
- 19:30 閉会、後片付け

【添付資料】

組み合わせ(案) 備品チェック表スポーツ保険

17 対外配付資料 資料名内容

1 案内文、2 ソフトバレー交流会 ルール

18 人員配置・役割分担表

司会 【那須副委員長】 備品準備 【影山幹事】

ルール説明 【梅津委員長】

ラジオ体操 【鈴木副理事長】

審判長 【井上担当理事】

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

JCメンバー・外部参加者に感想を聞いたところ、皆さん大変喜んで頂けたようです。日頃、なかなか運動する機会がなく、心身ともにリフレッシュ出来たという感想や、団体間・個人間の繋がりを深める事が出来たという意見も多く、事業目的は達成できたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・予定より若干時間がオーバーした。
- ・決勝戦は時間がなく、1セットマッチで行った。
- ・チーム編成が、非常に難しかった。

【予算面】

- ・予算計上していなかった消毒液を購入した。
- ・当初予算額と決算額の差異が大きかった。

【その他】

- ・JCメンバーの参加者が予定より少なかった。
- ・団体によって参加人数にばらつきがあり、温度差を感じた。

2.2 引継ぎ事項

理事役員以外のメンバーの参加者が少なかった。もっと参加したくなるような事業、環境づくりが必要。

今後、このような交流事業を行うのか検討が必要。可能であれば持ち回りで実施。

2.4 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

スポーツ例会「ソフトバレー交流会」に多くのメンバーから参加頂き、誠にありがとうございました。予定者段階では内部事業で考えていましたが、このような他団体との交流事業として実施できたことを本当に良かったと感じています。他団体の参加者にも、大変喜んで頂けたようで、ぜひまたこのような交流事業が行われればと思います。また、今回協力いただいた長井市青年団体連絡協議会の事業にも、所属団体のメンバーとして積極的に関わり、長井西置賜の若者の繋がりがさらに深まっていければと思います。

担当理事：井上 典嗣

スポーツ例会に参加していただきましたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。また、当日は審判等の運営に多大なるご協力をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

他団体の参加者の方々からは、他の若者の団体と交流を深めることができ、良い機会をもらったという声が多く聞かれ、団体によって人数にばらつきはあったものの目的を達成できたのではないかと考えております。私自身も今後の事業に繋がる良い機会があったと思います。"

担当副理事長：鈴木 喜典

予定者段階ではJCメンバー内での交流事業ということでしたが委員長のたつての希望により他団体との交流をメインにしたスポーツ事業に変更しましたが結果的に大成功な事業でした。運動指針にもあるように他団体との交流を進めていく上でJCも自身の事業のために他団体の協力を得ることを目的とするのではなく、他団体へのサポート、協力を視野に入れて今後の活動を推進していく方向性も考えていく必要があると考えます。未来のまちづくりに向けて、我々青年が中心となって考える過程にいまあるのだと認識した事業でした。様々な協力改めて感謝いたします。

地域活性化事業 夢灯

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

近年、コミュニケーションツールの変化や少子高齢化等に伴い、人同士の繋がりが弱くなり、地域に対する関心も薄れてきています。しかし、私達は東日本大震災を通して、人と人との繋がりが郷土の大切さを感じさせられたのではないのでしょうか。そんな今だからこそ、地域の方々と連携・協働し、一体感を感じられるような場が必要だと考えます。

これまで当事業は、「水と緑と花の長井」に代表されるあやめ公園を会場に、3年間継続して実施してきました。公園を中心に彩られたランタンは、地域住民の心に温かくあかりを灯し、多くの方々に感動を与えてきました。長井市の代表的なイベントの1つになった当事業を、さらに地域住民から愛され、地域の魅力として発信し続けていく為に、今年度も継続して実施していく必要があると考えます。

4 事業目的

地域住民や他団体等との連携・協働により、まちづくりの輪を広げると共に、地域の魅力を内外に発信し交流人口の増加を図る。

5 事業の検証方法とその手段

事業にかかわる方の参加人数と来場者数をもって検証する。また、協力団体・協賛企業数などの目標数を設定し、目標達成率をもって検証する。

6 事業概要

長井市内の子供たちや地域住民の「夢・希望・願い」を描いた小型ランタン3000基、大型ランタン90基をあやめ公園内外に設置・点灯する。小型ランタンは市内小学校に依頼し、児童一人ひとりに制作してもらう。学校毎にランタン用紙を色別に分け、公園内の各学校のエリアに設置する。また、事業当日は市外から来られた一般入園者にも事業に参加頂けるよう、小型ランタン制作ブースを公園内本部に設置する。小型ランタン3000基の内訳は、市内小学校依頼分1500基、当日制作500基、既製ランタン1000基でそれぞれのエリアに設置する。大型ランタンは30基を長井市内の中学校・高校に依頼し、クラスや部活単位で制作してもらう。また、当事業に協賛いただいた企業名を記載した大型ランタンを60基設置する。生徒作成大型ランタンは、公園内に設置し、企業協賛大型ランタンは公園内、公園周辺に設置する。

西置賜内外からより多くの参加者を集い、地域の魅力を広く発信する為に、各種企画演出を盛り込む。子供向けイベントとして、ミニSL乗車コーナー、ふわふわドームを公園高台広場にて参加費無料で実施する。ランタン点灯後は水上ステージにて音楽イベント(mojorライブ・飯豊町少年少女合唱団)を実施する。また、夜の企画としては、ル・クブルのボーカル藤田恵美さんをお招きし、音楽イベント「OMOIYARI音楽会」を実施する。ランタンの灯と共にあやめ公園内を幻想的に演出する。イベント内容は、ルクブル時代の曲、OMOIYARI運動テーマソング『OMOIYARIのうた』、手話付きの童謡などを約40分間歌って頂く。また、長井市の手話サークル「陽だまり」・飯豊町少年少女合唱団「ミルキーウェイ」に参加協力依頼し、一緒にステージで手話付きで歌って頂く。「OMOIYARI音楽会」は翌日の6/25(月)にも伊佐沢小学校にて実施する。

今年度は東日本大震災からの復興元年として、人と人との絆を1つのテーマに掲げ、復興への想いをランタンに託し、西置賜地域内外からの参加者が心に灯りを温かく灯すことが出来るような事業とする。また、事業実施までの事前準備や当日のランタン設置・点灯をまちづくり諸団体や地域住民と連携・協働を図り行うことで、まちづくりの輪をさらに広げられるような事業とする。

7 実施日時：6/24、6/25、6/30

8 実施場所・会場：あやめ公園と入口周辺

9 事業対象者

西置賜地域、及び近隣地域の児童、一般の方

10 参加者募集方法

- ・新聞折込チラシ20,000枚(西置賜地域)・ポスター100枚
- ・テレビCM(6/16~6/23:YBC, SAY)・テレビPR(6/18~6/23:NHK, TUY, YTS)・ラジオ(6/22:YBCラジオ)
- ・広報ながい、広報いいで、広報しらかた ・ホームページ

1.1 決算総額：¥1,812,220

1.2 特別の利害関係を有する理事

井上典嗣、小関幸一、樋口和哉 以上3名

1.3 決議の条件

議決権のある理事=理事10名(総理事)-特別の利害関係を有する理事2名=8名
 決議の成立する理事数=8名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数
 承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 10名 【実施】 5名
 その他メンバー 【計画】 20名 【実施】 14名

◆外部

関係諸団体	【計画】	50名	【実施】	50名
一般参加者	【計画】	1500名	【実施】	3500名
合計	【計画】	1580名	【実施】	3569名

- ・ 昨年の来園者数のピーク4000人を上回る事が出来た
- ・ 今年の来園者数のピーク：5300人（7/1にぎわい市）
※観光協会調べ
- ・ 事前準備を含め、目標としていた50名の関係諸団体・ボランティアスタッフの協力を頂くことができた

15 外部協力団体及び協力種別

〔後援〕長井市、長井市教育委員会、長井観光協会
〔協力〕長井市内 小中高校 長井市青年団体連絡協議会

16 実施プログラム

- 6月24日・チェック表
10:00 委員会メンバー集合
11:00 JCメンバー集合（本部テント）
・メンバー役割担当・役割内容
・当日スケジュール
例会セレモニー、打ち合わせ
会場セッティング・備品
ミニSLコーナー準備開始、
音響セッティング開始
・音響セッティング
12:00 ミニSL乗車コーナー開始 ～17:00
13:00 ボランティアスタッフ集合、説明（本部テント）
ふわふわドーム開始 ～18:00
当日ランタン制作コーナー開始 ～18:00
14:00 ランタン設置開始・あやめ公園・公園周辺
ランタン設置方法
15:00 藤田恵美 リハーサル・藤田恵美スケジュール
16:00 ランタン点灯セレモニー・セレモニースケジュール
16:00 ランタン点灯
16:30 ライブイベント（飯豊町合唱団：ミルキーウェイ）
17:00 ライブイベント（mojo）
18:30 ライブイベント（ル・クプル藤田恵美）
20:30 ランタン片付け開始
22:00 完全終了
※悪天候時（大雨暴風・台風時等は9:00に三役メンバー、委員会メンバーで実施判断）・雨天時連絡経路

6月25日OMO I Y A R I 音楽会 in 伊佐沢小学校

- 11:30 委員会メンバー 学校集合
11:40 藤田恵美 学校入り 会場セッティング・リハーサル
13:00 JCメンバー集合
13:45 会場 OPEN（保護者、伊佐沢地区一般住民
合計8名）
14:00 OMO I Y A R I 音楽会 開始司会：梅津
14:05 藤田恵美入場
14:45 閉会のあいさつ（校長先生）
14:50 藤田恵美退場
15:00 OMO I Y A R I 音楽会 終了

6月30日みんなで灯そう夢灯～2012絆～Part 2

- 15:00 JCメンバー集合（あやめ会館前）
16:00 ランタン設置開始
（西根小学校全学年・大型ランタン8基）
18:00 ランタン点灯
20:30 ランタン片づけ開始
21:00 終了

17 対外配付資料 資料名内容

- 1 協力依頼・名義使用申請書：学校長井市観光協会教育委員会消防団
2 企業協賛依頼文章大型ランタンイメージ
3 ポスターチラシ表チラシ裏広報ながい広報いいで・広報しらたか
4 当日配布資料：ランタン設置方法ランタン設置MAP（公園）
ランタン設置MAP（公園周辺）高台広場
5 当日配布チラシ（表面）当日配布チラシ（裏面）
6 御礼状： 小学校中学・高校企業協賛

18 人員配置・役割分担表

- ・委員会役割分担表
- ・メンバー当日役割

19 引用著作物の有無

チラシ・ポスター（藤田恵美写真）

20 事業目的達成の検証

- ・事業当日の来園者数：4300人（昨年同事業比260%）

長井市・観光協会・教育委員会や、青団連等の協力団体との連携をさらに強め、協働して実施する事が出来、その結果、当事業は交流人口の増加に寄与出来たと考える。

21 実施上の問題点

【運営面】

事前準備

- ・ランタンカップ、ランタン用紙、砂等が事前準備日に間に合わず、事前準備のスケジュールがずれた
- ・企業協賛募集、御礼状配布のスタートが遅かった
- ・ポスター掲示が遅かった
- ・ランタン用紙が締切日過ぎても回収できなかった。結果、当日設置されていないランタンが発生
- ・企業協賛を必死に回っている方、ギリギリになって動く方、全く動かない方の温度差を感じた

当日

- ・水銀灯の消灯が上手くいかなかった。来園者から暗すぎるとのクレームあり（市観光課との事前打ち合わせ不足）
- ・セレモニーの打ち合わせ不足（来賓のハッピーの着用、点灯、ファンファーレ、花火など）
- ・西根小学校5年生のランタンが未設置
- ・一部、燃えているランタンがあった
- ・借用備品の管理がずさんだった（テント・テーブルなど） 後日、観光協会に確認し解決。
- ・日中は多くの方で賑わっていたが、日曜日という事もあり、来園者の引きが早かった
- ・昨年、一昨年から開催日を遅らせた為、日没が遅く、暗闇の中での幻想的なランタンを見て頂く時間が短かった
- ・ボランティアスタッフの参加者管理が全くできていなかった。（いつの間にか参加している人、途中で帰る人が多数いた）
- ・水上ステージのスケジュールにゆとりがなかった。結果、リハーサルで慌ててしまった

【予算面】

- ・テレビCMに21万円を使用した為、費用対効果を考えると、疑問が残る。
- ・全体の予算に対しての広報費の比率が高かった
- ・音響にかかる費用が前年より高かった
- ・予算書にない費用が多く発生した

【その他】

- ・開催日の決定が遅かった。結果、あやめまつりの他のイベントや、JC内のスケジュールと重なり、日曜日の開催になった
- ・事業参加者にアンケートを取ればよかった。事業目的の達成度を参加者数や口頭での感想で判断することになり、一般来場者やボランティアスタッフがこの事業を通して、どのように感じたのかが詳しく分析できなかった

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
参加対象を一般の方とし、ポスター・新聞折込チラシ・HPにより広く公開していることから、受益機会は均等である。
- ②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。（例：テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催／出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている／テーマ

で謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか（注）／入場者を特定の利害関係者に限っていないか（注）公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。

他団体や行政及び近隣住民との連携と対話によって、地域住民のまちづくりの輪を広げることを事業目的としている点から、公益性が認められる。

- ③（出展者を選定する場合、）出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。（例：出展料に不当な差別がないか）

出展者なし

26 引継ぎ事項

- ・水銀灯消灯の確認は現地にて行うこと（消すor消さない）
- ・テントやテーブル等を借用する時は、紛失等を失くすために、管理担当者を決める。借用書等を検討する
- ・企業協賛金は全メンバー総力戦で行えば、まだまだ期待できる。
- ・テレビPRは無料で行えるので、ぜひ実施して欲しい
- ・大きなアトラクション等を実施する場合、高台か野球場しかない為、公園との回遊性が生まれにくい
- ・事業実施場所と実施日時、曜日は要検討
- ・ボランティアスタッフの参加者の管理をしっかり行うこと。（特にUR会は当日になって参加・不参加多し）
- ・事業当日に一般来場者、他団体参加者からアンケートを取ること

28 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

事前準備から、事業当日まで多くの方々に協力頂いたおかげで、このように盛大に事業を実施する事が出来ました。また、行政や他団体、委託業者等との対話を何度も重ね、協力し、事業名のサブタイトルにもある『絆』を感じられるような事業が出来、事業参加者のまちづくりに対する想いがより一層強いものになったのではないかと感じております。

委員会開催の度に、「あれしたい」「もっとこうしたら参加者に喜んでもらえるのでは」などなどと、議論が尽きませんでした。結果、委員会メンバーの想いがこもった事業を行う事が出来たのではないかと思います。

メンバーの皆様には、事前準備や企業協賛金など長期間に渡るご協力を賜り、本当にありがとうございました。

担当理事：井上 典嗣

準備段階から多くのボランティアスタッフや行政の皆様、ランタンを書いてくれた子供達、協賛して下さった企業様等々、本当に多くの方々のご協力をいただきまして、今年も夢灯を実施することができました。このように多くの方々のご協力をいただけたことは本当に嬉しく思いますし、夢灯という事業を通してまちづくりの輪を広げることができたと感じております。

例年よりランタンの数やイベントを増やしたり、翌日のOMIYARI音楽会の実施と、とてもボリュームのある内容でしたが私自身も楽しみながら活動することができました。これもメンバーの皆様のご協力があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。

事業当日は、西根小学校5年生のランタンが設置されなかったという非常に残念な出来事がありました。事前に良く確認さえしていれば防ぐことができたはずですので、非常に悔やまれますし、大変申し訳なく感じております。しかし、すぐに学校へ相談にお伺いし、翌週末に改めて西根小学校のランタンを設置させていただきました。

担当副理事長：鈴木 喜典

みんなで灯そう夢灯2012絆、メンバーの皆さんはもちろんのこと、まちづくりに関わる多くのボランティアスタッフ、出演者、来場者が様々な目的に向かって一つの事業をなし得たことは内外の評価は得たのではないかと客観的に感じております。今年度4回目を迎えた長井JCまちづくり継続事業ですが今回で一つの完成系を見たのではないのでしょうか。いい事業であったからこそ問題点、課題点、評価点の検証もスムーズにいけます。現在の地域現状を鑑みますと来場者、寄付金はこれ以上大きく増加することはなかなか困難かなと感じます。次年度以降はこれを踏襲するか、また新たな形の夢灯を構築するかはメンバーみんなでご考えていただきたいと思っています。決して志を忘れず、進化しようとする意欲を持って。

今でも臉を閉じますとあの時の皆さんも笑顔が、涙が、そしてちからがよみがえってきます。長井JC史上最高の事業ではな

かったかと自画自賛しております。ほんとに有難う、楽しかった。

長井駅周辺整備事業

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（2） セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

長井駅は『水と緑と花のまち 長井』の玄関口として、その周辺の風景も含めてとてものどかで趣きがあります。創立40周年の記念事業として製作した巨大壁画も駅の顔として訪れる人々を迎えております。長井らしさが存分に詰まっている壁画の保全と周辺整備は、描いてくれた子供たちはもちろん、地域住民や観光客にきれいな状態で見て頂くために必要であると考えます。また、壁画と共に周辺の景観を整備することで花のまち長井としての魅力を発信するとともに、和みと癒しの空間を提供できると考えます。

4 事業目的

長井の玄関口である長井駅周辺を整備することで、地域の魅力を高める。

5 事業の検証方法とその手段

フラワー長井線利用者や山形鉄道関係者に意見や感想をお伺いし、この事業が地域の魅力向上にどのように役立てられたかを検証する。

6 事業概要

長井駅の壁画保全と壁画周辺の花壇の植栽（春植えと秋植えの2回）、駅周辺の整備を行う。同時に壁画及び周辺の状態を確認し、雨や雪などから長期間保護する。

春植えは、マリーゴールドなどを合計200株を植栽。今年は長井高校生が植栽を行わないということだったので、南側・北側の2面の花壇に植栽した。また、秋に向けてコスモスの種を植えた。

秋植えは、ビオラ・パンジーを合計200株植栽。春と同様に2面の花壇に植栽した。また来年の春に向け、チューリップの球根を植えた。

7 実施日時：5月15日（火）、10月17日（水）

8 実施場所・会場：長井駅プラットホーム向い壁画周辺 及び 主に花壇

9 事業対象者 メンバー全員

10 参加者募集方法 メール配信、及び同報FAX

11 決算総額：¥40,000

14 参加員数

5/15	担当委員会	【計画】10名	【実施】5名
	その他メンバー	【計画】20名	【実施】4名
10/17	担当委員会	【計画】10名	【実施】5名
	その他メンバー	【計画】20名	【実施】5名
	合計	【計画】60名	【実施】19名

16 実施プログラム

5月9日	17:00	メンバー集合	堆肥の散布、雑草の除去等
5月15日	16:30	委員会メンバー集合	打ち合わせ
	17:00	全メンバー集合	説明
	17:10	花植え作業開始	
	18:10	花植え作業終了	
10月17日	15:30	委員会メンバー集合	打ち合わせ
	16:00	全メンバー集合	説明
	16:10	花植え作業開始	

17:30 花植え作業終了

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

山形鉄道関係者や実際に花壇を見た一般の方に意見や感想をお伺いしたところ、大変喜んで頂けたようである。今年度は春植えの際に、山形鉄道さんの御厚意で雑草対策のマルチを頂き使用した。それでも夏場は特に雑草が多くなるので、小まめな手入れが来年度以降も必要と感じた。

当事業は毎年継続して実施している事業だが、今年度事業も、目的としていた地域の魅力向上に貢献できたと考える。

21 実施上の問題点

【事業実施前】

・山形鉄道との事前打ち合わせ不足
当初予定していなかった長井高校の花壇にも植栽した

【事業当日・実施後】

・雑草除去の回数が少なかった

【予算面】

・予算計上していなかった、消耗品を購入（マルチ・スコップなど）

【その他】

・毎年の事だがメンバーの参加者が少ない
事業実施の曜日、時間帯に関して検討が必要だった
メンバーがなかなか集まらない為、他団体の方や一般参加者を集う等も検討すべきだった "

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）
《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井駅を訪れ利用する人にとって、ホームから壁画と花壇が目に入ることから、適切な方法で明らかにしていると考えます。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）

不特定多数が利用する長井駅を整備する事から、公益目的を実現するためのプログラムになっていると考えます。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。
花卉発注業者に苗の選定・時期・数量等をアドバイス頂いている事から、適切に関与していると考えます。

26 引継ぎ事項

・長井高校の花壇をどうするか、事前に山形鉄道に確認する事
・他団体の方や一般参加者の事業参加を検討する事（ホームページ・facebook等）

28 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

この長井駅周辺整備事業によって、フラワー長井線の利用者や周辺地域の方が、少しでも心豊かになられたのであれば委員会としてとてもうれしく思います。少ない参加メンバーではありましたが、継続して実施している事もあり、スムーズな作業のおかげで予定通りの短時間内に実施する事が出来ました。今年は新たな試みとして、コスモスのタネやチューリップの球根を植えてみました。コスモスは手入れ不足もあって思うように開花しませんでした。春に咲くチューリップは非常に楽しみであります。春秋

共に平日の実施という事で、皆様には仕事の時間を削って参加頂きまして誠にありがとうございました。

担当理事：井上 典嗣

まずは長井駅周辺整備事業に参加していただきましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。平日の夕方という時間帯もあり、参加メンバーは少ないものの、素早い作業で短時間で実施することができました。

長井の玄関口である長井駅の花壇を整備することによって、花のまち長井の魅力を発信できたのではないかと思います。

ひとつ残念だったのは、植えた後の手入れが不十分だったため、枯れてしまう花や咲かない花もあったことです。植えっぱなしではなく、しっかりと手入れをしなければならないと痛感いたしましたので、この教訓を次年度以降に活かしていただければと思います。

ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

担当副理事長：鈴木 喜典

長井駅周辺整備事業は今年度で7年目を数える長井JC継続事業です。今年度も新たな取り組みを実施し、花植への楽しさ、見ていただいた方の幸せ、そのような成果を十分に実感できる事業ではないでしょうか。来年度以降もこの事業をポジティブに考え実施していただければ幸いです。ご協力ありがとうございました。

地域防災セミナー

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（2） セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

東日本大震災から1年半が過ぎた今、私達の防災に対する意識が少しずつ薄れてきているように感じます。しかし、新潟・福島県や九州地方の集中豪雨による土砂災害や浸水被害といった自然災害が相次ぎ発生しており、長井・西置賜地域においても大規模災害がいつ発生してもおかしくない、災害が他人事ではない時代になっています。

震災後、県や各市町村で地域防災計画や防災マニュアルの見直しが進められ、長井市でも現在作成段階にあります。私たちは地域の未来を担う青年団体として、今後の地域防災に対して行政や他人任せにせず、メンバー一人ひとりが参加意識を高く持ち、地域住民等と共に地域防災について考える場が必要と考えます。"

4 事業目的

事業参加者が地域防災の現状と課題を把握し、防災に対する知識を深める。

5 事業の検証方法とその手段

参加者からアンケートを取り、理解度等を数値化し検証とする。

6 事業概要

セミナー前半は長井市総務課の防災担当者より、長井市で現在作成段階の地域防災計画の一部を資料等を用いながら説明頂く。内容は地域防災力強化計画・避難所運営計画などを説明頂く。

セミナー後半は、東日本大震災や各地で発生している自然災害の被害を教訓に、事業参加者と共に長井市の地域防災について考える場とした。内容は日本JCの「防災・減災プログラム」を実施。「防災・減災プログラム」の内容は、①過去の災害を教訓に防災意識の向上を高める内容②地図を使った災害图上訓練（DIG）を行う。DIGでは参加者を6～8人毎の8班に分け、テーブル毎にグループワークする。最後に、実際に災害時のシミュレーションを行い、気付いた事、問題点等をテーブル毎に発表してもらう。なお、「防災・減災プログラム」は日本JC復興支援委員会と連携して実施する。

セミナーの最後に、4つの他団体の防災・支援活動等の紹介を行う。①長井市社会福祉協議会の担当者から、災害ボランティアコーディネーターについての説明②商工会議所青年部会から復興支援活動の事業紹介③館町自主防災会から自主防災組織の活動

紹介④長井市子ども会育成会連絡協議会から被災地支援活動の紹介。また、現在販売中のJ C - A I Dの紹介を日本J C復興支援委員会で行う。

このセミナーを通して、いつ何時起こりうる災害に備え、参加者と共に長井・西置賜地域の地域防災についての知識を高める。また、常日頃より各団体間の連携を強め、災害に強いまちづくりを目指した。

7 実施日時：11月15日（木）

8 実施場所・会場：第3木曜日を例会日としているため。

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー、行政職員・関係諸団体職員（社協等）、N P O、自主防災組織代表者・一般市民

10 参加者募集方法

市報・ホームページに掲載し、広く周知する。
長井市から自主防災組織代表者宛にチラシ・案内文を発送する。
チラシを行政関係・N P O等の各関係団体に配布する”

11 決算総額：¥25,000

12 特別の利害関係を有する理事 井上典嗣

13 決議の条件

議決権のある理事=理事10名（総理事）-特別の利害関係を有する理事名=10名

決議の成立する理事数=10名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】10名 【実施】5名
その他メンバー 【計画】20名 【実施】13名

◆外部

行政職員・関係諸団体職員 【計画】20名 【実施】6名

N P O、自主防災組織代表者、一般参加者 【計画】20名 【実施】21名

日本J C・他L O Mメンバー 【計画】0名 【実施】6名

合計 【計画】70名 【実施】51名

15 外部協力団体及び協力種別

〔後援〕長井市、長井市社会福祉協議会

16 実施プログラム

17:00 委員会メンバー集合
会場設営・日本J C復興支援委員会と最終打ち合わせ

18:00 メンバー集合 例会セレモニー
役割分担 会場レイアウト

18:40 受付開始 参加者名簿グループ分け

19:00 セミナー開会 【司会】井上担当理事
セミナー次第

19:02 主催者挨拶 吉田理事長

19:07 趣旨説明（井上担当理事）

19:10 長井市地域防災計画について説明
（長井市防災担当者）
防災計画（目次） 防災計画（一部）

19:35 防災・減災プログラム日本J C資料：チラシ役割図
・オープニング映像
・災害意識向上プログラム（日本J C復興支援委員会）
パワーポイント資料

19:50 ・D I Gを利用した災害シミュレーション
プログラム（鈴木副理事長）
D I Gワークシート

20:40 ・クロージング映像

20:45 災害ボランティアコーディネーターについて説明
（長井市社会福祉協議会 宮内さん）

20:50 他団体の防災活動・被災地支援活動の紹介
商工会議所青年部会・長井市子ども会育成会連絡協議会・館町南自主防災会

21:05 J C - A I Dの紹介（日本J C復興支援委員会）
J C - A I Dパンフレット

21:10 セミナー閉会 アンケート記入・回収アンケートアン

ケート結果

会場片付け

21:15 監事講評

17 対外配付資料 資料名内容

1チラシ案内文市報掲載文章、2防災計画（一部） セミナー次
第メモ気象庁チラシ、3アンケート、4J C - A I Dチラシ

18 人員配置・役割分担表 役割分担表

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

・参加者の半数以上が防災計画を初めて見るという事だったが、
理解できた（64%）に対し、理解できなかった（6%）だ
った

長井市地域防災計画の説明が30分という限られた時間では
あったが、大筋の事は理解して頂けたと考える

・防災に対する知識が深まったかという問いに対し94%
の方に「深まった」と回答頂いた。

以上のアンケート結果から、事業参加者の防災に対する知識を深
めるといふ事業目的は達成されたと考える

参考資料：アンケート結果

21 実施上の問題点

【事業当日】

・会場設営に時間がかかり、早く来場した一般参加者を外でお待
たせする事になった

・受付担当者との事前打ち合わせ不足で、予定していたテーブル
配置にならなかった。

①10名で参加した自主防災組織の方々、分かれずに1つの
テーブルに纏まってしまった。結果2人のテーブルが発生

②J C関係者のテーブルに当日参加者が座った為、そのテーブル
のD I Gが進まなかった。（長井の事が分かる人が1人だけ）

・タイムスケジュールにずれが生じ、結果時間が延びてしまっ
た。

①事前に危惧してはいたが、D I Gに予定より時間がかかった

②委員会の調整不足により、他団体が当初予定より1団体増え
た。

・メンバーの参加者が少なかった（参加率：70%）
・会場のマイク音量が小さかった

【事前準備】

・日本J C復興支援委員会との段取り不足。委員会で担当する部
分と日本J Cで担当する部分の連絡調整が上手くいかなかった。

・メンバーに対する手渡しチラシの配布依頼が遅かった。もう少
し、参加者が増えた可能性あり。

・メンバーに対する役割依頼が事前に伝わらなかった（D I Gの
グループリーダー・受付など）

・委員長の不手際で、メンバーに対する案内が遅かった。

・D I Gの内容、資料印刷等の事前準備が前日ギリギリまでかか
り、メンバーに負担をかけた。

【予算】

・決算総額が当初予算より大幅に増えた。必要備品の想定が甘
かった。

・予算計上していない消耗品費、印刷費、賃借料が発生した

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的
とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に
考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当
すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合
のみ記載》

3. 講座、セミナー、育成

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公
益事業の場合のみ記載》

①当該講座、セミナー、育成（以下「講座等」）が不特定多数の
者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、
適当な方法で明らかにしているか。

不特定多数の参加者の地域防災に対する知識を深める事を事業

目的としていることから、不特定多数の者の利益の増進に寄与していると考えられる。

- ②当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。(注)ただし、高度な専門的知識・技能等を育成するような講座等の場合、質を確保するため、レベル・性格等に応じた合理的な参加の要件を定めることは可。
市報等による一般市民への幅広い周知を行う事から、受講する機会が一般に開かれていると考えられる。
- ③当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為(受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為)に当たって、専門家が適切に関与しているか。(注)専門的知識の普及を行うためのセミナー、シンポジウムの場合には、確認行為については問わない。
長井市防災担当者、市社協担当者に防災計画等について説明頂くことから、専門家が適切に関与していると考えられる。
- ④講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。
講師への報酬なし

2.6 引継ぎ事項

開催日や事業内容について、行政・他団体・講師との調整・連絡を密に取り事業計画することが必要である。

2.8 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

当事業は、長井市防災担当者と社会福祉協議会担当者と何度も対話を重ね連携しながら実施いたしました。長井市総務課の佐々木さんには、セミナー内容の相談だけでなく、参加者に防災計画の説明頂くなど様々な面で協力頂きました。長井市や各地域の防災組織等に積極的に関わっていただいていた事業開催出来た事は、大変意義のある事だったと思います。今後も様々な形で、地域の防災についてJ Cが積極的に関わって行く事は大切であり、このような事業も継続していく必要があると思います。

最後になりますが、当日の会場設営などJ Cメンバー皆様からご協力頂き、誠にありがとうございました

担当理事：井上 典嗣

地域防災力向上を目的とした事業は近年、長井青年会議所が継続して行って参りました。年度当初は、今年はどういった形で開催したらいいのか非常に委員会としても迷っておりましたが、皆様のお陰様をもちましてとても良いセミナーになったと感じております。準備段階から長井市防災担当者や長井市社会福祉協議会担当者と連携を深めることができましたし、セミナー当日も参加者の皆様に長井市の防災計画の現状をお伝えし、DIG等を用いて防災意識の向上に繋がったのではないかと思います。少々当日の設営に問題がありましたので、その反省点を活かし、来年以降も防災に関する事業は継続していくべきだと痛感いたしました。参加いただきましたメンバーの皆様大変ありがとうございました。

担当副理事長：鈴木 喜典

地域防災力向上に於いて長井J Cの側面からの支援は今後も必要になると思います。今回の事業を通してJ Cでしかできない、J Cだからできる防災事業ではなかったでしょうか。中々成果は見えづらい取り組みではありますがこのような事業を継続的に続けていくことも必要です。計画段階から実施までは様々な問題がありましたがそれをしっかりと次年度へ伝えJ C内部でもさらに防災について議論を交わす場を設けることができれば幸いです。

クリスマスパーティー

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

私達がJ C活動を続けていく為には、家族の理解と協力が不可欠です。日頃私達を支えてくれる家族に対し、感謝の気持ちを示す場が必要と考えます。

4 事業目的

家族に感謝しながら有意義な時間を過ごし、一年間の活動を振り返りお互いの労をねぎらう。

メンバー間の絆をさらに深め、次年度以降のJ C活動へ繋げていく。

5 事業の検証方法とその手段

参加したメンバー、家族の意見によって検証とする。

6 事業概要

メンバーと家族と一緒に楽しめるようなクリスマスパーティーを行う。また、この事業を通して家族への感謝の気持ちを表し、今後のJ C活動の励みとする。

7 実施日時：12月15日(土)

8 実施場所・会場：グランパリス パーティーリゾート

9 事業対象者 メンバー全員、メンバーの家族

10 参加者募集方法 メール配信、及び同報FAX

11 決算総額：¥0

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】10名	【実施】6名
その他メンバー	【計画】20名	【実施】11名

◆外部

メンバーの家族	【計画】奥様10名	【実施】9名
	【計画】子供20名	【実施】20名
合計	【計画】60名	【実施】46名

1.6 実施プログラム

19:00	クリスマスパーティー開会	司会：梅津壮一郎
19:00	理事長あいさつ	(吉田理事長)
19:05	乾杯	(横山直前理事長)
19:15	LOM褒賞(事務局)	10分
19:25	卒業セレモニー卒業生	嵐田良一君・情野正人君
19:35	事業紹介	プロジェクター使用5分
19:40	ビンゴゲーム	40分 (ビンゴ司会：鈴木副理事長)
20:25	奥様へ花束贈呈	20分
20:45	クリスマスソング合唱	
20:50	参加者全員で記念撮影	
20:55	中締めあいさつ	(鈴木次年度理事長候補者)
21:00	クリスマスパーティー終了	

1.7 対外配付資料 資料名内容

1.8 人員配置・役割分担表

役割担当

<当日>

受付	井上担当理事、影山
司会	梅津委員長
乾杯	横山直前理事長
LOM褒賞	事務局
事業紹介	影山
ビンゴ	鈴木副理事長(司会)・井上担当理事・梅津委員長・影山・菅原
記念撮影	影山
中締め	鈴木次年度理事長候補者

<事前準備>

事業紹介作成	影山
プロジェクター・BGM	影山
ビンゴ景品購入	鈴木副理事長・井上担当理事 梅津委員長
協賛品依頼、回収	那須副委員長
子供達のお土産	鈴木副理事長
キッズコーナー	梅津委員長

1.9 引用著作物の有無 なし

2.0 事業目的達成の検証

メンバー、家族からの意見
・とても良いクリスマスパーティーだった。特に奥様へ花束贈呈・感謝のコメントは良かった。(多数)

- ・子ども達楽しんでいたので良かった
- ・キッズスペースは良かった
- ・今年は例年よりビンゴの時間が短く、ゆっくり食事ができた。
- ・素晴らしい事業紹介（VTR）だったが、長かった。毎年の事だが、家族に見てもらえるような工夫をして欲しかった
- ・子ども用ビンゴカードで大人用の景品と交換してる方がいるのはおかしい。
- ・ビンゴの最後がじゃんけんになったのは残念
- ・料理にクリスマス感を感じられなかった
- ・卒業生2人が欠席だったのが、残念。嵐田くんのVTRは良かった
- ・例年通り、会場はタスの方が良かった
- ・メンバーの参加率が低かったのが残念
多くのメンバー、ご家族からとても楽しいクリスマスパーティーだったとのご意見を頂きました。また、メンバーの奥様に花束を贈りましたが、メンバー・奥様ともに喜んで頂けたようでした。ビンゴゲームでの不具合など問題点もありましたが、「家族に感謝しながら、一年間の活動を振り返りお互いの労をねぎらう」という事業目的は達成できたと考えます。

2.1 実施上の問題点

【事業実施前】

- ・協賛品の回収が前日まで完了せず、殆どが当日持参だった。

【事業当日】

- ・ビンゴについて
例年より時間短縮して実施する予定だったが、若干伸びた抽選機のパソコンソフトに不具合があった。結果、最後はじゃんけんになった。
子ども用ビンゴカードで大人用の景品を持っていく方がいた（委員会の説明不足）
- ・料理について
クリスマス感が感じられなかった。（会場との打ち合わせ不足）
- ・テーブル配置について
当日欠席者もいた為、テーブル毎の人数バランスが悪くなった

【その他】

- ・例年と同様に、タスで実施して欲しかったとの意見が数件あった（メンバー、家族）
- ・担当委員会メンバーの家族が置き去りになる。
- ・パーティー内で卒業セレモニーを実施したが、卒業生2人とも欠席だった
- ・メンバーの参加人数が少なかった

2.6 引継ぎ事項

- ・メンバーと家族の出席率が増えるようなプログラムにして欲しい
- ・出席者数の確認、協賛品の依頼は早めに行う。

2.8 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

今年度最後の事業のクリスマスパーティーを担当させていただき有難うございました。また、毎年恒例のビンゴゲームには、欠席の方も含め皆様より沢山の景品の御協賛をいただきました事、心より御礼申し上げます。

今年は例年のような斬新なアトラクション（パフォーマンス）や予算の関係上、高額なビンゴ景品はありませんでしたが、参加者の皆様から「楽しいクリスマスパーティーだった」との感想を頂き、大変良かったと感じております。

ご出席いただきましたメンバー皆様、ご家族様、本当にありがとうございました。

担当理事：井上 典嗣

クリスマスパーティーを開催するにあたり、メンバーの皆様には多くの景品を提供していただきましてまことにありがとうございました。また、出席していただきましたメンバーの皆様、ご家族の方々に感謝申し上げます。

今年は派手なアトラクションではなく、家族に感謝を伝えるという場面を設けさせていただきましたが、意外と好評でしたので大変良かったと感じております。運営面で多少の不手際がありましたので、次年度以降へしっかりと引き継ぎ、より有意義で楽しいクリスマスパーティーにしていきたいと感じました。

担当副理事長：鈴木 喜典

時節がらか近年参加者が減少してさびしい事業ではありますが、参加されたメンバーやご家族は大の楽しい笑顔を見たら開催して良かったと感じます。予定したイベントに不具合があり、内容を変更して対応しましたがこれはシュミレーション不足が大きかったと思います。今年度当委員会はこのシュミレーション不足が目立った一年ではないでしょうか。しかしながら最後の最後

まで検証、引き継ぎをしっかりとりの締めですのでその辺はぬかりなく委員会みんなで実行したいと思います。

ホームページ運営

1 事業の区分：他2. 広報事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

情報の迅速な提供方法としてホームページはとても有効で欠かせないものだと考えます。今年度も、長井青年会議所の活動をより多くの方々に知って頂くため、ホームページを活用していきます。

4 事業目的

長井J.Cの活動を幅広く発信し、事業への協力と連携を深める。

5 事業の検証方法とその手段

アクセス数、パブリックコメントをもって検証とする。

6 事業概要

ホームページ閲覧者に正確で迅速な情報を提供できるよう、各委員会と連携しホームページ運営を行う。

7 実施日時：通年

9 事業対象者 メンバー全員

1.0 参加者募集方法 メール配信

1.1 決算総額：¥0

平成24年1月1日 サイトオープン

1.7 対外配付資料 資料名内容

1.8 人員配置・役割分担表

1.9 引用著作物の有無 なし

2.0 事業目的達成の検証

2012年アクセス状況（1/1～12/31）

- ・年間訪問者数：3,994（昨年3,000）
 - ・ページビュー数：17,194（昨年8,700）
- 今年からシステムが変わり、ホームページ上の不具合等もございましたが、昨年をこえる訪問者数ページビュー数がありました。以上の結果より「長井J.Cの活動を幅広く発信する」という事業目的は達成できたと考えます
- ・訪問数・滞在時間

2.1 実施上の問題点

- ・一部でリンクが飛ばないなどの不具合があった
- ・事業のPR、報告のタイミングが遅かった
- ・委員会ブログがあまり活用されなかった

2.6 引継ぎ事項

- ・各委員会と連携して、事業のPR、報告は速やかにアップする
- ・システムの不具合や修正等があれば柔軟に対応する事

2.8 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

今年度、ホームページ運営を担当させて頂きありがとうございました。1年間を通して、改めてホームページの重要性、運営の難しさ感じました。現在はfacebookでも長井J.Cのページが作成されており、地域内外の多くの方に、当会の事業に関心を持って頂いております。しかし、今年度は各事業のアップなどが更新されずにいた事や一部システムの不備もありました。次年度も私が担当委員長ですので、今年度の反省点を繰り返さないよう、メンバーの皆様と協力しながら長井J.Cの魅力的な活動情報をいち早く発信していきたいと思っております。1年間ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

担当理事：井上 典嗣

素晴らしい事業や運動を行っても、それを地域の方々が知らなければ、あまり意味のないものになってしまう可能性があります。そのため長井青年会議所の活動を広く発信するツールとしてホームページは非常に重要だと考えます。

今年はアクセス数を見ますと昨年より増えており、長井青年会議所への関心が高まっていることが考えられますが、ホームページの内容がしっかりしていなければせっかく見ていただいても意味がありません。

今年度のホームページは多くの課題が残りましたし、理事の皆様からも多くの意見をいただきました。それを活かし2013年度はしっかりとホームページ運営を心掛けて参ります。

担当副理事長：鈴木 喜典

検証結果からもわかりますように大幅な訪問者数の増加は昨今のSNSからの流入と考えられます。SNSを充実したからこそ本家であるHPを見ていただきたい結果でした。今後もSNSはどんどん主流になっていくでしょうが情報量ではHPにかかいません。HPのしっかりとした充実が組織としてと取り組まねばならないことだと思います。どちらとも正確な情報伝達とそれを見抜く力、発信の方法を切磋し今後の活動に生かしていければと思います。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
9月26日	J C ルーム	19:30~ 21:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄	基本資料について
10月3日	J C ルーム	19:30~ 21:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	基本計画書について
10月7日	J C ルーム	19:30~ 21:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎	基本計画書について
10月20日	J C ルーム	19:30~ 21:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎	基本計画、年間事業計画予算書について
10月25日	J C ルーム	19:30~ 21:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎	基本計画、年間事業計画予算書について
11月10日	J C ルーム	19:30~ 21:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	基本計画、年間事業計画予算書について
11月18日	J C ルーム	19:30~ 22:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎	基本計画、年間事業計画予算書について
1月12日	J C ルーム	19:30~ 22:30	井上 典嗣、梅津壮一郎 影山 孝史	3月スポーツ例会について 夢灯について
2月10日	長井市勤労 センター	19:00~ 20:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史 (オブザーブ) 吉田理事 長・板垣専務	3月スポーツ例会について (ソフトバレー交流会 シミュレーション)
2月17日	J C ルーム	19:30~ 23:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎 影山 孝史	3月スポーツ例会について 夢灯について
2月21日	上 山 市	15:00~ 16:00	井上 典嗣、梅津壮一郎	夢灯について 上山JC直前理事長・ミニSL愛好会メンバー と打ち合わせ
3月13日	J C ルーム	19:30~ 22:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	3月スポーツ例会について 夢灯について
4月2日	J C ルーム	19:30~ 22:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎	長井駅周辺整備事業について 夢灯について
4月12日	J C ルーム	20:00~ 23:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	長井駅周辺整備事業について 夢灯について
4月23日	J C ルーム	20:00~ 23:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎 影山 孝史	スポーツ例会決算報告について 長井駅周辺整備事業について、夢灯について
5月15日	J C ルーム	19:30~ 21:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史	夢灯について

5月24日	J C ル ー ム	19:30~ 23:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄	夢灯について
6月4日	J C ル ー ム	19:30~ 23:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史	夢灯について
6月11日	あやめ公園	17:00~ 19:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史	夢灯について (現地調査、大型ランタン備品購入)
6月22日	あやめ公園等	17:00~ 19:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	夢灯の最終確認 (備品積み込み、道路看板設置など)
7月9日	J C ル ー ム	19:30~ 22:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史	夢灯事業報告について 地域防災セミナーについて
8月1日	J C ル ー ム	19:30~ 22:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎 影山 孝史	地域防災セミナーについて
9月2日	長井高校	9:00~ 12:00	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎	山形県・長井市合同総合防災訓練 ボランティアセンター設置運営訓練に参加
9月11日	J C ル ー ム	19:00~ 20:15	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	地域防災セミナーについて 長井駅周辺整備事業(秋)について
10月17日	J C ル ー ム	17:30~ 18:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	地域防災セミナーについて クリスマスパーティーについて フラワー長井線まつりについて
10月26日	J C ル ー ム	19:00~ 21:00	鈴木 喜典、梅津壮一郎 影山 孝史	地域防災セミナーについて クリスマスパーティーについて
11月8日	J C ル ー ム	19:30~ 21:00	井上 典嗣、梅津壮一郎	地域防災セミナーについて クリスマスパーティーについて
11月12日	J C ル ー ム	19:30~ 23:01	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、影山 孝史	地域防災セミナーについて
12月10日	J C ル ー ム	19:30~ 21:30	鈴木 喜典、井上 典嗣 梅津壮一郎、那須 丈雄 影山 孝史	クリスマスパーティーについて

事務局 事業報告書

- 専務理事 板垣 洋一 ●事務局補佐 梅津 敦
●事務局長 佐藤 真光 ●事務局補佐 風間 正志
●事務局補佐 大竹 貴之

議長所感

今年度、公益社団法人格を取得し、組織進化を進める中で暗中模索ではありましたが、事務局として何とか様々な変化の中でも対応できたのではないかなと感じております。そして、事務局一人ひとりが確固たる責任と役割をしっかりと持ち、新しい組織の在り方を理解しながら、組織の原動力として活動出来たのではないかと思います。

何より、事務局内の雰囲気は頗る良く、「君と一夕話」を積み重ねながら1年を楽しく過ごしてきたことに充実感をいただきました。事務局内の各種庶務や渉外業務、7つの担当例会をこなせたのもこの良い雰囲気があったからこそだと思います。吉田理事長、板垣専務、大竹補佐、風間補佐、梅津補佐、本当にありがとうございました。そして、ご協力とアドバイスを頂きました多くのメンバーの方々、ありがとうございました。今後とも、互いに成長出来る組織を多くの仲間と共に作り上げていく事を目標に活動していきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

年間事業報告

新春賀詞交歓会

1 事業の区分：他2 広報事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

長井JCとして、活動エリア内の行政関係者や各種団体の代表者、諸先輩といった各方面の方々をお招きし、2012年度の長井青年会議所の活動を発信していくことが引き続き必要であり、全メンバーが新春の時期に当年度の事業をしっかりと理解し、それぞれの意識を高めることが望ましい。また、多くの方々と触れ合うことで、互いに理解し尊重する関係性を保ち、今後のより良い事業展開に結び付けられるような機会が必要である。

4 事業目的

JC活動に対する意識向上と地域の発展を追求する。

5 事業の検証方法とその手段

交歓会終了後、アンケートを実施する。交歓会そのものに対するご意見や外部から長井JCに望むこと、会の中で話し合った些細なことなど、アンケートに記入してもらい、事務局内で集計し検証した。

6 事業概要

これまで長井JCと関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2012年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを周知した。同時に、全てのJCメンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、JC活動への参画意欲を向上させる様な設会で開催した。

また、それぞれの団体の方々やOBの方々との懇話を通して情報交換と懇親を深め、今後のまちづくりの更なる協力体制を構築する機会となったと考えられる。"

7 実施日時：2012年1月19日(木) 18:30～
(神事・受付開始 18:00)

8 実施場所・会場：はぎ苑

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー・行政関係者・まちづくりに寄与して

いる関係諸団体・長井青年会議所OB

10 参加者募集方法

招待者リストを作成し、招待状を発送した。また、直接会う機会があれば手渡しにて案内した。

11 決算総額：¥27,518

14 参加員数

◆内部				
担当委員会	【計画】	5名	【実施】	5名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	13名
仮会員	【計画】	0名	【実施】	1名
◆外部				
関係団体 来賓	【計画】	15名	【実施】	15名
長井JC OB	【計画】	13名	【実施】	13名
合計	【計画】	57名	【実施】	47名

15 外部協力団体及び協力種別 長井JC OB協会協力

16 実施プログラム

- 18:00 神事
18:00 受け付け開始
◇2012年度の基本方針並びに事業計画発表する
※新館のステージ側の後方のスペースで実施
18:30 開会の挨拶 鈴木副理事長
18:31 国歌斉唱
18:33 JCソング斉唱
18:35 JCIクリード唱和 樋口担当理事
18:36 JC宣言文朗読並びに綱領唱和 井上担当理事
18:37 理事長挨拶 吉田理事長
18:45 来賓紹介 板垣専務
18:48 来賓祝辞(長井市長 内谷重治様・JC OB会長 ご名代 飯田武志様)
19:00 2012年度理事役員の紹介
※スポットライトをはぎ苑さんをお願い
19:10 2012年度基本方針、事業計画発表各委員会の担当副理事長と専務理事により発表
会場移動※司会が案内
◇宴席を新館の前方のスペースで実施
19:25 鏡開き
乾杯 横山直前理事長
19:45 2011年度事業のスライド上映
20:00 新入会員紹介 板垣専務
20:30 中締め(社)長井教育会 渡部秀一様
20:35 閉会の挨拶 遠藤副理事長

17 対外配付資料 資料名内容

1. 新春賀詞交歓会 当日配布資料(次第)
2. 新春賀詞交歓会 席次
3. 2011年度 広報誌「あゆみ」
4. 2012年度新春賀詞交歓会招待状
5. 2012年度新春賀詞交歓会席次
6. 2012年度新春賀詞交歓会礼状
7. 2012年度新春賀詞交歓会案内ハガキ

18 人員配置・役割分担表

事務局内役割		当日役割
招待者リスト作成	全員	司会 佐藤
招待状作成・発送	風間	JCIクリード 樋口担当理事
メンバー出欠確認	梅津	JC宣言・綱領 井上担当理事
上映スライド制作	大竹	来賓紹介 板垣専務
当日配布資料作成	佐藤	新入会員紹介 板垣専務
席次構成	佐藤	スライド上映操作大竹
		受付 風間・梅津

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

アンケートや聞き取り調査の結果、出席された大体の方から新春賀詞交歓会が有意義な時間であったとの回答を頂いた。また、交歓会中に様々な話をした中でも、対機的なご指導やまちづくりに対する話、今年の事業に関する話が出来たとお聞きした点もあり、新春賀詞交歓会自体の意義は十分果たされたものと考えております。

◆アンケート結果◆

8割の方が来賓の方と会話が出来たと回答。同様に、8割の方がJCOBの方と会話が出来たと回答。

5割の方が、これからの公益社団法人長井青年会議所に対するご意見をお聞きできたかと回答。

8割の方が、有意義な時間であったと回答。

メンバー間での当年度の事業をしっかりと理解し、それぞれの意識を高めることができたかどうかという点では、フォロアメンバーの出席率が悪い中では十分とは言えないのが実情だと思われま

21 実施上の問題点

【運営面】

懇親会の時間が短いと感じられたことが、今回の最大の問題点。これに関しては、事務局内での計画していた実施プログラムと当日シナリオの時間帯が間違っていたことが原因であり、事務局内での確認が不十分であった。

また、全体的に準備不足の点は否めなかった。しっかりとリハーサルをすべきであった。

【予算面】 なし

【その他】

現役メンバーの出席が29名中18人で、理事役員の出席率は高かったものの、フォロアメンバーの出席率が低かった。検証の為のアンケートだが、回答数が6名からと大分少ない。

26 引継ぎ事項

新春賀詞交歓会はこれまで継続的に行われた事業でもあるが、これからの考えた場合、今一度大々的に外部からの来賓を多く募って実施するか、あるいは実質的に内部だけの新年会のような位置付けで行うかなど多角的に検討する余地があると思われる。ただ、外部に公益社団法人長井青年会議所としての方針や事業を発信することは重要であると思われる。

メンバー間での当年度の事業計画の内容をしっかりと把握できるような設えは必要であるが、メンバーが集まらない限り実質的に難しいと考えられる。予定段階での資料を全員でしっかりと読み合わせたり、その後フォロアメンバーからも意見を摂取できるように設えだったりを今後しっかりと検討すべきである。(※総会とは別に)

また、新春賀詞交歓会のような外部の方を招くような式典事業ではリハーサルをしっかりと行う事が肝要である。"

28 各担当者所見

事務局長：佐藤 真光

2012年度はじめての事業として、いい雰囲気の中で開催できたのではないかなと感じております。出席いただきましたメンバーの皆様には改めて感謝申し上げます。

年度はじめての事業であるからには、今年度の全事業がすごい勢いそのまま展開できるようにと意気込んで開催に臨みましたが、結果的には様々な問題点、課題点が見えており、新春賀詞交歓会開催自体の意義も改めて感じているところです。詳しくは問題点及び引き継ぎ事項に記載させていただいている通りです。

また、基本方針並びに事業計画発表会と賀詞交歓会を2部構成で行ったわけですが、これについては初めての試みとは言え、JC活動に対してより一層のご理解をいただけるような形となったのではないかと考えております。当日は私自身カミカミの司会役になってしまったりも、お見苦しい点もありましたが何とか終了できました。今はホッとしているところです。また万事努めて今後の事業に当たってまいりますので、今後とも宜しくご協力のほどお願いいたします。

専務理事：板垣 洋一

年初の事業ということで前年度の決算、予定者会議、総会準備とやる事がたくさんある中ではありましたが、事務局の枠を超えて他のメンバーの方々に助けていただきながら無事成功裏に終了することができた事業であったと思います。協力していただいたメンバー、また当日忙しい中参加していただいたメンバー皆様に感謝いたします。

例年までとは異なり、前半の方針発表の部分と宴席を完全に分けた形で開催しましたが、方針発表の部分に関しましてはだらだらとした雰囲気もなく引き締まった気持ちで会が進み、非常に良かったように思われました。対照的に後半の懇親会の部に関してはメンバーも来賓も会話が弾み、全体として友好的に交流が図られたように感じました。

ただ、私の不注意によって中締め時間が繰り上がり、折角盛大に盛り上がっていた懇親会に水を差すような結果となってしまったことは、メンバーおよび来賓者に非常に申し訳なく、慙愧に堪えません。今後の事業や活動の中でこのようなことが無い様注意を払っていきたいと思います。

次年度以降の事業の在り方としては、時勢とLOMの雰囲気に従って例年の形に囚われることなく臨機応変に招待者、プログラムなどを変化させて開催していくことが望まれるのではないかと思います。

改めて、大きな問題もなく無事業が完了されたことを会員皆様に感謝しております。ありがとうございました。

山形ブロック会長公式訪問例会

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(4) 国際青年会議所及び公益社団法人日本青年会議所及び国内外青年会議所並びにその他の諸団体と連携し、相互の理解と親善を増進する事業

3 事業実施に至る背景

JC運動は様々な地域で発信されておりますが、山形ブロック協議会から発信する、ブロックだからこそ出来る運動があります。山形ブロック協議会とLOMが思いを一つにし、協働することが大切です。

4 事業目的

山形ブロック協議会と連帯意識を抱きながら協働する。

5 事業の検証方法とその手段

参加メンバーから感想を聞きとった。

6 事業概要

2012年度、山形ブロック協議会の事業計画や方針を聞いて、山形ブロック協議会会長の思いや組織としての動き方をしっかりとメンバー内で理解してもらおうといった内容。

7 実施日時：2月16日(木) 19:00～

8 実施場所・会場：長井市 タスパークホテル 3階アイリス(懇親会会場：2階コンベンション2)

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 メルマガ配信・メールでの案内

11 決算総額：¥0

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 5名 【実施】 5名

その他メンバー 【計画】 24名 【実施】 11名

合計 【計画】 29名 【実施】 16名

16 実施プログラム

セレモニーに関しては、別会場にて、開始15分前に簡略化して実施する。監事講評は終了後行う。

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表 特になし

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

エリアごとに開催される毎年恒例の公式訪問であります、事

業後のメンバーの意見をお聞きすると、ブロックの事業に関しての各委員会の説明に対しては物足りなさがあつたような感じがするというのが率直な意見だったような気がします。

山形ブロック協議会会長の思いや、組織としての動き方をしっかりとメンバー内で理解してもらうこととブロック協議会との連帯意識を持ってもらうことを目的に上げてはおりますが、本当の意味で達成感を感じられないメンバーが多いと思われるます。

それでも、懇親の部では多くの方との語らいを通して、お互いにJC活動の意義を高められたのではないかなと考えます。

2.1 実施上の問題点

- 【運営面】 特になし
- 【予算面】 特になし
- 【その他】

今回の事業は、当エリアでは長井JCが受け持つこととなり、会場設営等でこちら側が主体となり動かなければなりません。しかし、当日の準備品等がこちら側に連絡がなく、開催間際になってブロックの議案書を見て初めて準備品を認識しなければならないような状況にありました。ブロックと各LOMとの連携を図る事業にもかかわらず、事前の準備段階でこのような状況は問題ありだと思わざるをえません。

2.6 引継ぎ事項

ブロック協議会の主催の事業や他LOMメンバーとの交流の場もある今回のような事業は、参加してこそ意味のある事業です。今回、第4エリアの開催地として長井で行われ、多くのメンバーに参加いただきました。多くの仲間との交流やブロックや他LOMとの今後の連携推進を図る為には、とにかく参加することです。無論、開催地が当LOMでなくとも今回のようにメンバーが集まったなら最高だと思います。

メンバーへの参加推進が今後とも必要だと思われまます。

2.8 各担当者所見

事務局長：佐藤 真光

プロ長公式訪問例会は多くのメンバーに参加いただき、大変ありがたく感じております。また、事務局としては1月の新春賀詞に続いての事業であり、多くのご協力を頂きながらの開催でありました。理事長、専務、そして直前理事長には多大なるご協力いただきまして本当に感謝感謝です。

今後、ブロック協議会や他LOMと連携した事業が開催されると思いますが、メンバーの方には引き続き積極的にご参加いただき、主体性を持ったJCライフを過ごして頂ければと思います。

専務理事：板垣 洋一

ブロック会長公式訪問が例会扱いであったこともあり、多くのメンバーに参加していただけたことに感謝いたしております。設営に当たって主催者であるブロック協議会と開催地LOMである私達の双方の立ち位置がいまいち釈然としないまま事業展開してしまいましたが、もう少しどちらがどんな役割を負うべきか等、ブロック事務局側と話し合っていくべきであったと個人的に反省しております。

今年度の日本JCの方向性、地区、そして山形ブロック協議会の行おうとしている事業について会長自身の言葉で説明される貴重な会議でありましたが、参加された会員全体が真摯に聴き入っており、個人個人の今年度JCに関する理解に結び付けておるようでしたので、例会の目的は達成されたと思っております。

この後も会員会議所会議であったり、置賜合同例会であったり、長井に他LOMメンバーが集まるような事業がございますので、その際にも多くのメンバーに参集していただきたいと思っております。

ふるさとOMOIYARIプロジェクト2012

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

私たちの住む郷土は多くの自然に囲まれ四季の移ろいを感じと

れる素晴らしいところで自然と共存してまいりましたが、この豊かな自然は私たち自身の手によって様々な「環境問題」へと変化し、地球規模で解決していかなければならない問題のひとつになっており、その為、ひとりひとりが環境に対する意識を向上させ、身近なところからOMOIYARIの心を持って緑豊かできれいな環境を自分たちの手で作り出す事が重要だと考えました。

山形ブロック協議会の協働運動推進事業である「ふるさとOMOIYARIプロジェクト」は2008年に始まり、今年で5年目を迎える事となりました。県内17LOMで一斉に実施される最上川クリーン作戦に参加する事によって、「OMOIYARIの心」の広がり自分たちの地域が誇りに思えるような環境作り積極的に関わることが必要であると考えました。

4 事業目的

環境問題に対しての意識と郷土愛の醸成

5 事業の検証方法とその手段

参加人数・収集状況・参加者の意見を聞き取り、どの程度意識付けられたかで検証しました。

6 事業概要

「OMOIYARIプロジェクト2012」は県内17カ所で行われ、同日一斉に清掃活動を行っており、長井青年会議所としては長井市の最上川河川緑地公園内に於いて清掃活動を実施しました。メンバーはもちろん、家族、一般の参加者を交えながらゴミ拾いや除草作業も行いました。

7 実施日時：2012年6月3日(日) 8:00~

8 実施場所・会場：最上川河川緑地公園(長井橋付近)

9 事業対象者

メンバー及びそのご家族、広く一般の方

10 参加者募集方法

チラシ・ポスターによる周知作業と知り合いへの声かけにて参加者を募りました。また、JCメンバーはじめ、そのご家族にも参加頂きました。

11 決算総額：¥0

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	5名	【実施】	4名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	11名

◆外部

合計	【計画】	10名	【実施】	35名
	【計画】	39名	【実施】	50名

15 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕山形銀行、米沢信用組合、勤労センター利用者の会(U.R会)

16 実施プログラム

実施プログラム(案)6月3日(日)参加者を3班にわけ、清掃場所の分担を行った。

- ・7:20 事務局集合1班
- ・7:30 メンバー集合2班
- ・7:50 参加者集合3班
- ・8:00 事業開始・理事長挨拶
 - ※清掃活動(ごみ拾い)は1時間程度
- ・8:05 作業手順の説明
- ・8:15 作業開始(河川周辺清掃)除草作業については、公園内の花壇付近を参加者全員で行った。
 - ※ゴミの分別を行う
- ・9:15 除草作業(公園内花壇清掃)※除草作業は50分程度で切り上げた。
- ・10:05 後片付け
- ・10:15 御礼と閉会の挨拶
- ・10:20 終了

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

清掃作業 班分担エリア	事務局担当
1 班駐車場エリア(橋の下) 花壇エリア	: 大竹
2 班土手エリア	: 板垣
3 班噴水エリアグラウンドエリア	: 井上
ゴミ分別班担当	: 板垣専務
指定ゴミ袋準備担当	: 板垣専務

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

当初の計画よりも多くの外部参加者を募ることができ、全体で50名もの参加員数となった。河川敷に中々来た事がない方が、思ったより細かいゴミが落ちている事に気付き、参加者全体が一体となって住み良い街にしようと気持ちを込めてゴミ拾いを行っているようで、小さなゴミも見過ごさず、きれいになるように心がけて作業していたようです。ゴミの量としては小さなゴミは結構あるものの、量的にはそんなになかったようです。参加者のご意見をお聞きすると、身近にあるゴミに対しての意識やマナーに対する意識付けもしっかりとなされたようですし、自分達のまちは自分達の手で作る上げるんだという想いもしっかりと持っていたいただいた事業だった考えられます。総合的に言えば、OMO I Y A R Iの心と言われる心構えは参加者にとってしっかりと持っていただけのように感じます。

21 実施上の問題点

【運営面】

早い段階でブロック担当委員会との打合せをすべきだった。もっと早い段階で外部団体への協力体制構築を築いておくべきだった。

【予算面】 特になし

【その他】

参加者の一部から、最上川の河川敷以外にも野川の河川敷もしたらどうかといった意見があった。参加者が駐車しやすいような駐車案内があった方がよかった。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
参加対象を一般の方とし、ポスター・チラシ・HPにより広く公開していることから、受益機会は均等である。
②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。(例: テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか)
山形県内の17会場での同日一斉清掃活動であり、多くの方が参加される当事業は、自分たちが住む地域の環境認識に対するプログラムであることから公益性のある事業と考えられる。
③体験活動に専門家が適切に関与しているか。
特に関与なし

26 引継ぎ事項

- ・おそらく継続事業として成り立っているため、早い段階でブロックの担当委員会に段取りの面でLOMからアプローチを掛けると事業的に上手く構築できる。
- ・外部への協力に関しては、これも早い段階に済ませている事に越したことはない。
- ・実施場所に関して、例年河川公園で行っているが他の場所を検討しても良いと思われる。
- ・個人的な意見としては、フラワーボランティアと抱き合わせて

も良いような気がする。検討お願いいたします。

28 各担当者所見

事務局長: 佐藤 真光

当事業に関しては、私の認識不足もあり、事務局の担当事業として開催間際まで忘れていた状態でございました。前段階からの準備不足もあり多くの方に迷惑をおかけしました。また、当日も参加できずに大分他の方にお任せしてしまい大変申し訳なく思っております。ただ、当日参加されたメンバーやフォローして下さった方々、誠にありがとうございました。

当事業に関しては、今後も継続しての形が予想されます。ブロックとの協働意識は勿論ですが、柔軟な発想のもとLOMでしっかりと消化できるよう事業構築が必要だと考えます。個人的な意見としては引き続き事項に記載の通りですので、是非ご検討頂けたらと思います。

専務理事: 板垣 洋一

予定者段階で事業として計画しておくにもかかわらず開催段階となってからの上程となってしまい、誠に申し訳なく思います。ブロックの担当委員会とのすり合わせが十分ではない中ではありましたが、メンバーのお力添えと協力団体、一般参加者の皆様に熱心に清掃作業を行っていただいたおかげで無事、事業を終了することができました。参加していただいた皆様本当にありがとうございました。

今後の課題としましては引き続き事項に記載しておおりでございますが、最上川河川公園の清掃活動だけでは物足りないような感じしますので最上川に囚われずより幅広い美化活動を行ってもよいのではないかと個人的に感じました。

次年度理事長候補者所信発表例会

1 事業の区分: 他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

2013年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要であり、柱となる理事長所信にある内容を全メンバーで共有する機会が必要である。

4 事業目的

次年度の方向性を理解し、地域に有益な活動の実現を図る。

5 事業の検証方法とその手段

アンケートを実施し、各メンバーの次年度に対する理解度を検証する。

6 事業概要

2部構成の例会を行った。
例会の第1部に月輪観といった瞑想や仏様をなぞる写真などの仏教体験を実施し、一人ひとりが自分と向き合い、今年度後半のJC活動、あるいは次年度の活動に向けてもすがすがしい気持ちで臨んでもらえるように構成した。

そして、第2部に次年度理事長候補者に所信を発表してもらった。2013年度の長井青年会議所の方向性をLOMメンバーが深く理解し、地域の発展のために自分たちに何ができるのかを一人ひとり考えるきっかけとしてもらい、そして、次年度の活動につなげていく機会とした。

また、9月例会は100%例会を目指し案内や個別連絡をメンバーに行ったが、結果的に達成出来なかった。

7 実施日時: 2012年9月20日(木) 19:00~

8 実施場所・会場: 長井市 大町 摂取院

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法

電子メール及び同報FAXで案内と電話連絡

11 決算総額：¥10,000

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	5名	【実施】	5名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	15名
合計	【計画】	29名	【実施】	20名

15 外部協力団体及び協力種別

摂取院協力

16 実施プログラム

19:00 例会セレモニー
19:10 開会、趣旨説明
19:15 第1部 仏教体験会 担当：佐藤事務局長
勤行（読経）5分
瞑想（月輪観）15分
写仏25分
（鉛筆を一人ひとり、カッターで削ってもらった後）に写仏をしてもらう）
第1部終了
20:00 第2部 次年度理事長候補者所信発表
※約50分間（あくまで目安）で次年度理事長候補者に所信を発表していただく
※紙資料配布（所信）
20:50 アンケート実施
20:55 監事講評
作務（掃除）
第2部終了
21:00 例会終了

準備品：スクリーン、プロジェクター、鉛筆、写仏お手本、クリップ、カッター、写仏用紙、アンケート、ティッシュ、当日資料、勤行次第、ミネラルウォーター

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

当日会場設営は、事務局で行う。
とくに役割分担といった部分で細かなところは無いが、第1部の仏教体験会に関しては佐藤事務局長が担当する。

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

次年度理事長候補者の所信をしっかりと理解し、次年度においてやるべき事を明確に想像できましたか？という設問に関しては、理解の度合いは違うかもしれませんが、出席者全員より理解できたとの回答いただきました。所信に対して共感した部分に関しての設問には、まちづくりそのものや次年度理事長候補者が掲げている正義という部分に共感を抱いているメンバーが多く、しっかりと次年度の言葉を聞いて、それに応えようとする気持ちが表れていたように感じます。それはメンバーの抱負の設問のところでも顕著に表れていると思います。

このことから、次年度の方向性を理解し、地域に有益な活動の実現を図るための前準備ができたと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】

プロジェクターでのPDF資料が見えづらく、事前の確認が必要であった。

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

26 引継ぎ事項

次年度所信発表例会は、これまで所信発表の部分とは別に向向者の中間報告や会員拡大ミーティングなど様々な設えがあったかと思いますが、今回は仏教体験といった事もさせていただきましたが、その年その年必要とされているものや、変わった設えを柔軟に対応いただいて、今後も次年度理事長候補者の所信発表が有意義なものとなる事を望みます。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤真光

9月例会に出席頂きましたメンバーの皆様方ありがとうございました。100%例会を目指しましたが、達成することはできま

せんでした。これが長井JCの現状であるということ再認識しました。しかし、ここ最近の例会出席者は確実に上がってきていると感じております。今後、メンバー一人ひとりが意識して、例会そのものを大切にしていきたいと思っております。そして、実が結んで100%例会を実施できる日を楽しみにしたいと思っております。

また、今回仏教体験の部分を取り仕切りさせて頂きました。私自身はじめての試みのところもあり多少不安ではありましたが、皆様から好評を頂きまして、ホッとしているところです。今後とも楽しみの部分を含めた形で事業展開ができれば、魅力あるものに更なるのではないかなと思います。本当にありがとうございました。

専務理事：板垣洋一

参加、協力いただいたメンバーの皆様、会場をお貸しくださった神尾先輩、本当にありがとうございました。事務局長が自ら取り仕切っていただいた1部の仏教体験、また、2部の次年度所信発表共に非常に有意義な時間をメンバー全体で共有できたのではないかなと強く思っております。この思いを胸に燃やしつつ次年度の活動に邁進していければ本望でございます。この度の例会を100%例会と位置付けて取り組んだわけですが、改めてメンバー個人個人の参加意欲を湧き上がらせる難しさを痛感しました。一部のメンバーの努力では成し得ないことですので、今後の例会、事業においても引き続き参加意欲を持って出席して頂ければと考えております。次年度こそ100%例会が実現できるようにも尽力したいと思います。皆様本当にありがとうございました。

ブロック会員大会地域活性化からいちへの参加協力について

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

本年山形ブロック協議会では、『公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 第45回山形ブロック会員大会新庄大会』と題し、県内の青年会議所会員を一同に集めた大会を新庄市で開催致します。その中で、各地域のたからを一同に集め、県民に発信する『地域活性化からいち～やまがた17魂祭～』が行われます。県民に開かれたこの大会の中で、県内に潜在する「地域のたから」を一同に集めて体感していただくことで、「やまがた」の魅力を確認し、故郷への誇りの醸成に繋がります。そこで長井には歴史と伝統があり地域の誇りである『ながい黒獅子まつり』を長井の「たから」として県民に発信したいと考えております。

4 事業目的

長井・西置賜の魅力地域外の県民に発信する。

5 事業の検証方法とその手段

山形ブロック協議会において行うアンケート結果をもって検証をします。

6 事業概要

『地域活性化からいち～やまがた17魂祭～』は、やまがた祭りの祭典と、地域のたからブースの大きく二つの内容でした。やまがた祭りの祭典は、17会員会議所より推薦された、主に各地のお祭り（神輿・山車・踊り）が一堂に集い、各地域の魅力を県民へ発信する機会となりました。メイン会場である新庄駅前ふれあい広場から、当日歩行者天国となる駅前商店街をパレードし、長井からは総宮神社に参加協力をお願いし、黒獅子舞を披露しました。

7 実施日時：2012年7月8日(日)

16:30～18:00

8 実施場所・会場：アビエス 新庄駅前ふれあい広場から駅前通商店街

9 事業対象者 当日来場される一般市民

10 参加者募集方法

ポスターチラシを配布する。山形ブロックとしてチラシ1200枚、ポスター150枚を準備。
(その内、長井ではチラシ20枚、ポスター15枚を割り当てられ、長井市内に掲示と配布を行った)

11 決算総額：¥130,000

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 5名 【実施】 4名
その他メンバー 【計画】 24名 【実施】 9名

◆外部

総宮神社獅子舞保存会 【計画】 20名 【実施】 19名
合計 【計画】 49名 【実施】 32名

15 外部協力団体及び協力種別

〔協力〕 総宮神社、総宮神社獅子舞保存会

16 実施プログラム

11:00 長井出発 (総宮神社獅子連)
※JCメンバーは事前に新庄入り
13:00 新庄到着
14:00~15:00 やまがた祭りの祭典 集合・受付
15:30~16:00 全体ミーティング
16:30 演舞開始
18:10 演舞終了
19:00 撤出開始
20:00 終了

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表 特になし

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

ブロック協議会でのアンケート結果から見ると、
・参加した老若男女多くの方に笑顔が溢れ地域の魅力を堪能している姿を見ることができた(メンバーアンケートより)。また、参加した50%の人が地域の魅力を地域の伝統芸能であると言っている。(一般アンケートより)
・地域活性化からいちに県内すべての活動エリアから参加頂けたことで山形の魅力として発信できた。また、他の地域のたからを見ることで、自分の地域のたからが再確認でき、より力強く発信することができた。
等の記載があり、協議会内においての目的達成度合いは初めての試みとしては成功の位置付けであると判断いたします。

当LOMとしては、黒獅子と長井の物産販売等を行いました。アンケート結果内には特出したそのものの記載はありませんが、十分に長井・西置賜の魅力を地域外の県民に発信出来た事は、当日参加されたメンバーが一番感じていると思いますし、同じように参加された一般も含めた方々も感じ取って頂けたと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】 特になし

【予算面】 特になし

【その他】

参加要請をする団体へのやり取りや、その他ブロックへの手続き、LOM内での処理等、事前の動きが明白でない。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

9. 展示会、〇〇ショー

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

県内に潜在する「地域のたから」を一同に集め体感していたことで、「やまがた」の魅力を再確認し、故郷への誇の醸成に繋げる事を目的とした大会であり、会場が新庄駅前、自由かつ、無料で見学することができ、県民に開かれた事業と言える。またチラシポスター等で広く告知を行っている。

②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例：テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。

参加するお祭りの条件として『各地域で伝承される地域のお祭りであり地域の顔となっているもの』または『その地域住民が愛し、地域性が感じられるもの』としており、長井市において歴史のある「ながい黒獅子まつり」はテーマから逸脱する事はないと考えられる。

③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例：出展料に不当な差別がないか)

ながい黒獅子まつりの主催者である長井市観光協会に協力を依頼し、長井市外への派遣の実績がある皇太神社と総宮神社を紹介頂いた。

26 引継ぎ事項

ブロックからの依頼に関しては柔軟に対応をするほかなし。ある程度の事前の情報把握は必ず必要である。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤 真光

大会当日参加頂きましたメンバーの方々、そして大会そのものの設営等に尽力されたメンバーの皆様方大変お疲れさまでした。事務局としては、今回の参加協力の案件について言えば、多くを理事長・直前理事長・専務理事に進めて頂いた状況もあり、事務処理の部分だけの対応となってしまいました。大変ありがたく感じております。私自身たからいちに参加しまして、地域の魅力を一斉に会する場というものを堪能致しました。そして、その中で黒獅子の堂々たる風格は素晴らしいものでした。来年、再来年とまたこの事業に携わる者として、これから如何に進化をしていくのか楽しみでもあります。まずは、ご協力頂きました皆様方大変ありがとうございました。

専務理事：板垣 洋一

参加、協力していただいたメンバーの皆様、また急なお願いにもかかわらず協力して下さった総宮神社獅子連の皆様、地場産業振興センターの皆様、そして当日はるばる新庄の地まで足を運んでいただいた一般の皆様、本当にありがとうございました。到底、私達だけでは成し得ない事業であったと思います。大変な思いもしたましたが、新庄の地で長井西置賜の魅力を十二分に発信できたのではないかと安心しています。大会は次年度以降も続くと思いますが、事前の情報共有であったり、協力団体との連絡調整などスムーズな連携が取ればなお大きな成果をあげられるのではないのかなと思っております。今後の更なる発展を期待しております。ありがとうございました。

7月例会 会員拡大ミーティング

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

ここ近年における青年会議所全体の会員動向を見てみると、新入会員数よりも卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいるのが現状であります。もちろん、長井青

年会議所も同じ状況であることなどは言うまでもありません。
当会議所はここ3年で約10名もの会員の減少し、全会員数が30名を切る状況にあります。また、会員大会誘致を検討している2年後の2014年度には7名もの卒業者が見込まれます。会員の拡大は早急に取り組むべき課題であり、全メンバーが会員拡大について積極的に取り組んで行かなければなりません。今年度も7月に入り、半分を折り返しました。再度全メンバーに、現在の状況への危機感や拡大の重要性を認識してもらい、会員拡大に対する意思統一を図らなければならないと考えます。

4 事業目的

メンバー一人ひとりが主体性をもって会員拡大に取り組み、会員の拡大を図ることを目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

会員拡大の目標人数を定め、会員拡大の実績数を持って検証とする。

※目標人数は、理事長が提唱する3・3プランから9名とし、30%の拡大を目指す。

6 事業概要

会員拡大ミーティングを開催した。メンバー数の現状を把握し、会員拡大の重要性や一人ひとりが拡大担当者であることを再認識してもらうため、具体的な手法等も会員同士で話し合いをもち、全メンバーが会員拡大の動きを現実的に起こしてもらえようというミーティングに行った。

7 実施日時：7月31日（火） 19：00～

8 実施場所・会場：大竹電気工事株式会社 会議室

9 事業対象者

公益社団法人 長井青年会議所 全メンバー

10 参加者募集方法

メール配信及び同報FAXによる周知と各委員会内での呼び掛け

11 決算総額：¥0

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	5名	【実施】	5名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	11名
合計	【計画】	29名	【実施】	16名

16 実施プログラム

19：00 例会セレモニー

19：20 会員拡大ミーティング開催

主旨説明

ミーティング内容 ※座長：理事長

会員候補者リストの全メンバーでの精査と担当割り

・・・60分（予定30分）

（会員候補者のリストアップも含めた形で）

会員候補者リスト_2012_最新. xls

今後の会員拡大の具体的実行手法の話し合い

・・・10分（予定20分）

会員拡大実行の為の今後のスケジュールについて

・・・10分（予定20分）

20：40 監事講評

※監事兩名とも欠席の為、横山直前理事長より監事講評

20：45 例会終了

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

ミーティング座長 吉田理事長

進行・説明 佐藤事務局長

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

12月30日現在

7月例会以降に新たに入会された方は0名。

事務局に面談報告があがってきている方は6名。

会員候補者面談シート. xls

ほか、報告書無しで事務局として把握している会員候補者の方

は3名。

会員拡大の実績数をもって検証とするとしていることから、実績数では0名であり、実質的には目的達成は出来ていない。

21 実施上の問題点

【運営面】

参加人数が16名ということで、全会員の共通認識として会員拡大の意義付けができたかというといまいち効果薄であった。

ミーティング内容が候補者の担当決めに大分時間を割いたため、その他の部分が疎かとなった。

今後の会員拡大の具体的手法の話し合いについては、結果的に有耶無耶な部分があった。

⇒事務局内で会員候補者リストの再精査⇒担当者の記載⇒候補者リストの配信

⇒担当者が候補者を訪問⇒会員候補者面談シートを事務局に提出

※実質的にこのやり方が妥当なのか、もっと議論をすべきであった。

※また、事務局側が手法に関して提案する形を求められたため、

終始メンバーから具体的な意見が出なかった。

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

26 引継ぎ事項

事業自体の責任の所在をはっきりする為には、担当部署をしっかりと設けることが重要である。

会員拡大ミーティングは何度も重ねる事が必要であり、意識付けと危機的現状をしっかりと認識してもらう事が必要である。

会員拡大を実行するにあたり、具体的手法とスケジュールを計画的に組み立てることが必要である。

個人プレーより、組織的に会員拡大を実行するような手立ても考えることが必要である。

会員候補者に訪問担当者を決めるだけでは不十分。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤 真光

急遽の設えでの例会開催となり、準備不足な部分は多少なりともあったと感じております。また、例会開催後の動きにしても事務的庶務をただこなすだけの状況となっており、担当した者として無責任でありました。そして、結果的に新入会員0名という事で目的達成には至りませんでした。改めて会員拡大の難しさを実感し、反省するところです。現状、全メンバーで会員拡大に取り組もうとする姿勢になるまで時間はかかるかもしれませんが、とにかく全メンバーが主体的な気持ちになるために、何度となくこういった機会を設けることが必要かなと思います。今後に期待するとともに、自分自身会員拡大の意識をもっと高めていきたいと思っております。

専務理事：板垣 洋一

突然の発案で時間のない中急ごしらえで開催した会員拡大ミーティングですが、結果に結びつかなかったことは誠に残念であります。ミーティングの形や内容に関してももっと試行錯誤を重ねながら効果的な方法を探っていく必要性を感じました。結果を理事等に報告する形よりも、定期的にミーティングを開催しその都度個人個人に経過報告してもらうような方法も有効であるように感じます。いずれにしても会員減少問題に関しては今後も引き続き抱えていかなければならない課題でありますので会員各人の会員拡大への取り組み意識の向上と長井JCそのものの組織としての魅力の向上を引き続き取り組んでいかなければならないと強く感じました。

置賜4LOM合同例会

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（2） セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

3月11日の東日本大震災から1年と数か月、未だに瓦礫の処分であったり問題は山積しておりますが、中でも重要な課題となっていることが震災を受けた原子力発電所からの放射性物質の拡散であるかと思っております。メディアに取り上げられて全国に放射性物質の拡散状況について報道されることで、健康被害だけに留まらず、風評被害でも日本中が不安を抱えながら生活しなくては

ならなくなりました。ここ最近では、そういった報道にしても事故直後と比べれば風化してきているような状況とも感じられます。そこで、少しでも不安感を取り除くためにも放射能問題に関する知識を身につけることは勿論、今福島の状態は如何なるものか。そして、復興に向けてどのような取り組みがされているかを課題と共に知る必要があるかと思えます。福島県に隣接しているこの置賜地方に於いては決して他人ごとでは済まされないことだと思います。4 L O M 合同例会という場を借りて、置賜地方全体の J C メンバーが放射能に関連する知識を意識的に共有する機会とします。

4 事業目的

日常生活を送る上での無用の混乱を防止し、放射性物質による社会環境の諸問題への意識向上を図る。

5 事業の検証方法とその手段

講演に関するアンケートを実施し、分析検証する。

6 事業概要

当初、原子力の電力エネルギーから環境問題、あるいは放射性物質について詳しい講師をお招きし講演していただくことで考えていたが、あらゆる切り口を想定していた中で、放射能汚染によっての風評被害問題にスポットをあてる結果となった。

放射能問題に関する知識を身につけることは勿論、今福島の状況はどうなっているのか、そして、復興に向けてどのような取り組みがされているかを課題と共に知る機会とし、とくに第1次産業の現状、生産者の想いや消費者への対応、そこに渦巻く課題をしっかりと認識し、私たちが生活する上でどのようなことに気をつけていくべきか、あるいは気にする必要性がないか等々、多種多様な問題に対して私たちに何が出来るのか等の基本的な事について話をしていた。

◆講師選定に関して

地域経済学・農業経済学を専門とし、「地産地消」と「6次産業化」に於ける国内屈指の提唱者であり、現在、福島大学経済経営学類准教授、うつくしまふくしま未来支援センターの産業復興支援担当マネージャーである小山良太氏を講師とした。

◆その他

当例会は公開例会とする
広報活動は置賜圏内各所に予算に見合った形で行った。

7 実施日時：2012年10月18日（木）

8 実施場所・会場：長井観光 はぎ苑

9 事業対象者

置賜4 L O M 全会員、及び一般

10 参加者募集方法

メンバー及び各 L O M のメンバーに対してはメールでの案内。また、協力を頂き、各 L O M の H P 等での一般への参加募集。
4 L O M 管内自治体の広報誌及び、掲載可能な情報誌による周知。可能であれば各市町村の記事掲載、及び一面購入掲載での長井市内全戸配布。J A 関係者及び産直などへのチラシ配布をした。

11 決算総額：¥199,561

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	5名	【実施】	5名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	16名

◆外部

米沢 J C	【計画】	72名	【実施】	22名
南陽 J C	【計画】	35名	【実施】	21名
高島 J C	【計画】	8名	【実施】	5名
一般	【計画】	100名	【実施】	17名
合計	【計画】	244名	【実施】	86名

15 外部協力団体及び協力種別

〔主催〕公益社団法人 長井青年会議所
〔共催〕公益社団法人 米沢青年会議所
社団法人 南陽青年会議所
社団法人 高島青年会議所
〔後援〕長井市

16 実施プログラム

例会の部

18:00	登録受付開始 (受付：大竹事務局補佐、風間事務局補佐、 司会：佐藤事務局長)
18:30	例会行事開始 セミナー開始 演題 復興と再生の道しるべ ～放射能汚染から食と農の再生を～
18:31	理事長挨拶 (吉田理事長)
18:36	講師入場
18:37	例会内容趣旨説明、講師プロフィール紹介 (司会：佐藤事務局長)
18:40	講演開始
19:40	講演終了、質疑応答
19:50	謝辞 (米沢 J C 満田理事長)
19:55	講師退場
19:57	一般来場者退場 ※10分間でアンケートを書いてもらう
20:07	監事講評
20:15	例会行事終了

17 対外配付資料 資料名内容

- 置賜4 L O M 合同例会 講師依頼文. doc
- 置賜4 L O M 合同例会案内文. doc
- 地域再生セミナー開催趣意書. doc
- 復興と再生の道しるべ 講演会チラシ3. pdf
- 報道機関向けプレス案内. doc
- 市報、町報掲載文章. doc
- 長井配布用小山講演201210. pdf
- 長井小山講演当日用. ppt
- 置賜4 L O M 合同例会アンケート. doc

18 人員配置・役割分担表

セミナー司会	佐藤事務局長
謝辞	米沢 J C 理事長
記念品贈呈助手	梅津事務局補佐
受付	大竹事務局補佐、風間事務局補佐
マイクわたし	大竹事務局補佐、風間事務局補佐

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証地域再生セミナー

86名の参加者の内68名の方からアンケートの回答を頂きました。

セミナーを受けて、放射能汚染問題に対する自分の考え方が以前変わったかどうかという質問には55名の方が「変わった」と回答し、放射能に対する不安が解消されたかどうかという質問には、「解消された」「少なからず解消した」という方が53名でありました。これだけを見れば、8割方、放射能に対する情報把握と意識向上を図れたのではないかと考えられます。しかし、放射能に対して益々不安になったという回答も10名の方からあり、現実的問題で政府の現状の対応や深刻な汚染に関しての不確実な対応策に対して、実質的に不安を感じている事も分析できました。

全体的には、「これからもっと正確な情報を集めていきたい」「客観的な判断のもと行動、意見をしたい」「これを踏まえ、各 L O M の復興支援活動に役立つと思う」などの意見を多数頂戴し、これからの再生と復興に向けて、私達に出来る事をしっかりと参加者それぞれが考え、意識出来たのではないかと思います。これにより事業目的は達成できたものと判断いたします。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・当日のプロジェクター資料投影に不備があり、開催時間が遅れた。当日資料は事前の提供と確認が重要。
- ・質疑応答の際、誰からも質問がなかった。事前にどなたかに質問をお願いするなどの対応がなかった。

【予算面】特になし

【その他】

- ・公開例会といった設えではあったが、実質的に一般参加者が17名と大分少なく、広報活動に問題ありと感じる。
開催前の山形新聞への記事掲載依頼が遅く、先方での対応できなかった。
⇒周知の為の早めの記事依頼を徹底
置賜の J A 各店舗にチラシ配布をお願いしたが、実際は窓口近くにチラシを設置しただけに過ぎなかった。

- ⇒事前にJ Aにも事業後援といった協力アプローチを検討すべき山形ブロック協議会及び置賜各L O M のホームページへの掲載依頼を行ったが、実際にはどこもホームページへの掲載なし。
- ⇒これに関して各担当者に何度も連絡を入れることの徹底が必要あらゆる媒体での広報を目指したが、結局できたのが長井J C H P と自治体広報誌への掲載と商工会ニュースH P とF a c e b o o k
- ⇒これから様々な広報媒体を模索する必要がある
- ⇒各地の産直にもチラシを設置したが、農業従事者のもとまで届かなかった。
- ⇒産直に登録している農業者の数を事前に把握する必要がある
- ⇒登録者の数だけチラシを準備し、確実に農業従事者に配ってもらえるような段取りが必要

2 2 公益目的事業の種類 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

1 9. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2 3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2 4 公益目的事業のチェックポイント (1) 《公益事業の場合のみ記載》

3. 講座、セミナー、育成

2 5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明 (1) 《公益事業の場合のみ記載》

- ①当該講座、セミナー、育成（以下「講座等」）が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
事業の目的を、放射性物質や原子力エネルギーに関する正しい知識を身に付け、日常生活を送る上での無用の混乱を防止したり、放射性物質による社会環境の諸問題への意識向上を図るとし、対象者への案内状への明記及びH Pでの公開による明示を行っている点から、公益性が認められる。
- ②当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。（注）ただし、高度な専門的知識・技能等を育成するような講座等の場合、質を確保するため、レベル・性格等に応じた合理的な参加の要件を定めることは可。
当事業を公開例会と位置付け、置賜4 L O M内の管轄地域において、一般の不特定多数に対しての参加募集を各自治体広報紙や各L O MでのH P等あらゆる譲歩媒体で行う事から適当な方法で明らかにしている。
- ③当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為（受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為）に当たって、専門家が適切に関与しているか。（注）専門的知識の普及を行うためのセミナー、シンポジウムの場合には、確認行為については問わない。
当事業は専門的知識の普及を行うためのセミナーであり、該当しない。
- ④講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。
専門的知識を有する講師を選定し講演を行っているが、類似の他講演と比較し過大な報酬と判断するには至らない。

2 6 引継ぎ事項

今回の合同例会は主管するのが長井J Cとということで、地域再生セミナーといった講演会形式の設えであったが、本来置賜4 L O Mの懇親の場でもある事から、それを主とした合同例会の設えがあっても面白いと思われる。これまでの慣例も十分配慮し、これからも主管する場合は柔軟な発想のもと事業構築をしてもらいたい。

なお、主管する場合は、事業開催月の理事会審議では、他L O Mでの審議対応が出来ないので、開催前月の理事会にて必ず審議することが重要であり、前段階では各L O Mの理事長や専務の方との意見交換が必要であるので必ずこの2点を留意すること。

また、主管ではなくとも4 L O Mのメンバーが集まる貴重な機会であるので、とにかく多くのメンバーの参加が重要である。

2 8 各担当者所見

事務局長：佐藤真光

事務局としては7月から連続しての怒涛の例会担当ではありましたが、なんとか形になったのではないかなというのが本音でございます。しかし、合同例会自体、結果的にはとても素晴らしいセミナーだったのではないかと思います。放射能汚染問題に対する意識向上や確かな情報把握ができたという点では、大成功だと考えております。ただ、一般参加者がとても少なく残念ではございましたが、参加して頂いた方にはセミナーでお聞きした事を是非多くの方に伝えてもらいたいと思います。

また、ここ最近の例会出席者数が20名を超えているということと、長井J Cの雰囲気も徐々に良い方向にきているのではないかなと感じております。まずは参加頂きましたメンバーの方々、大変ありがとうございました。

専務理事：板垣洋一

まずは準備に携わっていただいたメンバー、例会に参加していただいたメンバー皆様に感謝いたします。参加していただいた他L O Mのメンバーの方々やアンケートの結果を見ますと、本事業の目的でもある放射性物質による社会問題に対する意識向上を図るという点に関して言えば、参加していただいた多くの方々がセミナー受講後には意識の向上が図れたということで事業目的は達成されたという認識を得ました。その点に関してはやってよかったという充実感を得ることができたと思います。

ただ、やはり一般参加者が思っていたよりも少なかった点に関しては私の不徳の致すところでございます。個人的な印象ですが、予定者段階では世論でも盛んに放射性物質による環境汚染を不安視する言動も多く、一般の方々も非常に関心が高い姿勢を見せておたと記憶しております。しかし、時間の経過と共に、私が思っておるよりずっと早く、人々の関心は冷めて行ったように感じました。そのような時期に改めてこのようなセミナーを開催することは非常に有意義であり、なおさら多くの方々に集まっていたような設えが必要であったと反省をしております。

依然として被災地は復興の目処が立たず、不安と隣り合わせの生活を強いられている方が多く居られます。私達がJ Cとして、また個人としてどのような事が出来るのか、どうすべきなのかを考えながら引き続きこれらの問題と向き合っていきたいと思っております。皆様本当にありがとうございました。"

次年度事業計画発表例会

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
2013年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の各種事業の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要であり、各委員会に発表する機会を設け、改めて確固たる自信と責任を持ってもらう。また次年度の各種事業の内容を全メンバーで知る機会が必要である。
- 4 事業目的
次年度のJ C活動の重要性の認識と活動意欲を向上させる。
- 5 事業の検証方法とその手段
メンバーの理解度を発表時のチェックシートにて調査し、検証する。
- 6 事業概要
次年度の各委員会・事務局・総務局・会議体・室のそれぞれの事業計画を発表した。
大枠の部分を副理事長・専務理事・議長・室長から発表してもらい、詳細な事業計画を委員長・局長・副議長から発表。発表時は、メンバーそれぞれが理解できたかどうかをチェックシートに書きこんでもらい、意見等もあればその場で書いてもらった。
当日の発表資料は0予算の為、紙ベースでの資料は準備せずにプロジェクターで映し出して対応し、事前に発表資料は任意の様式で各委員会・局・会議体・室で作成してもらった。
また、クリスマスパーティー前での開催という事もあり、メンバーの中には一緒に開場入りする方も予想される事から、例会事業に家族が参加する事も自由とし、家族からも普段どういった事をしているのかを知ってもらう機会にしようとしたが、結果的

には家族の参加はなかった。

- 7 実施日時：12月15日(土) 18:00～
8 実施場所・会場：グランパリス パーティリゾート
9 事業対象者 長井青年会議所メンバー
10 参加者募集方法 電子メール
11 決算総額：¥0

14 参加員数

◆内部				
担当委員会	【計画】	5名	【実施】	4名
その他メンバー	【計画】	24名	【実施】	11名
◆外部				
メンバーの家族	【計画】	20名	【実施】	0名
合計	【計画】	49名	【実施】	15名

16 実施プログラム

- 18:00 例会セレモニー
18:15 次年度事業計画発表例会開始
※司会 次年度専務理事
次年度理事長候補者 挨拶
ひとづくり委員会
※発表者不在の為、事前に準備された動画で対応
まちづくり委員会
事務局・総務局
未来創造会議
ブロック大会支援室
監事講評
※両監事欠席と時間的問題から監事講評はなしとした
18:50 例会終了

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

例会説明：佐藤事務局長
進行：井上次年度専務理事予定者
事業計画発表者：
次年度ひとづくり委員会 椎名委員長予定者
次年度まちづくり委員会 大竹委員長予定者
次年度事務局 風間局長予定者
次年度総務局 梅津局長予定者
未来創造会議 横山議長予定者
ブロック大会支援室 樋口室長予定者

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

事業発表時、参加メンバーに各委員会の理解度を図るためにチェックシートに記入してもらった。
その結果、まちづくり委員会・事務局・総務局・未来創造会議・ブロック大会支援室は、すべて✓理解できたと記入。
ひとづくり委員会に✓なんとなくわかったが4つ記入があった。これは発表者不在の為、動画のみで対応した分だと考えられる。
しかしながら、各委員会へのメッセージを見ると前向きな意見、そして激励の意味を込めたメッセージが数多くみられ、メンバーそれぞれの活動意識の向上を図れたものと判断します。

21 実施上の問題点

【運営面】
まずもって、出席者が少なく。ほとんど理事メンバーだけで開催したような感じもあり、寂しく感じる。
⇒今一度、例会の出席義務の重要性を全メンバーに訴える必要があると思われる。
【予算面】特になし
【その他】
今回クリスマスパーティー前での例会開催であり、時間的制限が結構あると感じる。

26 引継ぎ事項

次年度計画発表に関して言えば重要な機会であり、発表者側にとっても伝える事の鍛錬になる。こういった機会は是非とも設け

るべきものであるが、前提として多くのメンバーの出席が不可欠。ほとんど事業内容を把握している理事メンバーだけが集まっただけでは寂しいものを感じる。全メンバーが出席できるような環境を整えることがまずもって必要である。

また、クリスマスパーティー前での例会開催に関しては個人的に再考した方がいいと思われる。時間的制限があることプラス、気持ち的な部分でメインがクリスマスパーティーとなっている感がある。事業との例会同日開催は効率的でもあるが、もっと丁寧な事業構築が必要である。しかし、だからと言って事業数を増やす事も抵抗がある。この部分をしっかりと熟慮して頂きたい。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤真光

事務局としては7回目の例会担当にして2012年度最後の例会。無事に終了した事にホッとしております。まずは、発表して頂きました方々、大変ありがとうございました。事務局としては、設え側としてほとんど準備をしていない中で、しっかりと発表して頂いた事に感謝申し上げます。チェックシートにある激励のメッセージにもある通り、次年度の各部署リーダーの方々には、大変な所もあるかとは思いますが、頑張ってくださいと思います。そして、同時に期待し、自分自身も随所で協力を惜しまず活動して参りたいと思います。

LOM褒賞

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

地域発展のための事業を展開する青年会議所活動は、会員の積極的な参画と責任によって支えられています。1年を振り返り、その能動的な活動をたたえ、更なる意欲向上につなげられるような設えがあってこそ、今後も充実したJ C活動をしていけると考えます。

4 事業目的

活躍されたメンバーの栄誉をたたえ、更なる積極的な活動を促し、全メンバーの参画意欲を向上させる。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーそれぞれの今後の活躍をもって検証とする。

6 事業概要

会員の例会や各種事業への出席率が100パーセントを達成したメンバーを褒賞対象者とし、これを表彰する。

7 実施日時：12月15日(土)

8 実施場所・会場：グランパリス パーティリゾート

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 電子メール

11 決算総額：¥0

16 実施プログラム

クリスマスパーティーの開催時に行う。

予定では

19:15より10分間で実施。

(※なるべく時間内に収める。まちづくり委員会と要相談)

褒賞者 12名

10年連続 横山敬生君

8年連続 鈴木喜典君

6年連続 樋口和哉君

5年連続 吉田重成君、井上典嗣君

2年連続 板垣洋一君、梅津壮一郎君、佐藤真光君、

風間正志君

1年達成 遠藤浩樹君、影山孝史君、大竹貴之君

17 対外配付資料 資料名内容

18 人員配置・役割分担表

進行：佐藤事務局長
表彰：吉田氏理事長
褒賞者代表挨拶：影山孝史君

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

メンバーそれぞれの今後の活躍をもって検証としていることから、今後の活躍を期待します。

感想をお聞きすると、やはり賞をもらって嬉しくないものなどないということで、結果100%達成者の方には喜んで頂けたものと思います。今後の更なる積極的な活動を促すという点では十分目的を達成したものと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】 特になし

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

26 引継ぎ事項

各例会、アテンドの参加名簿は出席者のチェック漏れが等があるので、早めに確認した方がいい。

物品授与に関しては、個人より今回ポケットマネーで頂いたが、これに関しては今後要検討すべきである。

今回は100%達成者のみへの表彰となったが、これまであった理事長賞や特別賞を設ける事も要検討すべきである。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤真光

今回受賞された12名の方、おめでとうございました。LOM褒賞があるからこそ例会等に出席するわけではありませんが、原則出席すべきものが例会と定められている中では、達成された方は本当に会員の一模範とするところであると思います。今後のJC活動のひとつの励みにして頂ければと思います。

専務理事：板垣洋一

受賞者の皆様、本当におめでとうございます。ささやかな表彰かもしれませんが、一つ一つの積み重ねが出席率の高さに繋がった結果ですので、ぜひとも今後も変わらず、例会・事業に積極的に参加していただきたいと思います。大多数の会員が出席率100%以上を達成できるようになった時、新たな褒賞対象を設定するようにしても遅くはないように感じます。会としてはまず参加することが大前提なわけですのでメンバーが積極的に参加する事と、無理なく参加できる事業数についても考えることが必要なのではないでしょうか。

DVD・ROM等に保管する。また、写真データに関してはweb上（ホームページ）に会員限定で閲覧できるようにする。
⇒JCルームに保管されてあるアルバムの整理を行い、2012年度の例会及び事業等の写真データをDVD・LOMに保管した。

11 決算総額：¥2,000

21 実施上の問題点

【運営面】

記録のweb管理は実質的に実施できなかった。

これまでの記録を一元的にデータ処理を施そうとしたが、実施しなかった。

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

26 引継ぎ事項

DVD・LOMを30枚購入したので、しばらくは購入する必要はない。

2012年度は実施出来なかったが、今後web上でのデータ管理を検討しているならば、管理委託しているJANにしっかりと話をつけて実施して頂きたい。

アルバム作成管理を検討するならば、アルバムを保存できる場所を確保する必要がある。

28 各担当者所見

事務局長：佐藤真光

当初、計画していたweb管理や過去の記録の一元データ管理は結果的に実施までに至りませんでした。記録データのホームページでの閲覧に関しては、JANの木村さんに相談し、閲覧できるよう作成頂く段取りとなっておりましたが、結果的にこちらの意図が伝わっていない状況です。また、過去の記録のデータ管理については事務局内で話し合った結果、2012年度の記録のみをデータ化するという事に致しました。計画通りに実施できなかったという点では反省するところです。今後の記録管理の中で再度検討頂ければと思います。

専務理事：板垣洋一

当初の計画にあった記録のweb上での管理という事に関しては、残念ながら実施するに至らず申し訳なく感じております。DVDに保存してありますので、閲覧方法はそのままでも紙媒体に起こしてもいかようにもできますし、基本的にはDVDに保存さえしておけばいいのではないのかなと思います。今後はこの案件の事業計画も必要なか、事務局あるいは総務の庶務として位置づけしてもいいのではないかと思います。

記録の管理

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

例会や事業に関する記録作成は担当する委員会ごと実施するが、本年度の記録は勿論、過去の活動の様子が記された写真やデータを整理し、JCルームにあるアルバムだけではなく、いつでも閲覧できるように記録のデータ管理を行うこともこれから必要となってくると考えられる。

4 事業目的

これまでの記録データを整理し、メンバーがいつでも見れるような状態に管理する。そしてJC活動の変化と会員の活動を後世に残す。

6 事業概要

JCルームに保管されてあるアルバムの管理は引き続き行い、一元的なデータ管理ができていなかった記録等も整理し、

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
9月5日 (月)	中央会館	19:30~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・風間正志 大竹貴之・梅津 敦 横山敬生	次年度事務局顔合わせ
10月10日 (月)	吉田製作所	18:30~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・風間正志	基本計画書について
11月1日 (月)	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之 梅津 敦	基本計画書並びに年間事業計画予算書について 事務局内庶務役割分担
11月19日 (土)	円光寺	18:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之 風間正志	年間事業計画予算書について 主に新春賀詞交歓会と1月通常総会について
12月13日 (火)	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之 風間正志・梅津 敦	新春賀詞交歓会に向けての確認と事務局内庶務 の役割分担
12月27日 (火)	千利庵	19:30~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之 風間正志・横山敬生 飯鉢文義・梅津壮一郎	2011年度・2012年度引き継ぎ会
1月7日 (土)	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之	新春賀詞交歓会 1月通常総会について
1月14日 (土)	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光・大竹貴之 風間正志・梅津 敦	新春賀詞交歓会・1月通常総会について プロ長公式訪問について・事務局諸事
1月18日 (水)	はぎ苑	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦	新春賀詞交歓会 前日リハーサル
2月13日 (月)	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 佐藤真光	プロ長公式訪問例会について 新春賀詞交歓会事業報告について その他事務局内庶務
2月27日 (月)	円光寺	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦・佐藤真光	理事会資料作成講習会 (アジェンダーづくり講習) その他庶務
4月9日 (月)	風間書店	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦・佐藤真光 影山孝史・齋藤憲幸	公益法人格取得祝賀会について 黒獅子まつり売店について 合同例会講師選定について
4月15日 (日)	風間書店	19:00~	吉田重成・板垣洋一 風間正志・佐藤真光	公益法人格取得祝賀会 案内状作成
5月10日 (木)	風間書店	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦・佐藤真光	公益法人格取得祝賀会について(出欠確認) 黒獅子まつり売店について OMOIYARIプロジェクトについて
5月16日 (水)	J C ルーム	23:00~	吉田重成・板垣洋一 梅津 敦・佐藤真光	公益社団法人格取得祝賀会について 黒獅子まつり売店について
5月21日 ()	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 井上典嗣・梅津 敦 三ヶ山委員長 (ブロック)	OMOIYARI運動の事業説明 黒獅子まつりの清算関係
5月24日 ()	J C ルーム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 高橋副会長 (ブロック)	会員大会の説明 会員会議所会議の準備
6月9日 (土)	風間書店	19:00~	吉田重成・板垣洋一 風間正志・大竹貴之 梅津 敦・佐藤真光 齋藤憲幸	8月通常総会・次年度理事長候補者例会・4 LOM合同例会について 会員大会においての出展に関して 夢灯 企業協賛 事務局内担当割り振り

7月3日 (火)	J C ル ー ム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 佐藤真光	会員大会の段取り 事務局担当事業等の各議案作成
7月13日 (金)	J C ル ー ム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦・佐藤真光	7月例会・8月総会・9月例会・10月合同例会に ついて 臨時理事会の段取り 水まつり売店について
7月27日 (土)	J C ル ー ム	19:00~	板垣洋一・大竹貴之 風間正志・梅津 敦	7月例会の段取り 水まつり売店について
8月20日 (月)	J C ル ー ム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦	合同例会について
9月9日 (日)	J C ル ー ム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 風間正志・梅津 敦 佐藤真光	合同例会（地域再生セミナー）チラシ配布の段 取り
9月18日 (火)	J C ル ー ム	19:00~	吉田重成・板垣洋一 風間正志・佐藤真光	9月例会の段取りと今後の進め方
9月30日 (日)	J C ル ー ム	19:00~	板垣洋一・風間正志 佐藤真光	資料作りと庶務
10月15日 (月)	J C ル ー ム	19:00~	板垣洋一・大竹貴之 風間正志・佐藤真光	置賜4LOM合同例会に向けて 今後の事務局内役割の確認 各種庶務対応
11月12日 (月)	円 光 寺	19:00~	吉田重成・板垣洋一 大竹貴之・風間正志 梅津 敦・佐藤真光	置賜4LOM合同例会決算報告について 2012年決算資料について役割決め その他、今後の事務局内庶務について 12月次年度事業計画発表例会及びLOM褒賞につ いて
12月30日 (日)	J C ル ー ム	9:30~	吉田重成・佐藤真光	JCルーム清掃

出向報告書

【出 向 報 告】

日本青年会議所エネルギー選択委員会

遠 藤 浩 樹

所 感

まずは、せっかくの日本J Cに出向する機会をいただきましたが、ガヤ仕事の為のなかなか参加できずに申し訳ありませんでした。3月10、11日 復興支援フォーラムがありました。前段で、会員大会メインフォーラムでも行った、あすねブックを勉強する時間もありました。天童にも来ていただいた、木畑副委員長を中心に勉強しました。11日に日本のエネルギー選択フォーラムがありました。これは当委員会が設営を行ったセミナーです。井川会頭と鳩山元総理との対談そのあと、パネルディスカッション形式で枝廣淳子氏、会員大会でも来ていただいた、岩手県葛巻町の鈴木町長などがパネラーとして参加頂きました。環境やこれからのエネルギーについて考えさせられることが多々ありました。勉強になるパネルディスカッションであったと思いました。

6月の鹿島での委員会ですが、鹿島サッカースタジアムと鹿島市内にある風車を見学しました。そのあと遠藤貴之氏を及びして、講演を頂きました。地元である鹿島市や、波崎町のエネルギー事情や風力発電所などについてお話をいただきました。我々が住んでいる山形県との違いもわかりとても勉強になりました。

	内 容	場 所
3月10日	委員会	岩手県滝沢村 岩手産業文化センターアピオ
3月11日	復興支援フォーラムの準備運営	岩手県滝沢村 岩手産業文化センターアピオ
6月20日	委員会	茨城県鹿島市 鹿島セントラルホテル
	鹿島サッカースタジアム 太陽光発電見学	風力発電所見学

山形ブロック協議会 復興支援委員会担当副会長

横 山 敬 生

所 感

今年度出向させていただいた山形ブロック協議会に於いて、副会長として担当致しました復興支援委員会は文字通り、昨年の東日本大震災からの復旧・復興を進めるための担いをもった委員会でありました。支援活動や防災に関連する情報の適時配信に加え、防災減災プログラムの推進、あすエネセミナーの開催、そして会員大会でのあすエネフォーラム及び防災フェスタの開催と、年間を通じて活動しました。また関係各所のご協力を得ながら福島県内の現状視察を実施することもできました。大きな試練を乗り越えようとするヒトの力強さを間近で感じるとともに、日頃の備えとそのための意識付けの重要性をあらためて痛感しました。

上山J Cより出向された高橋委員長をはじめ多くの委員会メンバーに恵まれ、充実した委員会活動であったと感じます。当LOMよりは遠藤浩樹君と大竹貴之君より委員会メンバーとして出向いただき、物心両面に渡りお支えをいただきました。また事務局補佐として出向いただいた風間正志君よりは、役員会議などで常に行動を共にしていただきました。

このようにして出会いに恵まれ、多くの方に支えられて過ごした一年は、私自身に大きな学びと気づきを与えてくれました。LOMの理事長という重責を全うする間もなく走り出し戸惑うときもありましたが、分をわきまえず挑んだ副会長という大役をやり遂げることができましたのは、吉田理事長はじめLOMメンバー皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2011年		
9月13日	正副会長候補者会議	天童市 総合福祉センター
9月20日	正副会長候補者会議・役員候補者会議	天童市 農業センター
10月 5日	正副会長候補者会議・役員候補者会議	天童市 農業センター
10月18日	委員会（スタッフ会議）	上山市 J Cルーム
10月30日	正副会長候補者会議・役員候補者会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
10月30日	第1回会員会議所候補者会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
11月 1日	委員会（スタッフ会議）	長井市 J Cルーム
11月 8日	正副会長候補者会議・役員候補者会議	天童市 総合福祉センター
11月23日	委員会（スタッフ会議）	上山市 J Cルーム
11月26日	第2回会員会議所候補者会議	山形市 山形国際ホテル
2012年		
1月 9日	委員会（スタッフ会議）	長井市 J Cルーム
1月18日	正副会長ミーティング・役員会議	鶴岡市 J C会館
1月20日	京都会議	京都府京都市 国際会議場
1月23日	委員会（スタッフ会議）	上山市 J Cルーム
1月28日	第1回会員会議所会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
2月 7日	第2エリア会長公式訪問	村山市 クアハウス基点
2月14日	第3エリア会長公式訪問	山形市 メトロポリタン山形
2月16日	第4エリア会長公式訪問	長井市 タスパークホテル
2月20日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁
2月21日	委員会	上山市 J Cルーム
2月22日	会頭公式訪問	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
2月24日	公開委員会 防災減災プログラム	上山市 J Cルーム
2月28日	正副会長ミーティング・役員会議	庄内町 庄内文化創造館響ホール
2月28日	第1エリア会長公式訪問	庄内町 庄内文化創造館響ホール
3月 5日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁
3月 9日	石巻市仮設住宅への支援物資搬送	石巻市内
3月 9日	委員会	南陽市 えくぼプラザ
3月10日	復興創造フォーラム	盛岡市 アピオ
3月14日	正副会長ミーティング・役員会議	東根市 職業訓練センター
3月19日	アカデミー委員会	河北町 どんがホール
3月24日	第2回会員会議所会議	山形市 中央公民館
3月26日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁
4月 3日	委員会	新庄市 ザ・ルームス
4月 9日	臨時役員会議	山形市 中央公民館
4月16日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁
4月18日	正副会長ミーティング・役員会議	上山市 蔵王猿倉レストハウス
4月28日	第3回会員会議所会議	鶴岡市 グランド・エル・サン
5月11日	東北地区協議会役員会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
5月15日	委員会	酒田市 東洋開発会議室
5月16日	正副会長ミーティング・役員会議	河北町 青少年センター
5月26日	第4回会員会議所会議	長井市 生涯学習プラザ
6月 1日	山形県災害ボランティア支援ネットワーク連絡会	山形県庁
6月 4日	公開委員会 あすエネセミナー	天童市 総合福祉センター
6月11日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁
6月12日	委員会（スタッフ会議）	村山市 J Cルーム
6月13日	正副会長ミーティング・役員会議	米沢市 J Cルーム
6月19日	岩手県葛巻町視察	岩手県葛巻町

6月19日	委員会（会員大会全体会議）	新庄市	戸澤神社社務所
6月23日	第5回会員会議所会議	山辺町	中央公民館
6月25日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁	
6月26日	委員会（会員大会全体会議）	新庄市	戸澤神社社務所
6月27日	正副会長ミーティング・役員会議	酒田市	J C 会館
7月 1日	新庄大会 P R	新庄市	新庄駅前周辺
7月 3日	委員会	上山市	J C ルーム
7月 7日	第6回会員会議所会議	新庄市	大地会館
7月 8日	第45回山形ブロック会員大会新庄大会	新庄市	新庄駅前周辺
7月13日	東北地区協議会役員会議（会長代理）	青森県青森市	ねぶたの家 ワ・ラッセ
7月21日	サマーコンファレンス2012	横浜市	パシフィコ横浜
7月23日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁	
8月 3日	委員会	上山市	J C ルーム
8月 8日	臨時役員ミーティング	山形市	霞城セントラル
8月23日	広域避難者支援ミーティング i n 山形	山形市	霞城セントラル
8月27日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁	
8月31日	東北青年フォーラム	青森県五所川原市	
9月 5日	公開委員会 福島県内視察	福島県内各地	
9月10日	山形県災害ボランティア支援本部ミーティング	山形県庁	
9月12日	正副会長ミーティング・役員会議	南陽市	J C 会館
9月21日	災害ボランティアセンター運営研修会	山形市	社会福祉協議会
9月22日	第7回会員会議所会議	村山市	村山市民会館
9月30日	天童市防災訓練	天童市	天童北部小学校グラウンド
10月12日	全国会員大会北九州大会	福岡県北九州市	
10月16日	災害ボランティアセンター実地研修会	宮城県内各地	
10月17日	正副会長ミーティング・役員会議	寒河江市	慈恩寺陣屋
10月23日	委員会	長井市	中央会館
10月27日	第8回会員会議所会議	山形市	ヒルズサンピア山形
11月16日	臨時正副会長ミーティング	天童市	藤工業会議室
11月17日	ブロック連携運動推進委員会	村山 J C ルーム	
11月20日	公開討論会第4エリア準備会議	長井 J C ルーム	
11月22日	公開討論会事前説明会	米沢 J C ルーム	
11月25日	第9回会員会議所会議	天童市	
11月29日	委員会（次年度への引き継ぎ）	上山 J C ルーム	
11月29日	公開討論会コーディネーターミーティング	天童 J C ルーム	
12月 1日	公開討論会酒田会場	酒田市文化センター	
12月 2日	公開討論会長井会場	長井市置賜生涯学習プラザ	
12月13日	災害ボランティアセンター運営研修会	山形市	社会福祉協議会
12月21日	役員会議	上山市	ふじや旅館

所 感

この場を借りて、出向の場を提供していただいたL O Mの皆様ありがとうございました。今年度、山形ブロック協議会復興支援委員会の副委員長という事で出向させていただきました。副委員長は3名おり、私の担当は会員大会のメインフォーラムの立案と実施です。

このメインフォーラムの目的は、県民の方に広くエネルギーについて関心を持っていただく事を目的にしています。まずはエネルギーについて勉強しました。6月に、日本J Cのエネルギー選択委員会の副委員長の木畑君をお呼びして事前勉強会の位置づけで、公開委員会という形で行なっております。日本J Cのエネルギー選択委員会で作られました。「あすエネブック」いうものがあります。これは現在使われてエネルギーやこれから伸びていく自然エネルギーについての確認を含めたものを使い勉強しました。当日の勉強会にも使われた「エネプロクイズ」があります。これは、あすエネブックを問題化したものです。会員大会のメインフォーラムではこれを山形県版に置き換えて、会場の皆様に説明しながら解いていただきました。

続いて次に行われた、第2部ですが一人の講演ではなく、パネルディスカッション形式で吉村県知事、岩手県葛巻町の鈴木町長、環境エネルギー研究所 主任研究員の奥山氏の3名で行いました。鈴木町長は、3月の復興フォーラムに来て講演をいただき感銘を受けてお呼び致しました。奥山氏は、当初ですが 環境エネルギー研究所所長の飯田哲也氏をお呼び致したく話を進めて参りましたが、日程があわなくて、奥山氏にお願いしたところでありました。各項目について、3にんの方々よりご意見を頂きました。当日は、参加された方には、エネルギー問題について考える時間であったと思います。

振り返って見ますと、今まで、山形ブロック協議会には委員としては何度か出向しましたが、副委員長として高橋委員長をサポートする立場での出向となりました。今年一年様々な経験が出来た事を嬉しく思う反面、自分の糧としたいと思います。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月14日	スタッフミーティング ・自己紹介 今年の事業の進め方 他	上山市 新華桜
1月29日	第1回委員会 ・自己紹介	天童市 滝の湯
2月21日	第2回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	上山市商工会議所 上山J Cルーム
3月9日	第3回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	南陽市中央公民館
4月3日	第4回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	新庄市 個室ダイニングカラオケ ザ・ルーム
5月15日	第5回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	酒田火力発電、サミットパワー見学 酒田市 (株) 東洋開発
6月4日	エネプロ勉強会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	天童市 農業センター
6月26日	葛巻町鈴木町長へご挨拶 第6回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	岩手県葛巻町葛巻町役場 新庄市 戸沢神社社務所
7月3日	第6回委員会 ・第45回会員大会メインフォーラム、分科会の立案	上山市商工会議所 上山J Cルーム
7月7日	メインフォーラム事前準備	新庄市 ゆめりあ
7月8日	メインフォーラム	新庄市 ゆめりあ
9月5日	第7回委員会 公開委員会	伊達市下小国地区視察他
9月6日	第7回委員会 公開委員会	浪江町警戒地区視察
10月23日	第8回委員会	長井市 中央会館

復興支援委員会委員

大竹 貴之

所 感

はじめに、2012年度、復興支援委員会へ出向させて頂きまして、吉田理事長をはじめとしまして長井青年会議所の皆様へ感謝申し上げます。有難うございました。

私が出向した復興委員会は、同じLOMから副会長として横山直前理事長と副委員長として遠藤副理事長がおりました。お二人が一生懸命頑張っているときに私は半分だけの出席回数となり、お二方、また、吉田理事長に大変申し訳ない結果を残してしまい反省しております。

この度、復興支援委員会では会員大会新庄大会のメインフォーラムと分科会を担当させて頂くことになり、まずはこの二つの事業を成功裏にやり遂げられるように委員会内で担当わけをして議論をしてきました。

委員会に集まった方達はもう何度も理事を経験した方や委員長経験者の方が多数で、会議の内容も充実しており、私的には正直意見を出す隙間さえなかったのが本音です。

メインフォーラム、分科会両方成功した形で終わり、その後の行いました懇親会では皆さん疲れていたせいかわいにはしゃいだ飲みかたではありませんでしたが、共に健闘をたたえ合う大変思い出に残る懇親会となりました。

私がこの委員会で最も印象に残っておりますのは、福島県内の視察でした。このことは一生記憶から消えない。消してはいけなくて強く思った二日間だったと思います。2011年3月11日に発災しました東日本大震災による津波で原子力発電所が無残にもメルトダウンを引き起こし福島県の人々は、自分の住んでいた町を離れて生活しなくてはならなくなりました。

原子力発電所は、何重にも安全体制をしかけている建造物と電気関係団体の中では聞かされておりましたが、時折垣間見る自然エネルギーの脅威の前では完璧な安全とはないものだと考えさせられました。

福島県に住む人から直接聞いた話では、コミュニティーの崩壊の事や、今ではここは実験場になっている。私達はモルモットのようなものです。と聞いたとき今までに味はったことのない口で表現できない痛みを感じ、胸が苦しくなったことを覚えております。また、浪江町の発災から時間の止まったような町の光景。新聞会社におかれていた新聞を見たら2011年3月12日の新聞でした。このような時間の止まった町を見たのは初めてで本当に日本で起こっていることとは思えない光景でした。ただただ時間の経過を感じさせたのは植物の緑だけでした。

このような大惨事が起きている中でも福島の人々、JCメンバーの方達は、あきらめず前に向かってる姿を私達に見せてくれました。たんたん状況説明をして頂きました浪江町JCの理事長、笑顔で放射線量が若干高いですが私の実家を見ていきませんか。といわれた次年度理事長の姿を見て私はただただ頭が下がる思いでいっぱいでした。

私達同じ東北に住むものとして、また、世代のものとしてこの問題から目を背けずに行動していかなければならないと感じました。

最後に、本当にこの委員会に出向させて頂きましてありがとうございました。とても私にとって実りのある出向となったと思っております。この出向で学んだ事、視察で感じた人としての姿勢は中々体験できることではありません。

このことをこれからのJC生活で活かしていきたいと思っております。1年間、横山副会長、遠藤副委員長大変な世話になりました。

簡単ですが私の復興支援委員会出向報告とかえさせていただきます。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月28日(土)	復興支援委員会顔合わせ、年間事業について等	天童市 滝の湯ホテル
2月21日(火)	会員大会新庄大会メインフォーラムについて	上山市 商工会館2F J Cルーム
3月 9日(金)	会員大会新庄大会メインフォーラム、分科会事業計画について	南陽市 中央公民館1F さくら
4月 3日(火)	会員大会新庄大会メインフォーラムについて、2010・2011年度災害シミュレーションの検証結果について、J C - A I Dについて	新庄市 個室ダイニングカラオケ ザ・ルームス
5月15日(火)	会員大会新庄大会メインフォーラム、分科会、2010・2011年度災害シミュレーションの検証結果について、酒田共同火力発電所・サミットウィンドウパワー見学	酒田市 株式会社 東洋開発2F会議室
6月 4日(月)	「あすエネセミナー」	天童市 農業センター
6月26日(火)	会員大会新庄大会、分科会防災フェスタについて	新庄市 戸澤神社(社務所)
7月 3日(火)	会員大会新庄大会、分科会防災フェスタについて	上山市 商工会館2F J Cルーム
9月5日～6日	福島県内視察	福島県内
10月23日(火)	9月福島県視察について	長井市 中央会館

会員大会運営委員会 委員
齋 藤 繁 喜

所 感

今年度、会員大会運営委員会へ出向させていただき、大変貴重な経験をさせていただきました。私は、J Cへの入会から山形ブロック協議会への出向は数多く経験させていただいておりますが、会員大会運営委員会への出向は初めてであり、大変有意義な一年間の活動をさせていただきました。特に、2012年度の会員大会は「地域活性化から市」の開催もあり、運営側に関わることで、会場の選定から舞台裏の見えない部分まで各部会ごとに意見を出し合い、最高の会員大会を開催することを目指し委員会メンバーと主管であります新庄青年会議所の皆様とともに、私自身も成長させていただいたと感じているところでございます。2013年度は寒河江、2014年度は長井と、長井大会開催も決定することができた2012年度、本当に素晴らしい一年であったと思います。

今回、出向の機会を下さいました吉田理事長をはじめとする長井J Cのメンバーの皆様にご心より感謝申し上げます、私の所感とさせていただきます。

誠にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2月21日	委員会	寒河江市
3月21日	委員会	南陽市
4月13日	委員会	新庄市
5月19日	委員会	酒田市
7月 3日	委員会	新庄市
7月 7日	委員会	新庄市
7月 8日	会員大会当日	新庄市

所 感

本年度、山形ブロック協議会地域連携支援委員会に出向させていただきました。委員会の職務内容には災害支援があり、当初はいざという時の災害に備えての事業の予定でしたが、3月11日の東日本大震災の発災以降、実際の災害に対応するという活動となりました。実際の支援活動は、それぞれ独自に行ったLOMが多く、当委員会では山形県災害支援ボランティア本部から得た情報をメールで発信するなどの活動を行ってまいりました。また災害支援だけでなく法人格移行セミナーや組織進化ミーティングを行い、LOMの支援となるような活動も行っていました。

今回の出向では実際の委員会活動になかなか出席することが出来ませんでしたが、パワフルな満田委員長のもと、メーリングリストで頻繁にやり取りされており、常に状況が分かる委員会でした。活動の中で様々なことを経験させて頂きましたので、今後のJC活動に活かしていきたいと思えます。出向という貴重な機会を与えてくださいました横山理事長はじめ、LOMのメンバーに感謝申し上げ、出向報告とさせていただきます。ありがとうございました。

今年度、山形ブロック協議会LOM協同運動推進委員会に出向させていただきました。委員会の職務内容は大きく二つあり、OMO I Y A R I プロジェクトの事業内容の検討と実施、法人格移行に伴う各LOMへの支援活動でした。

山形ブロック協議会の継続事業となっているOMO I Y A R I プロジェクトでは新しい手法を各LOMにご提案し、より多くの県民の方々に参加していただきました。今年も県内17の会場全てで実施できたことは大変意義のあることと思えますし、今後も継続事業として続けて行くことで、県内に「OMO I Y A R I の心」を広く浸透できれば、より素晴らしい事業になると感じました。

また、法人格移行、継続のセミナーや説明会を定期的に行わせていただき、各LOMの今後の組織運営の一助となったと思えます。私自身も公益法人維持に関する知識を深めることができ大変充実した時間を過ごさせていただきました。

今回の出向では様々な活動を通して、多くのことを学ぶことができ、またメンバーとの友情を育むことができた充実した一年間でありました。このような出向という貴重な機会を与えてくださいました吉田理事長をはじめ、長井青年会議所メンバーに心から感謝申し上げます。

一年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月7日	第1回委員会	山形市 山形JCルーム
1月28日	第2回委員会	天童市 ほほえみの宿滝の湯
1月28日	法人格移行に伴う合同相談会	天童市 ほほえみの宿滝の湯
2月25日	第3回委員会	山形市 (株) マルナカ中村商店
2月25日	法人格移行に伴う合同相談会	山形市 (株) マルナカ中村商店
4月23日	第5回委員会	山形市 介護付有料老人ホームベル北町
5月26日	OMO I Y A R I プロジェクトPR	長井市 松竹会館
6月3日	OMO I Y A R I プロジェクト	長井市 河川緑地公園
7月8日	OMO I Y A R I プロジェクト写真展	新庄市 ゆめりあ
9月29日	法人格移行に伴う合同相談会	山形市 山形JCルーム

所 感

私が出向させていただいた山形ブロック協議会ブロック連携運動推進委員会は、憲法問題を住民一人ひとりに認識させること、公開討論会の開催検討、支援を目的とした内容でした。私としては大変難しい、理解し難いという偏ったイメージで委員会に出向させていただきましたが、前半の5月に行われた憲法アクションデイズや会員大会での憲法についてのアニメ上映等、様々な手法を凝らして憲法について少しでも考え、気にかける場を設けることが出来ました。両事業とも一般の方々の参加が非常に少なかった事が残念でしたが、少ない中でもアンケートでの貴重な御意見も頂戴できましたので、今後の開催に活かしてひとりでも多くの方が憲法問題に対して関心を持つように我々が運動し続けなければなりません。公開討論会の開催については夏くらいから解散が予想されていた中で正式には11月16日に解散となり、委員会としても急ピッチで時間がない中、公示日までに討論会の開催を目指し、準備を行い県内各会場とも師走に入っての開催決定となり無事に開催出来て良かったと思います。もちろん開催が最終目標ではなく我々が目指すところは、あくまでも政策本位による国民の選択機会の創出と有権者の投票率向上です。ひとりでも多くの有権者が政治を決して他人事と捉えず、この国の未来を決める大切な選挙ということを認識させ政治に関心を持たせることが今後も重要だと思えます。

最後に、出向という貴重な経験を与えていただきました吉田理事長をはじめとする長井青年会議所メンバーに感謝申し上げ私の所感といたします。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月28日(土)	第1回委員会	天童市
2月 2日(木)	第2回委員会	山形市
2月15日(水)	第3回委員会	新庄市
2月21日(水)	第4回委員会	酒田市
3月 2日(金)	第5回委員会	村山市
3月 8日(木)	第6回委員会	長井市
3月15日(木)	第7回委員会	寒河江市
4月 9日(月)	役員会オブザーブ	山形市
4月17日(火)	第8回委員会	寒河江市
4月23日(月)	第9回委員会	山辺町
4月26日(木)	第10回委員会	新庄市
5月11日(金)	第11回委員会	村山市
5月16日(水)	第12回委員会	村山市
5月17日(木)	憲法アクションデイズ2012	山形市
5月30日(水)	第13回委員会	村山市
8月17日(金)	第14回委員会	天童市
9月 6日(木)	第15回委員会	村山市
10月 7日(月)	第16回委員会	酒田市
11月 8日(木)	第17回委員会	天童市
11月17日(土)	第18回委員会	村山市
12月 2日(日)	山形2区衆議院議員公開討論会	長井市
12月22日(土)	離散会	酒田市

所 感

2012年度は山形ブロック協議会の事務局補佐として一年間出向させて頂きました。お話を頂いた時は、そもそもブロック協議会がどのようなものなのかも理解しておりませんでしたので、本当に一年間続けて行けるのか不安でありました。いざ山形ブロック協議会会員会議所会議に設営、運営のお手伝いという立場で参加させて頂きましたが、LOMの理事会とはまた違った緊張感があり、その場にいるだけでブロック役員、各LOM理事長の皆様方の熱い想いがひしひしと感じられ、改めてJC活動に取り組む決意を抱かせて頂きました。県内各地の移動で、訪れる機会の無かった地域に行けた事は新鮮な経験でしたし、何よりも数多くの仲間と知り合う事が出来たのが大きな宝となりました。この出向の経験を今後のLOM活動に活かして行ける様、頑張って参りたいと思います。このたびは出向という貴重な機会を頂き誠にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
10月27日	事務局会	天童市 水車屋
10月30日	第1回会員会議所候補者会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
11月26日	第2回会員会議所候補者会議	山形市 山形国際ホテル
12月26日	事務局会	天童市 JCルーム
1月16日	山形JC新春賀詞交歓会	山形市 メトロポリタン山形
1月28日	第1回会員会議所会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
2月 7日	第2エリア会長公式訪問	村山市 クアハウス基点
2月14日	第3エリア会長公式訪問	山形市 メトロポリタン山形
2月16日	第4エリア会長公式訪問	長井市 タスパークホテル
2月22日	会頭公式訪問	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
3月14日	正副会長ミーティング・役員会議	東根市 職業訓練センター
3月24日	第2回会員会議所会議	山形市 中央公民館
5月 9日	事務局会	天童市 JCルーム
5月11日	東北地区協議会役員会	天童市 ほほえみの宿 滝の湯
5月16日	正副会長ミーティング・役員会議	河北町 青少年センター
5月26日	第4回会員会議所会議	長井市 生涯学習プラザ
6月13日	正副会長ミーティング・役員会議	米沢市 JCルーム
7月 7日	第6回会員会議所会議	新庄市 大地会館
7月 8日	第45回山形ブロック会員大会新庄大会	新庄市 新庄駅前周辺
9月12日	正副会長ミーティング・役員会議	南陽市 JC会館
10月23日	事務局会	天童市 JCルーム
10月27日	第8回会員会議所会議	山形市 ヒルズサンピア
11月17日	事務局引継ぎ会	天童市 奥蔵
11月25日	第9回会員会議所会議	天童市 ほほえみの宿 滝の湯

決算報告書

2012年度 貸借対照表 (案)

2012年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	383,788	0	383,788
未収助成金	0	0	0
未収会費	225,000	334,000	-109,000
流動資産合計	608,788	334,000	274,788
2. 固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	1,574,224	1,533,790	40,434
特別積立金	87,372	87,372	0
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3
特定資産合計	2,161,599	2,121,162	40,437
固定資産合計	2,161,599	2,121,162	40,437
資産合計	2,770,387	2,455,162	315,225
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,770,387	2,455,162	315,225
(うち特定資産への充当額)	(2,161,599)	(2,121,162)	(40,437)
正味財産合計	2,770,387	2,455,162	315,225
負債及び正味財産合計	2,770,387	2,455,162	315,225

2012年度 貸借対照表内訳表 (案)

2012年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	0	0	383,788		383,788
未収助成金	0	0	0		0
未収会費	225,000	0	0		225,000
流動資産合計	225,000	0	383,788		608,788
2. 固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	1,574,224	0	0		1,574,224
特別積立金	87,372	0	0		87,372
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	2,161,599	0	0		2,161,599
固定資産合計	2,161,599	0	0		2,161,599
資産合計	2,386,599	0	383,788		2,770,387
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	2,770,387	0	0		2,770,387
(うち特定資産への充当額)	(2,161,599)	(0)	(0)		(2,161,599)
正味財産合計	2,770,387	0	0		2,770,387
負債及び正味財産合計	2,770,387	0	0		2,770,387

2012年度 正味財産増減計算書 決算(案)

2012年1月4日から2012年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	0		
基本財産受取利息	0	0		
特定資産運用益	0	0		
特定資産受取利息	0	0		
受取入会金	40,000	0	40,000	
受取入会金	40,000	0	40,000	¥20,000×2名(新規会員数)
受取会費	3,261,000	0	3,261,000	
正会員会費	3,141,000	0	3,141,000	¥108,000×28名(年初会員数) + 年度内入会者分¥117,000(月割による)
特別会員会費	80,000	0	0	¥20,000×4名(卒業者より)
賛助会員会費	40,000	0	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	80,300	0	80,300	
登録料収益	79,000	0	79,000	JC杯中学野球大会登録料¥60,000 挑戦!発見!!感動!!!葉山探険隊¥19,000
広告料収益	0	0	0	
販売収益	1,300	0	1,300	JC杯中学野球大会パンフレット販売収益¥1,300
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	1,050,000	0	1,050,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	1,000,000	0	0	夢灯長井まちづくり基金¥1,000,000
地方公共団体助成金	20,000	0	20,000	フラワーボランティア教室長井市より謝礼金¥20,000
民間助成金	30,000	0	30,000	ブロック会員大会助成金山形ブロック協議会より¥30,000
受取負担金	149,670	0	149,670	
受取負担金	149,670	0	149,670	4LOM 合同例会登録料¥49,890 ×他 3LOM
受取寄付金	588,719	0	588,719	
受取寄付金	588,719	0	588,719	夢灯企業協賛金¥585,000: ¥3,000 × 195 社 JCカード還元金¥3,719
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	611	0	611	
受取利息収益	611	0	611	受取利息
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	5,170,300	0	5,170,300	
(2)経常費用				
事業費	3,740,995	0	3,740,995	
地域開発事業	2,402,911	0	2,402,911	
青少年育成事業	556,380	0	556,380	
公益事業共通	254,635	0	254,635	
内部例会及び会員交流系事業	162,841	0	162,841	
広報系事業	294,873	0	294,873	
その他組織運営に関する事業	69,355	0	69,355	
収益事業等共通	0	0	0	
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
管理費	1,114,080	0	1,114,080	実数合計¥1,984,460
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	67,480	0	67,480	¥67,480: 香典・弔電・花代、卒業生記念品代¥16,000
会議費	9,450	0	9,450	¥9,450: 1月総会会場使用料¥3,150、商工会議所研修室会場使用料(1/16、7/19) ¥6,300: ¥3,150 × 2か月分
旅費交通費	0	0	0	

通信運搬費	5,415	0	5,415	¥5,415：送料、切手代、ゆうメール
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	126,390	0	126,390	¥126,390：2012年度スローガン看板¥18,000、横印・理事長印・角印¥63,800、会員ネームプレート・バッジ¥7,000、JC各種封筒・ラベルシート¥37,275、その他封筒代¥315
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	360,800	0	360,800	¥360,800：2012年度JC手帳¥296,000、2012年度事業報告書¥50,000、会員拡大勧誘パンフレット¥14,490、その他コピー代¥310
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	0	0	¥240,000：JCルームの賃借料¥20,000×12ヶ月
保険料	8,120	0	0	¥8,120：ボランティア活動保険：¥280×29名（年初会員数）
委託費	131,355	0	0	¥527,100：長井商工会議所事務員¥420,000：1ヶ月¥35,000、ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥107,100
租税公課	700	0	700	¥700：膳本代
支払負担金	312,625	0	312,625	¥567,260：JCI負担金¥26,760：¥892×28名（年初会員数）+¥892×2名（追加会員数） 日本JC負担金¥177,500：¥30,000（基本額）+¥5,000×28名（年初会員数）+¥5,000×1名（追加会員数）+¥2,500×1名（追加会員数） 地区協議会負担金¥48,500：¥5,000（基本金）+¥1,500×28名（年初会員数）+¥1,500×1名（追加会員数） ブロック協議会負担金¥155,000：¥10,000（基本金）+¥5,000×28名（年初会員数）+¥5,000×1名（追加会員数） 国際協力資金¥54,750：¥1,825×28名（年初会員数）+¥1,825×2名（追加会員数） 日本JC出向者負担金¥20,000：遠藤浩樹君 We Believe購読料¥84,750：¥3,000×28名（年初会員数）+¥750×1名（追加会員数）
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	57,400	0	57,400	¥57,400：関係団体年会費、周年会議お祝い、電報他
雑費	14,345	0	14,345	¥14,345：残高証明書¥4,200、京都会議登録料¥7,700、振込手数料他
経常費用計	4,855,075	0	4,855,075	
評価損益等調整前当期経常増減額	315,225	0	315,225	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	315,225	0	315,225	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	315,225	0	315,225	
一般正味財産期首残高	2,455,162	0	2,455,162	
一般正味財産期末残高	2,770,387	0	2,770,387	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
．．．．．	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,770,387	0	2,770,387	

(注) 勘定科目が前年度から変更の為、前年度決算額は設けていない。

2012年度正味財産増減計算書（事業区分単位） 決算内訳表（案）

2012年1月4日から2012年12月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合 計
	公1 地域開発事業	公2 青少年育成事業	小 計	“他1” 内部例会及び 会員交流系事業	“他2” 広報系事業	“他3” その他組織運営 に関する事業	共 通			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0	0	40,000
受取入会金	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0	0	40,000
受取入会金	0	1,348,956	1,348,956	0	0	0	0	1,384,975	0	3,261,000
正会員会費	0	1,288,956	1,288,956	0	0	0	0	1,324,975	0	3,141,000
特別会員会費	0	40,000	40,000	0	0	0	0	40,000	0	80,000
賛助会員会費	0	20,000	20,000	0	0	0	0	20,000	0	40,000
その他会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	80,300	80,300	0	0	0	0	0	0	80,300
登録料収益	0	79,000	79,000	0	0	0	0	0	0	79,000
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	1,300	1,300	0	0	0	0	0	0	1,300
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	1,030,000	20,000	1,050,000	0	0	0	0	0	0	1,050,000
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民間補助金	1,000,000	0	1,000,000	0	0	0	0	0	0	1,000,000
地方公共団体助成金	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	0	20,000
民間助成金	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	0	30,000
受取負担金	149,670	0	149,670	0	0	0	0	0	0	149,670
受取寄付金	585,000	0	585,000	0	0	0	0	0	0	585,000
受取寄付金	585,000	0	585,000	0	0	0	0	0	0	585,000
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	437	437	0	0	0	0	174	0	611
受取利息収益	0	437	437	0	0	0	0	174	0	611
その他の雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	1,764,670	100,300	1,889,333	3,254,363	0	0	0	527,069	1,888,868	5,170,300
(2) 経常費用										
事業費	2,402,911	556,380	2,954,635	162,841	294,873	69,355	0	527,069	0	3,740,985
燃料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	64,092	0	64,092	0	0	0	0	0	0	64,092
通信運搬費	0	5,040	5,040	0	2,240	0	0	2,240	0	7,280
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	525,056	162,038	687,094	6,833	6,930	2,000	0	15,763	0	702,857
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	385,126	101,639	486,765	14,080	139,246	0	0	153,326	0	640,091
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

賃借料	139,350	80,000	0	219,350	21,800	20,000	0	61,800	0	0	281,150
保険料	0	6,000	0	6,000	8,100	0	0	8,100	0	0	14,100
諸金	561,554	55,333	0	616,887	33,333	15,000	0	48,333	0	0	665,220
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	254,635	0	254,635	0	0	0	0	0	0	254,635
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	688,323	117,230	0	805,553	68,775	111,457	47,355	227,587	0	0	1,033,140
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	39,410	29,100	0	68,510	9,920	0	0	9,920	0	0	78,430
管理費									1,114,080	0	1,114,080
役員報酬									0	0	0
給料手当									0	0	0
退職給付費用									0	0	0
福利厚生費									67,480	0	67,480
会議費									9,450	0	9,450
旅費交通費									5,415	0	5,415
通信費									0	0	0
減価償却費									0	0	0
消耗什器備品費									126,390	0	126,390
消耗品費									0	0	0
修繕費									0	0	0
印刷製本費									360,800	0	360,800
燃料費									0	0	0
光熱水料費									0	0	0
賃借料									20,000	0	20,000
保険料									8,120	0	8,120
委託費									131,355	0	131,355
租税公課									700	0	700
支払負担金									312,625	0	312,625
支払利息									0	0	0
交際費									0	0	0
雑費									57,400	0	57,400
経費費用計	2,022,911	556,380	254,635	3,213,926	162,841	294,873	69,355	527,069	1,114,080	0	4,855,075
評価損益等調整前当期経常増減額									274,788	0	315,225
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 638,241	△ 456,080	1,134,758	404,37	△ 162,841	△ 294,873	△ 69,355	527,069	274,788	0	315,225
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 638,241	△ 456,080	1,134,758	404,37	△ 162,841	△ 294,873	△ 69,355	527,069	274,788	0	315,225
一般正味財産前期末残高	0	0	2,455,162	2,455,162	0	0	0	0	0	0	2,455,162
一般正味財産期末残高	△ 638,241	△ 456,080	3,589,920	2,495,599	△ 162,841	△ 294,873	△ 69,355	527,069	274,788	0	2,770,387
II 指定正味財産増減の部											
受取寄付金			0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額			0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産前期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 638,241	△ 456,080	3,589,920	2,495,599	△ 162,841	△ 294,873	△ 69,355	527,069	274,788	0	2,770,387

2012年度 財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

- (1) 価証券の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当無し。
- (4) 引当金の計上基準
該当無し。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
該当無し。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	1,533,790	40,434	0	1,574,224
特別積立金	87,372	0	0	87,372
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	0	3	0	3
小 計	2,121,162	40,437	0	2,161,599
合 計	2,121,162	40,437	0	2,161,599

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	1,574,224	0	1,574,224	0
特別積立金	87,372	0	87,372	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	2,161,599	0	2,161,599	0
合 計	2,121,162	0	2,161,599	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収会費	225,000	0	225,000
合 計	225,000	0	225,000

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金 フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000	0	
民間補助金 長井まちづくり 基金助成金	長井まちづくり 基金委員会	0	1,000,000	1,000,000	0	
民間助成金 ブロック会員大会地域 活性化たからい助成金	公益社団法人日 本青年会議所東 北地区山形ブ ロック協議会	0	30,000	30,000	0	
合 計		0	1,050,000	1,050,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

16. 重要な後発事象

該当無し。

17. その他

該当無し。

2012年度 附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

2012年度 財産目録（案）

2012年12月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目	場 所・物 量 等	使 用 目 的 等	金 額	
（流動資産）				
現金	手元保管		0	
預金	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583		0	
	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707		383,788	
	普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960		0	
	普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318		0	
未収会費	大滝和春君 2010 年度分 (¥116,000) 大滝和春君 2011 年度分 (¥109,000)		225,000	
流動資産合計			608,788	
（固定資産）				
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	1,574,224
	特別積立金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	87,372
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道株の有価証券で、 地域振興を目的とする。	500,000
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。	3
固定資産合計			2,161,599	
資産合計			2,770,387	
（流動負債）				
流動負債合計			0	
（固定負債）				
固定負債合計			0	
負債合計			0	
正味財産			2,770,387	

2012年度 委員会別事業費収支計算書 決算(案)

(単位：円)

事業名称	事業区分	当 年 度		
		事業費	事業別収入	事業費 繰入収入
ひとづくり委員会				
SNS活用セミナー	他1	48,333	0	48,333
第21回JC杯中学野球大会	公2	76,950	61,300	15,650
フラワーボランティア教室	公2	59,760	20,000	39,760
挑戦！発見!!感動!!!葉山探険隊	公2	203,070	19,000	184,070
納涼パーティー	他1	0	0	0
第21回JC杯中学野球大会 1年生大会	公2	20,470	0	20,470
広報活動	他2	200,000	0	200,000
小計		608,583	100,300	508,283
まちづくり委員会				
地域活性化事業 夢灯	公1	1,812,220	1,585,000	227,220
地域防災に関する事業	公1	25,000	0	25,000
長井駅周辺整備事業	公1	40,000	0	40,000
スポーツ例会	他1	15,733	0	15,733
クリスマスパーティー	他1	0	0	0
ホームページ運営	他2	0	0	0
小計		1,892,953	1,585,000	307,953
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	27,518	0	27,518
山形ブロック会長公式訪問例会	他1	0	0	0
次年度理事長予定者所信発表例会	他1	10,000	0	10,000
置賜4LOM合同例会	公1	199,561	149,670	49,891
LOM褒賞	他3	0	0	0
記録の管理	他3	2,000	0	2,000
ブロック会員大会地域活性化 たからいちへの参加協力	公1	130,000	30,000	100,000
小計		369,079	179,670	189,409
合 計		2,870,615	1,864,970	1,005,645

※事業区分について、公1＝地域開発事業、公2＝青少年育成事業、他1＝内部例会及び会員交流系事業、他2＝広報系事業、他3＝その他組織運営に関する事業

監査報告書

公益社団法人長井青年会議所

理事長 吉田 重成 殿

2012年1月4日から2012年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見


- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

2013 年 1 月 9 日

公益社団法人 長井青年会議所

監 事

飯 鉢 文 義 

監 事

児 玉 大 輔 

備 品 目 録

〔2012年度12月31日現在〕

1、木製書（89年度卒業記念寄贈）	1台
2、演題（90年度卒業記念寄贈）	1台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1台
4、ネームプレートキャリーバック（91年度卒業記念寄贈）	1台
5、スチール書庫	3台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1額
7、ゴング（米沢JC寄贈）	1式
8、野球ユニフォーム	10着
9、JC法被	26着
10、JC綱領版（新潟JC寄贈）	1式
11、腕章	19本
12、CD（国家、JCソング他）	1枚
13、JCジャンパー	25着
14、入会認定書	1額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1式
16、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1張
17、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1台
18、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1枚
19、プレジデントリーフ（98年度卒業記念寄贈）	1式
20、国旗、JC旗（99年度卒業記念寄贈）	1式
21、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1台
22、PCカード	1枚
23、ICレコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1台
24、プレジデントリーフ JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
25、ハンマー JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1台
26、JC旗 JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
27、JCゴング JC Iマーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1台
28、デジタルビデオ	1台
29、ホワイトボード	1台
30、テント	3貼



1月 通常総会



1月 新春賀詞交歓会



1月 京都会議



2月 ブロック会長公式訪問



2月 雪灯り回廊まつり



3月 復興フォーラム



3月 スポーツ例会



4月 SNSセミナー例会



5月 長井駅周辺整備事業



5月 第21回JC杯中学野球大会



5月 公益法人格取得祝賀会



6月 フラワーボランティア教室



6月 長井青年会議所花壇花植え



6月 地域活性化事業みんなで灯そう夢灯



6月 地域活性化事業みんなで灯そう夢灯



7月 ブロック大会 新庄



7月 会員拡大ミーティング



8月 納涼パーティー



8月 水まつり



9月 東北青年フォーラム



10月 第21回JC杯中学野球大会1年生の部



10月 全国大会 北九州



10月 挑戦!発見!!感動!!!
葉山探検隊



10月 全国大会 北九州



10月 置賜4LOM合同例会 地域再生セミナー



11月 地域防災セミナー



12月 次年度理事長候補者所信発表例会

12月
クリスマスパーティー



〒993-0011 山形県長井市館田北6番27号 [長井商工会議所内] TEL.0238-84-5394 FAX.0238-88-3778 <http://nagai-ic.jp/> E-mail : info@nagai-ic.jp